

I. 県民アンケート調査（県民意識調査）

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

「ごみゼロ社会実現プラン」の策定に当たって、将来あるべき「ごみゼロ社会」の姿や実現に向けた具体的な施策を検討する際の基礎資料とするため、県民の意識や考え方について調査した。

(2) 調査対象

地域特性などを考慮して選んだ県内 15 市町村から 500 名ずつ、合計 7,500 名を無作為抽出し調査対象とした。

(3) 調査方法

郵送によって調査票を発送、回収した。回収期限直前にはがきによる督促を行った。

(4) 調査期間

平成 16 年 9 月 9 日に調査票を発送し、9 月 24 日を投函期限として回収した。なお、督促により投函期限後も回答があったため、10 月 15 日を最終回収期限として有効回答に含めた。

(5) 回答状況

市町村	発送数	宛先不明	有効発送数	有効回収数	有効回収率
1 津市	500	4	496	269	54.2
2 四日市市	500	4	496	239	48.2
3 伊勢市	500	7	493	275	55.8
4 松阪市	500	3	497	246	49.5
5 桑名市	500	7	493	246	49.9
6 鈴鹿市	500	7	493	241	48.9
7 名張市	500	5	495	291	58.8
8 尾鷲市	500	3	497	219	44.1
9 鳥羽市	500	4	496	206	41.5
10 熊野市	500	10	490	223	45.5
11 菰野町	500	6	494	265	53.6
12 三雲町	500	8	492	232	47.2
13 南島町	500	0	500	198	39.6
14 阿児町	500	5	495	221	44.6
15 青山町	500	2	498	272	54.6
不明	-	-	-	192	-
全体	7,500	75	7,425	3,835	51.6

「不明」の 192 件は、設問での「住まいの市町村」が無回答の分である。

2. 調査結果

(1) 暮らしの中での関心事や考えられる行動について

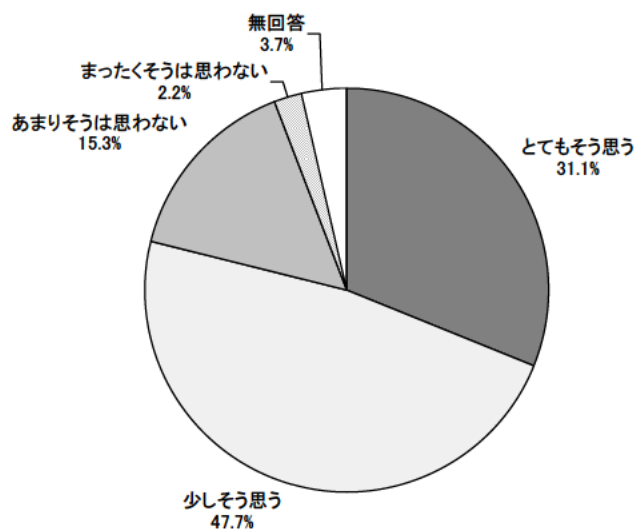
問1 次のそれぞれの考えについてあなたはどの程度あてはまりますか？（○は1つずつ）

(1) 家の中を見回してみると、あまり必要ないものがたくさんあると思う

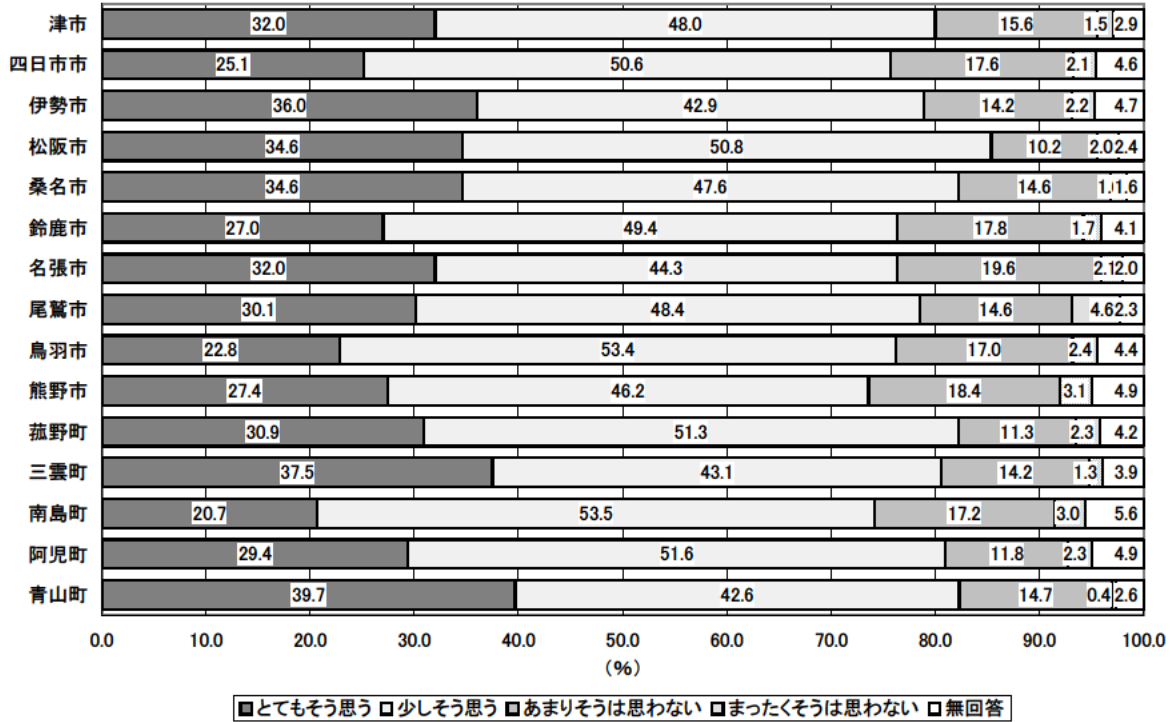
暮らしの中に「不要物が多い」と感じている人が約79%を占める。「とてもそう思う」とする割合を市町村別に見ると、最も高い青山町と最も低い南島町では、おおよそ2倍の開きがある。

図表 1-1 不要物に囲まれた暮らし意識

選択肢	件数	割合(%)
1 とてもそう思う	1192	31.1
2 少しそう思う	1831	47.7
3 あまりそうは思わない	587	15.3
4 まったくそうは思わない	83	2.2
無回答	142	3.7
全体	3835	100.0



図表 1-2 市町村 × 不要物に囲まれた暮らし意識

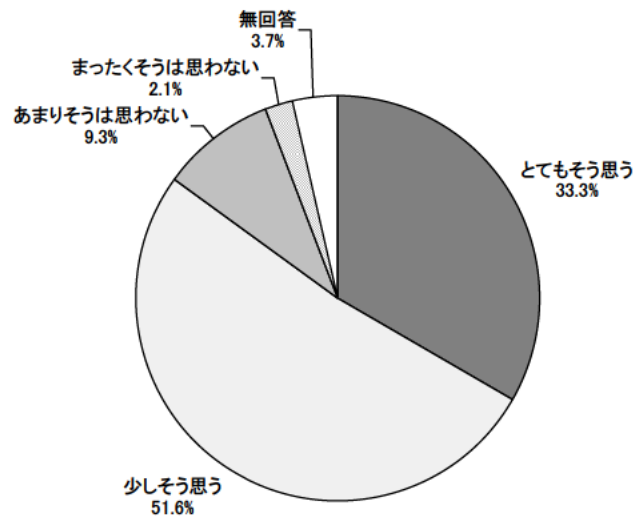


(2) ものを捨てる時、つい「もったいない」と思ってしまう

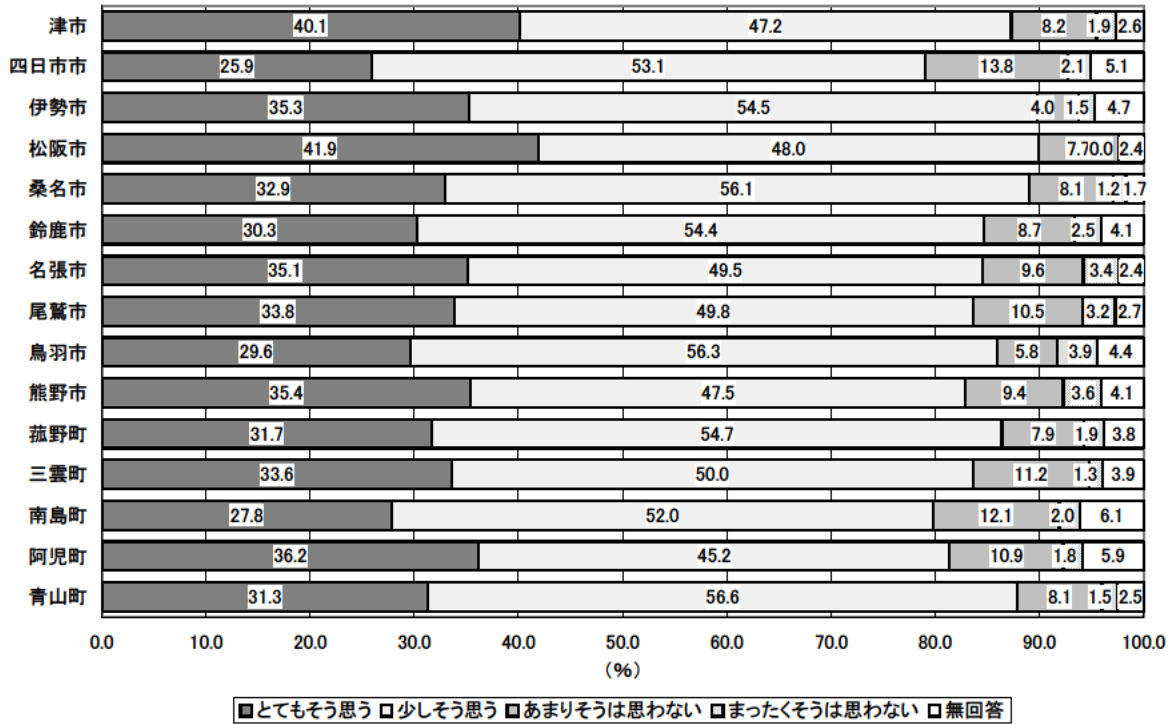
ものを捨てることに対し「もったいない」と感じる人が約 85%を占める。「とてもそう思う」とする割合を市町村別に見ると、最も高い松阪市と最も低い四日市市では、16ポイントの差が見られる。

図表 1-3 捨てるときの「もったいない」意識

選択肢	件数	割合(%)
1 とてもそう思う	1277	33.3
2 少しそう思う	1980	51.6
3 あまりそうは思わない	355	9.3
4 まったくそうは思わない	79	2.1
無回答	144	3.7
全体	3835	100.0



図表 I-4 市町村×捨てるときの「もったいない」意識

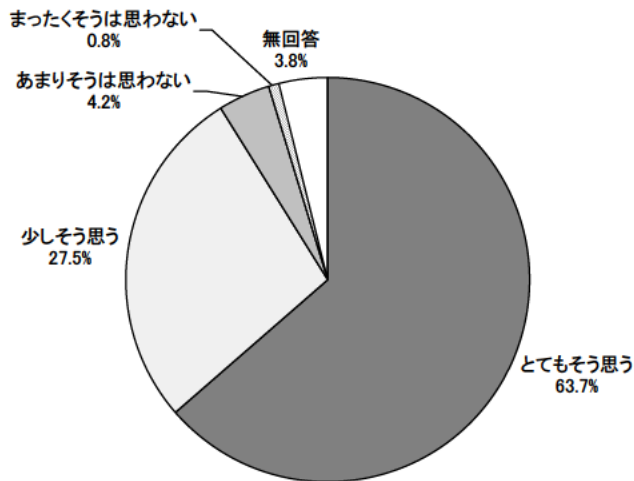


(3) 商品についている容器や包装材は、もっと少なくていいと思う

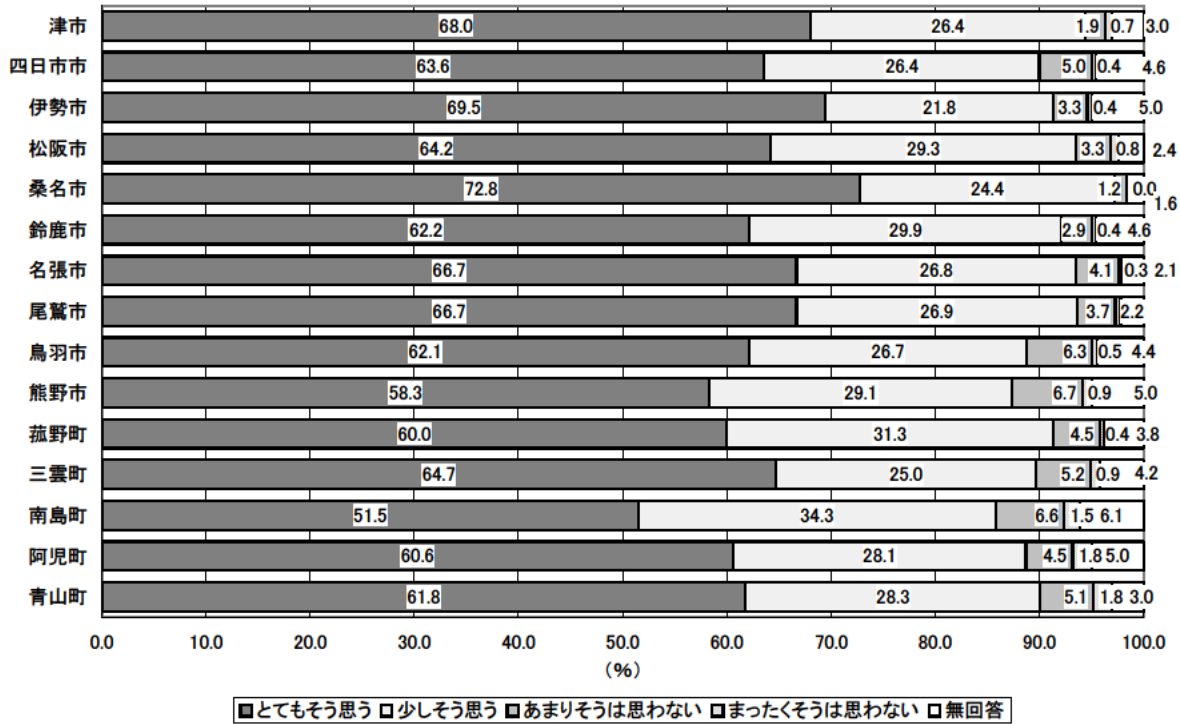
商品の過剰包装については、「とてもそう思う」が約 64%を占める。「とてもそう思う」とする割合を市町村別に見ると、最も高い桑名市では約 73%を占め、その他ほとんどの市町村で 60%を超えている。

図表 I-5 商品の過剰包装感

選択肢	件数	割合(%)
1 とてもそう思う	2444	63.7
2 少しそう思う	1055	27.5
3 あまりそうは思わない	161	4.2
4 まったくそうは思わない	29	0.8
無回答	146	3.8
全体	3835	100.0



図表 I-6 市町村×商品の過剰包装感

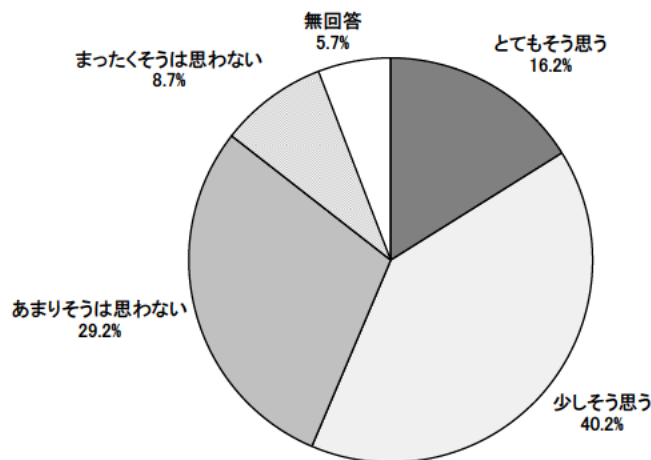


(4) レンタル製品など多くの人が使いまわすものでも、特に抵抗感はない

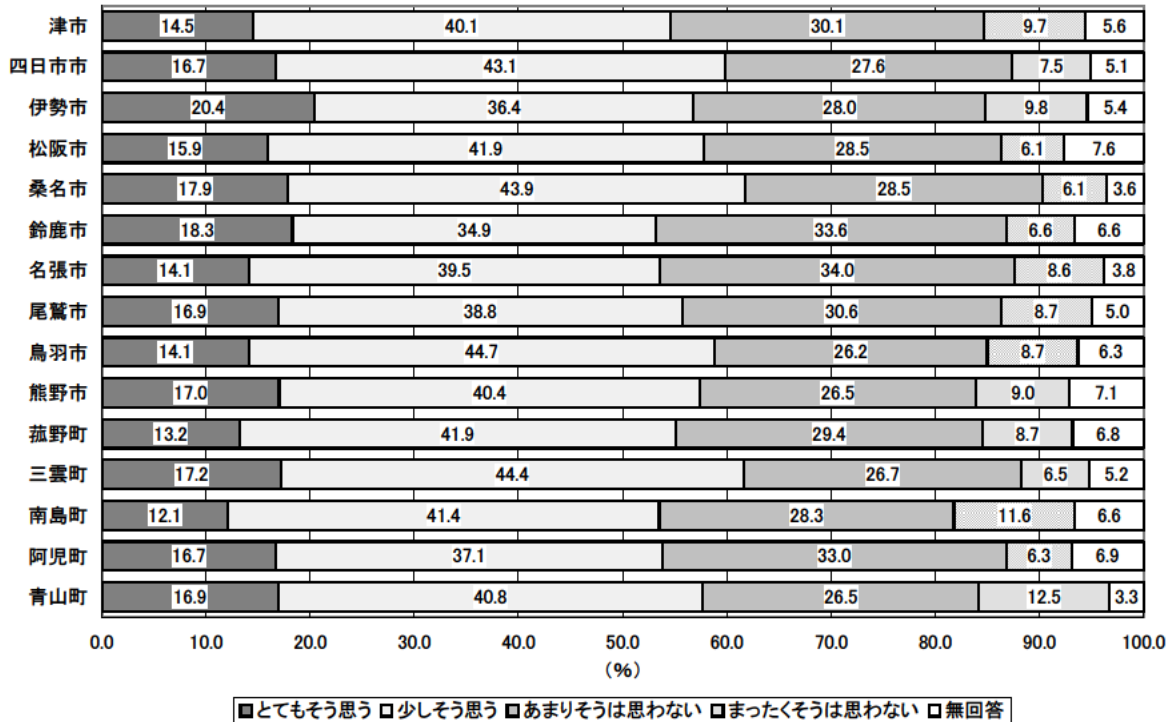
多くの人が使いまわすものについて「抵抗感はない」と感じる人が約56%を占める。この割合を市町村別に見ると、いずれも5~6割程度とよく似た傾向を示している。

図表 I-7 レンタル等リユース利用への抵抗感の希薄さ

選択肢	件数	割合(%)
1 とてもそう思う	622	16.2
2 少しそう思う	1543	40.2
3 あまりそうは思わない	1118	29.2
4 まったくそうは思わない	334	8.7
無回答	218	5.7
全体	3835	100.0



図表 I-8 市町村×レンタル等リユース利用への抵抗感の希薄さ



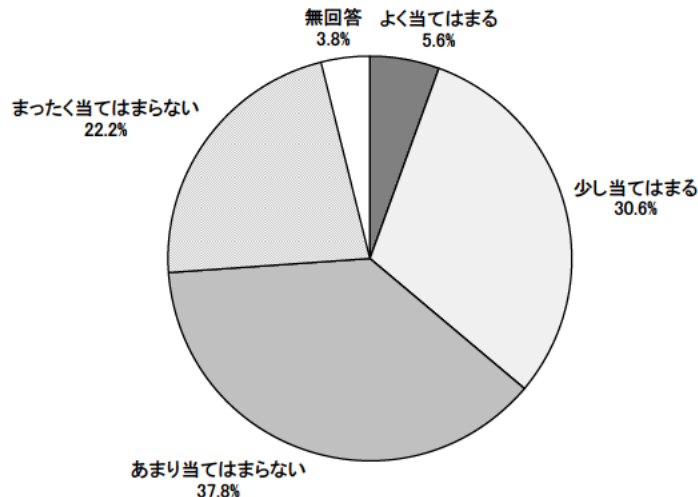
問2 次のそれぞれの場合についてあなたはどの程度あてはまりますか？（○は1つずつ）

(1) 特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまふ

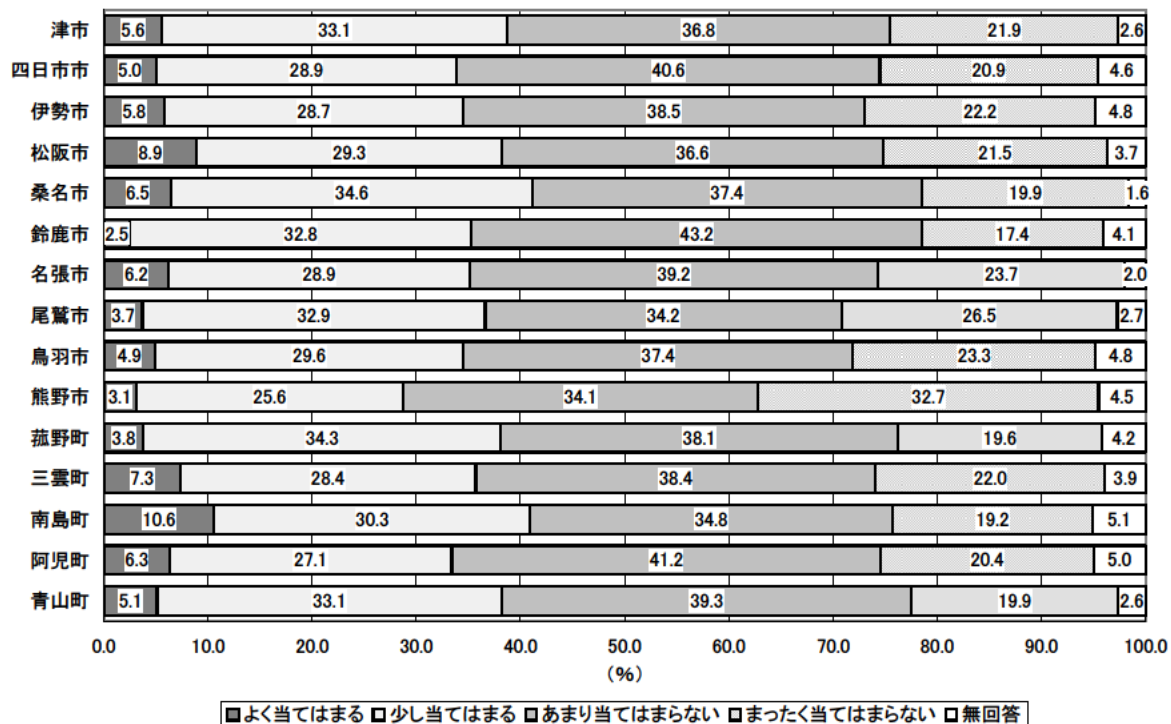
特価品や新製品に対する衝動買いについては、「少し当てはまる」が約 31%、「よく当てはまる」は約 6%に止まっている。この「当てはまる」とする割合を市町村別に見ると、最も高い桑名市で約 41%、最も低い熊野市で約 29%となっている。「当てはまる」とする割合は年齢層との強い相関が見られ、年齢層が低くなるほど高くなる傾向がある。

図表 I-9 特価品や新製品の衝動買い

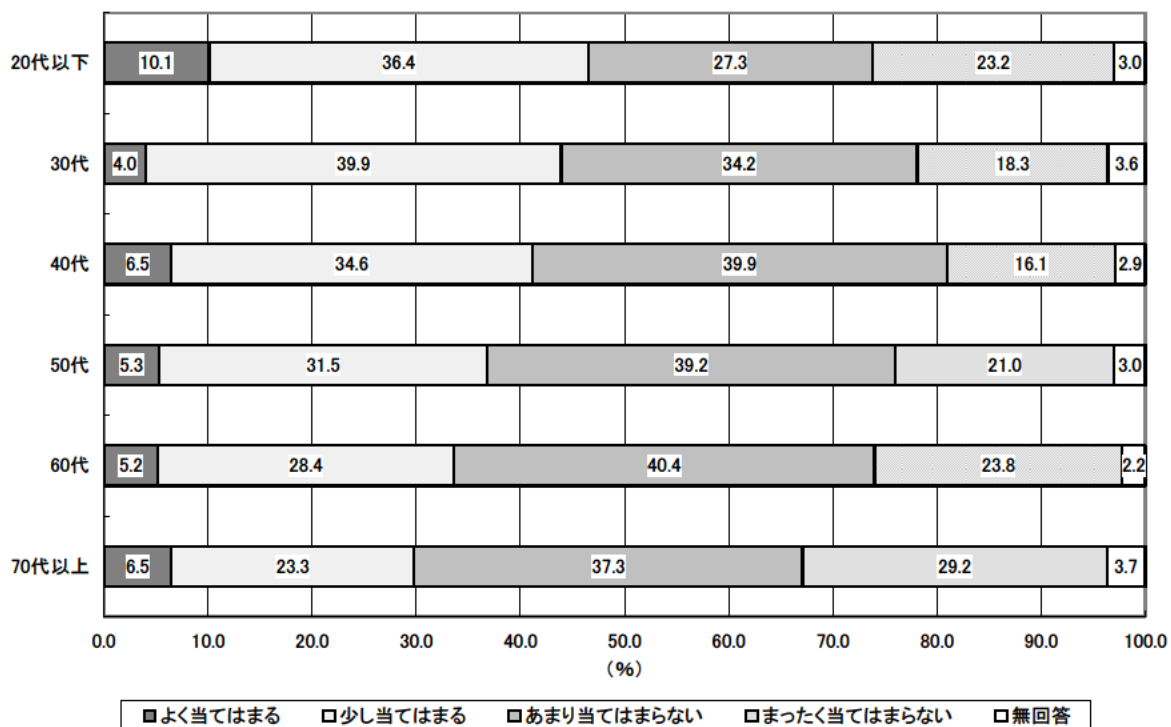
選択肢	件数	割合(%)
1 よく当てはまる	215	5.6
2 少し当てはまる	1174	30.6
3 あまり当てはまらない	1450	37.8
4 まったく当てはまらない	852	22.2
無回答	144	3.8
全体	3835	100.0



図表 I-10 市町村×特価品や新製品の衝動買い



図表 I-11 年齢×特価品や新製品の衝動買い

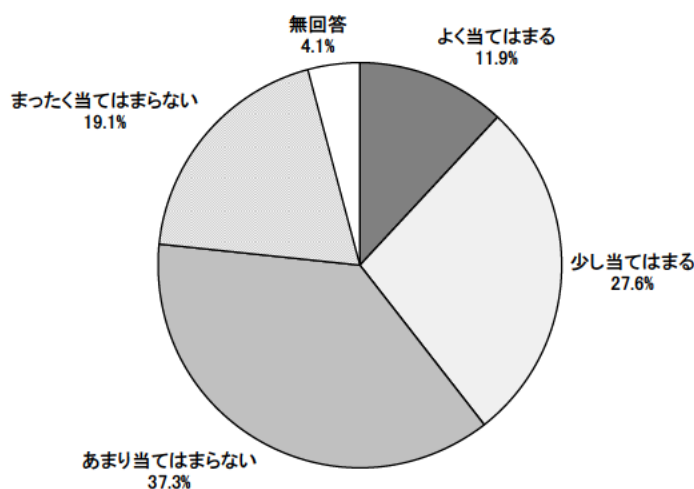


(2) 買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い替える

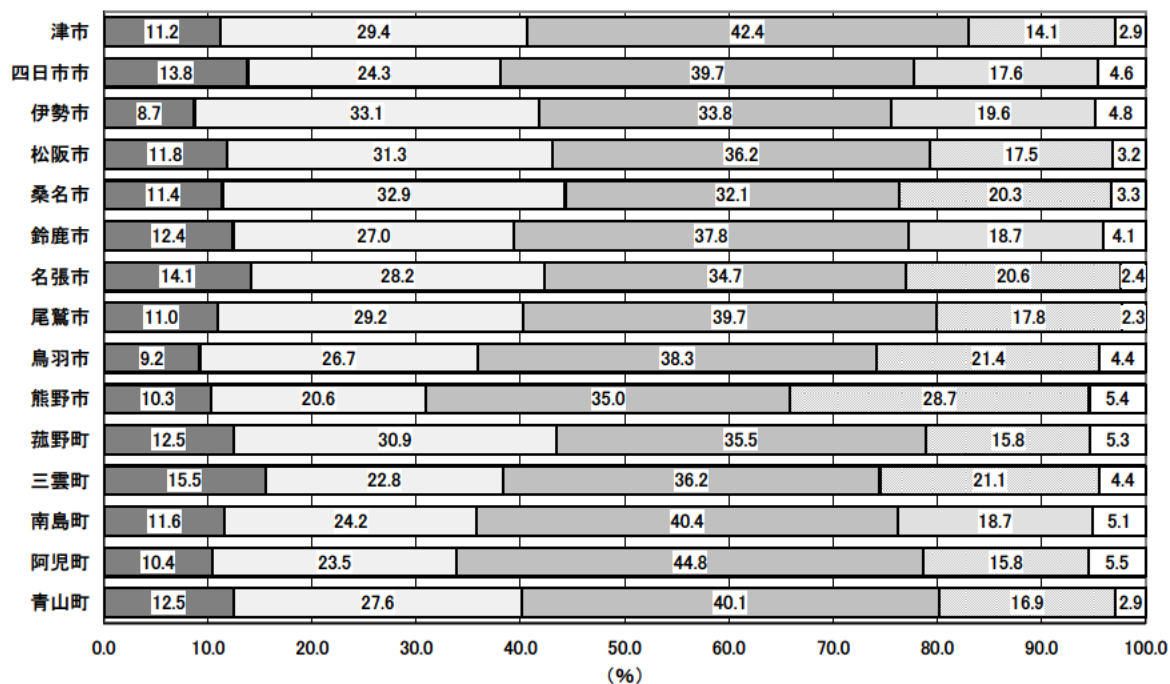
修理より買い替え志向については、「少し当てはまる」が約28%あり、「よく当てはまる」は約12%と1割を超える。この「当てはまる」とする割合を市町村別に見ると、最も高い桑名市で約44%、最も低い熊野市で約31%となっている。年齢層別による差はあまり見られない。

図表 I-12 修理より買い替え志向

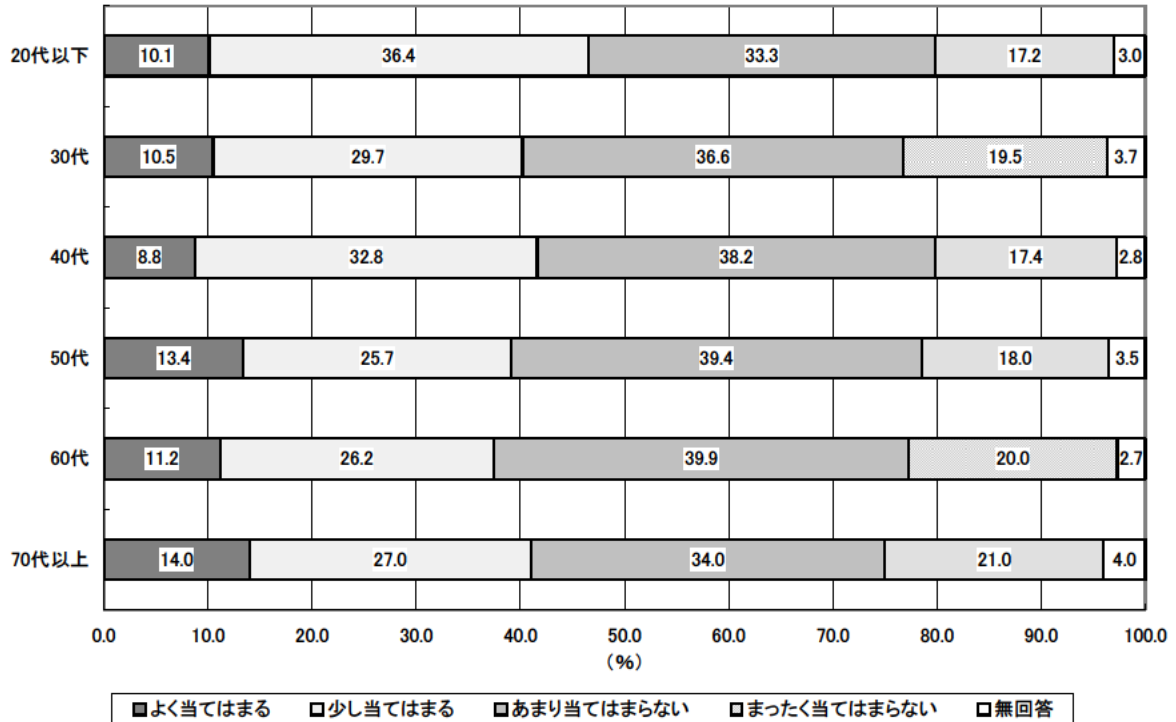
選択肢	件数	割合(%)
1 よく当てはまる	455	11.9
2 少し当てはまる	1060	27.6
3 あまり当てはまらない	1432	37.3
4 まったく当てはまらない	734	19.1
無回答	154	4.1
全体	3835	100.0



図表 I-13 市町村×修理より買い替え志向



図表 I-14 年齢×修理より買い替え志向

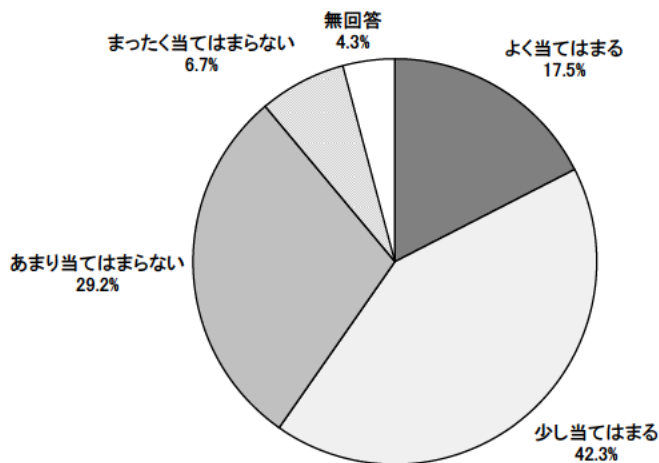


(3) お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ

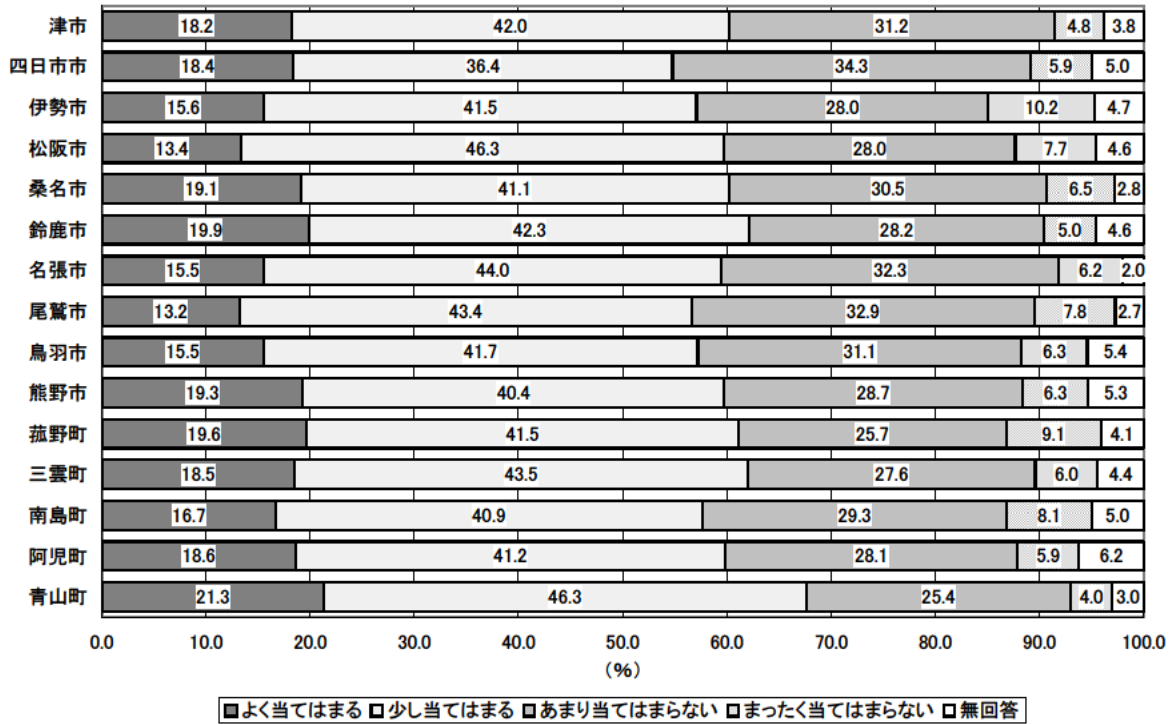
環境やごみのことを考えずに商品を選ぶかという問いに対しては、「少し当てはまる」が約 42%、「よく当てはまる」は約 18%あり、両者で約 60%を占める。「よく当てはまる」とする割合を市町村別に見ると、最も高い青山町で約 21%、最も低い尾鷲市で約 13%となっている。年齢層別には、30代、40代、70台以上で低くなっている。

図表 I-15 環境を考えない商品選び

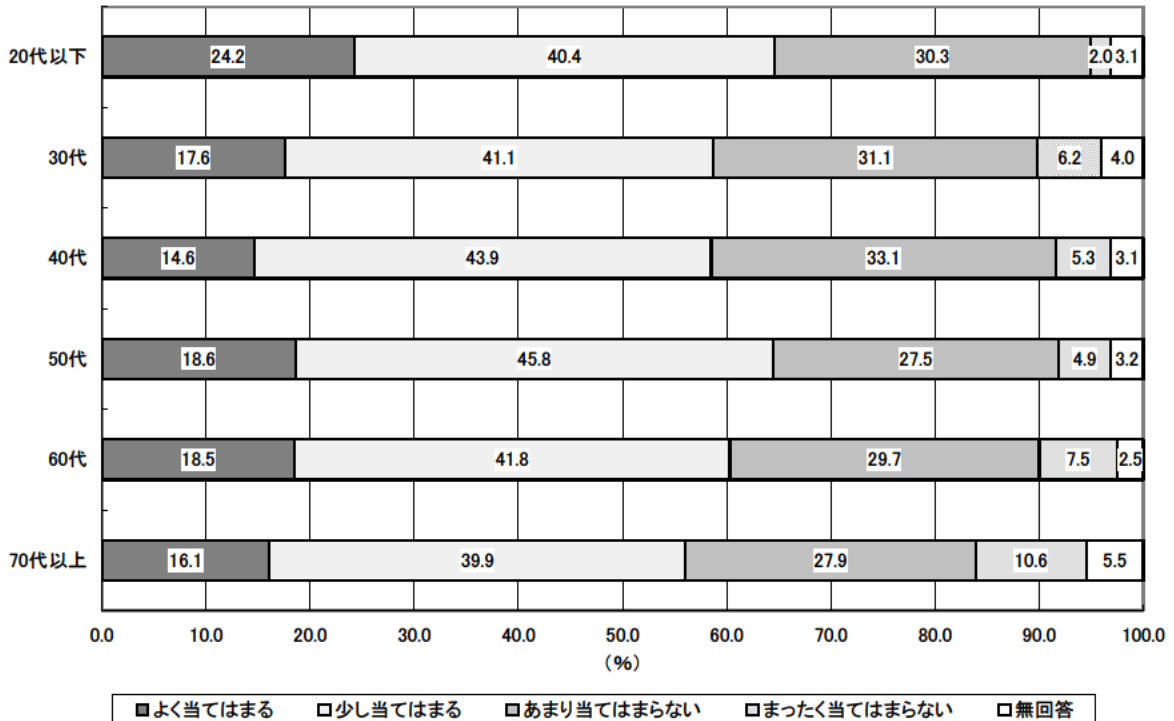
選択肢	件数	割合(%)
1 よく当てはまる	670	17.5
2 少し当てはまる	1624	42.3
3 あまり当てはまらない	1121	29.2
4 まったく当てはまらない	256	6.7
無回答	164	4.3
全体	3835	100.0



図表 I-16 市町村×環境を考えない商品選び



図表 I-17 年齢×環境を考えない商品選び

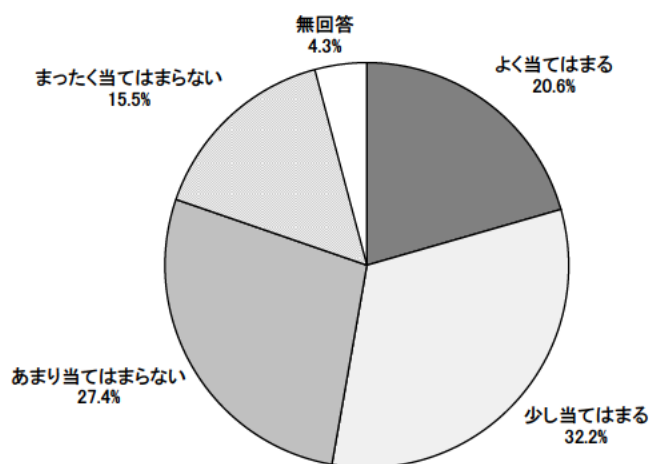


(4) 一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する

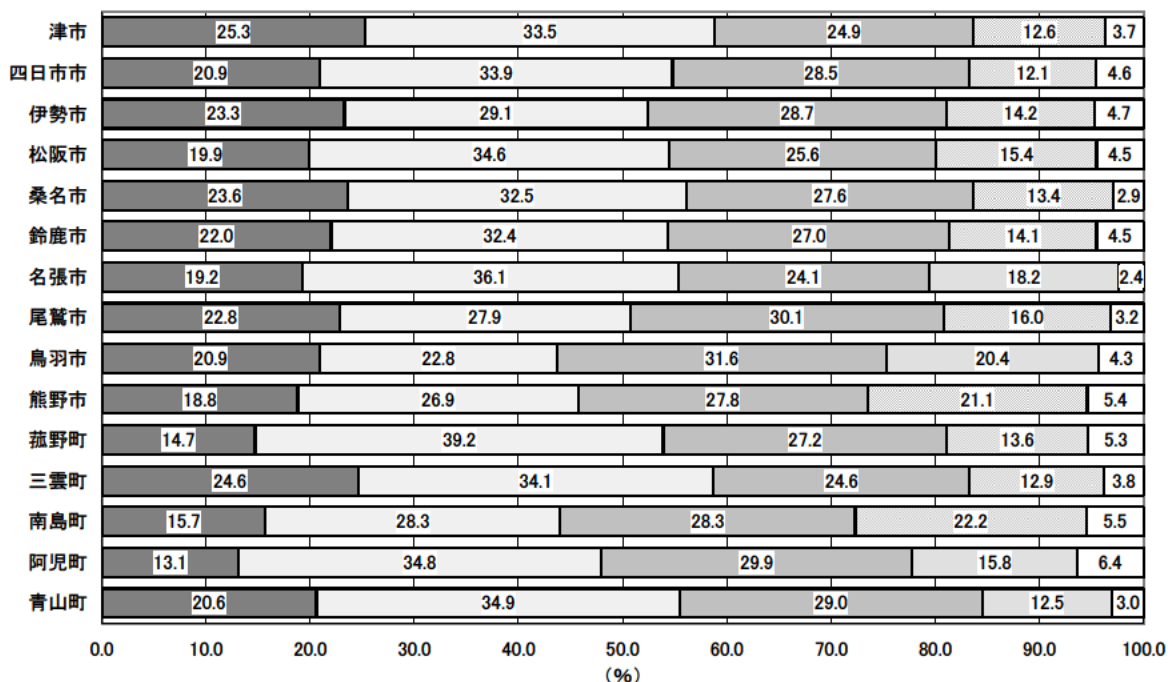
レンタル品より新品という志向については、「少し当てはまる」が約 32%あり、「よく当てはまる」も約 21%と2割を超える。この「当てはまる」とする割合を市町村別に見ると、津市や三雲町で高く6割近くを占める一方、鳥羽市、南島町、熊野市では低く 45%程度に止まる。年齢層別では、70 代以上で「当てはまる」とする割合が約 43%と平均より 10 ポイント低くなっている。

図表 I-18 レンタル品等より新品志向

選択肢	件数	割合(%)
1 よく当てはまる	789	20.6
2 少し当てはまる	1235	32.2
3 あまり当てはまらない	1050	27.4
4 まったく当てはまらない	595	15.5
無回答	166	4.3
全体	3835	100.0

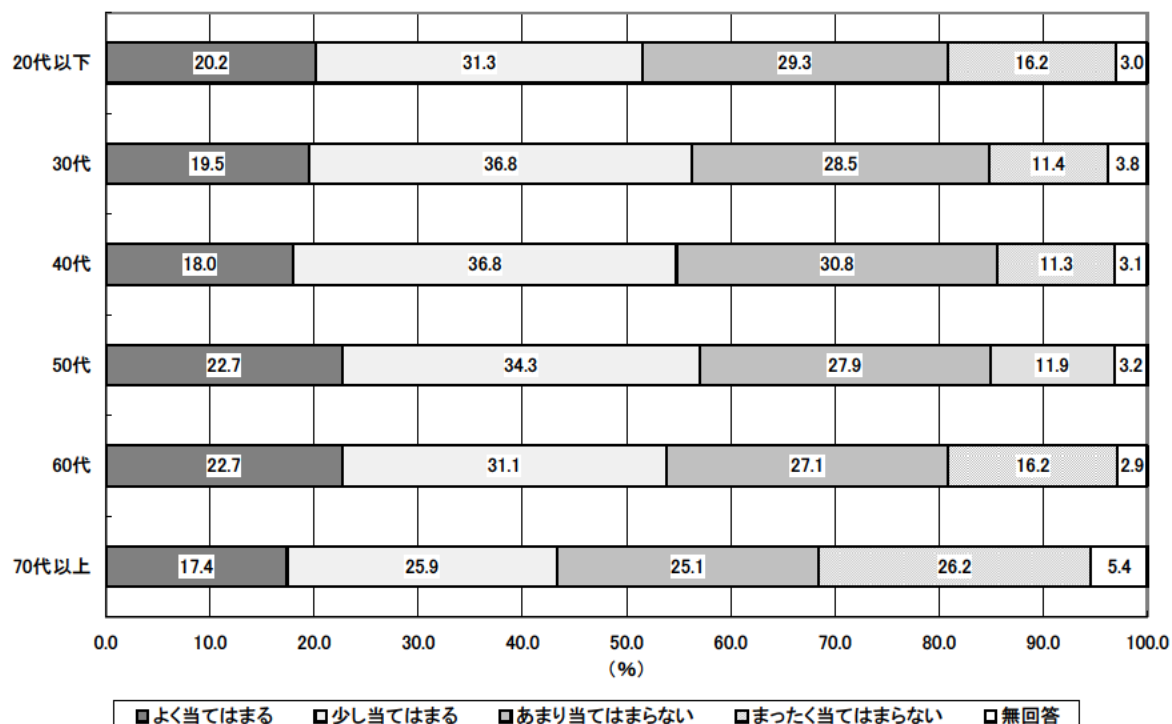


図表 I-19 市町村×レンタル品等より新品志向



□よく当てはまる □少し当てはまる □あまり当てはまらない □まったく当てはまらない □無回答

図表 I-20 年齢×レンタル品等より新品志向



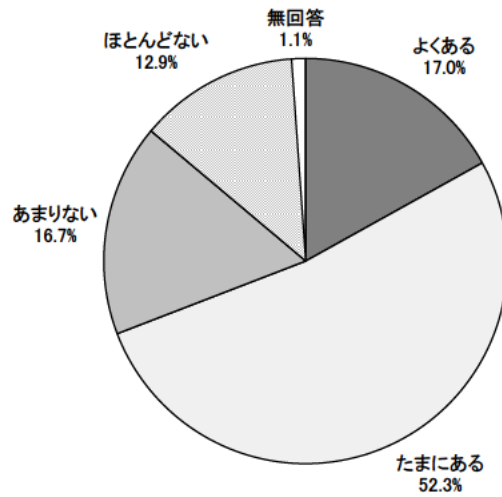
問3 食べ物のごみについてお聞きします。(○は1つずつ)

(1) 使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか？

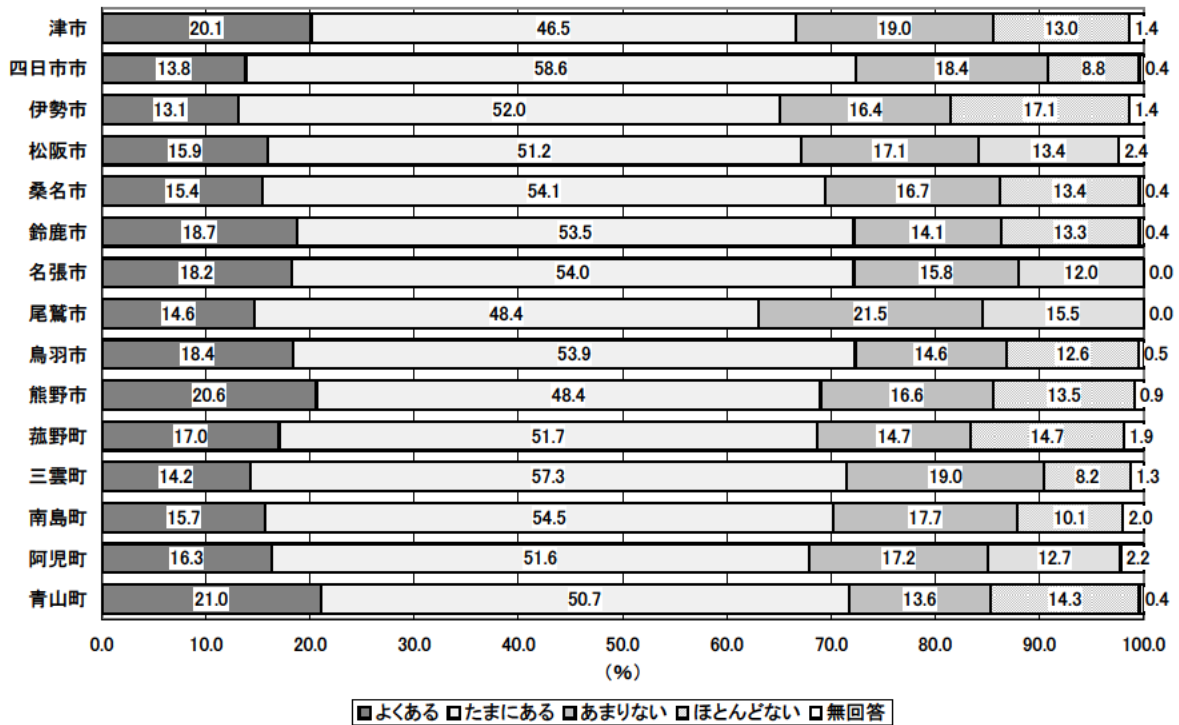
賞味期限切れ等による食材廃棄については、「たまにある」が約52%、「よくある」が約17%と、両者で約69%を占める。この「ある」とする割合を市町村別に見ると、最も低い尾鷲市でも約63%を占める。また、この割合は年齢層が上がるほど低くなり、世帯人数が多くなるほど高くなる傾向にある。

図表 I-21 使い残りや賞味期限切れによる食材廃棄

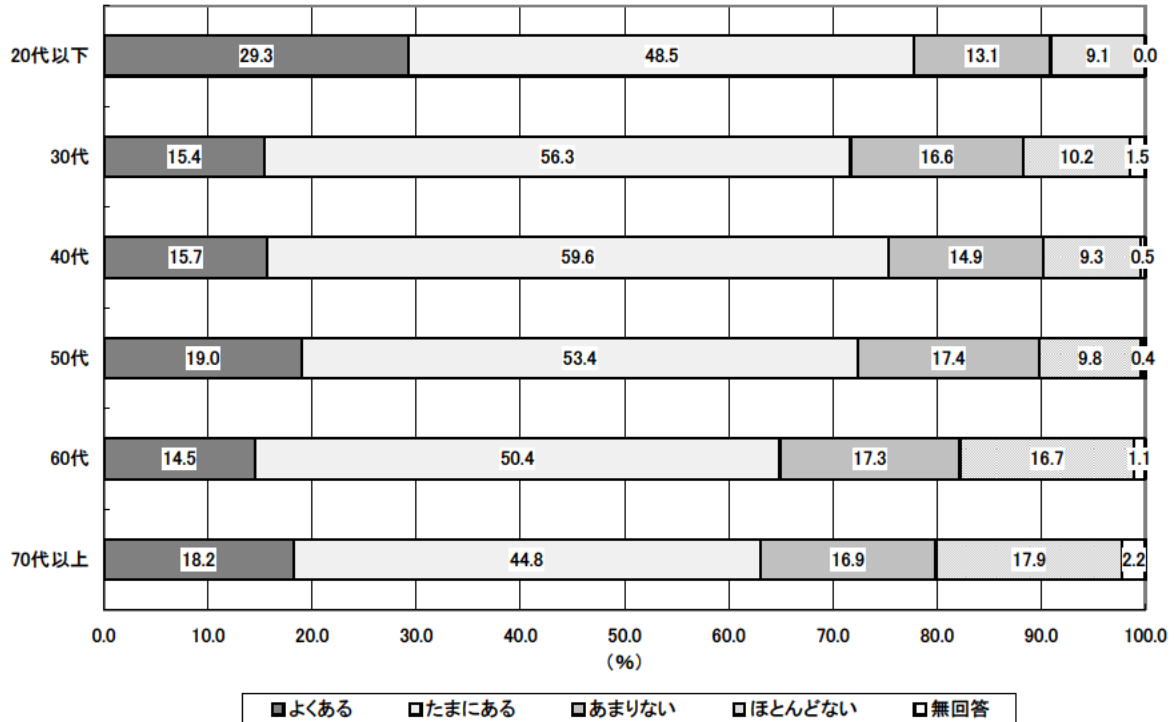
選択肢	件数	割合(%)
1 よくある	651	17.0
2 たまにある	2004	52.3
3 あまりない	642	16.7
4 ほとんどない	494	12.9
無回答	44	1.1
全体	3835	100.0



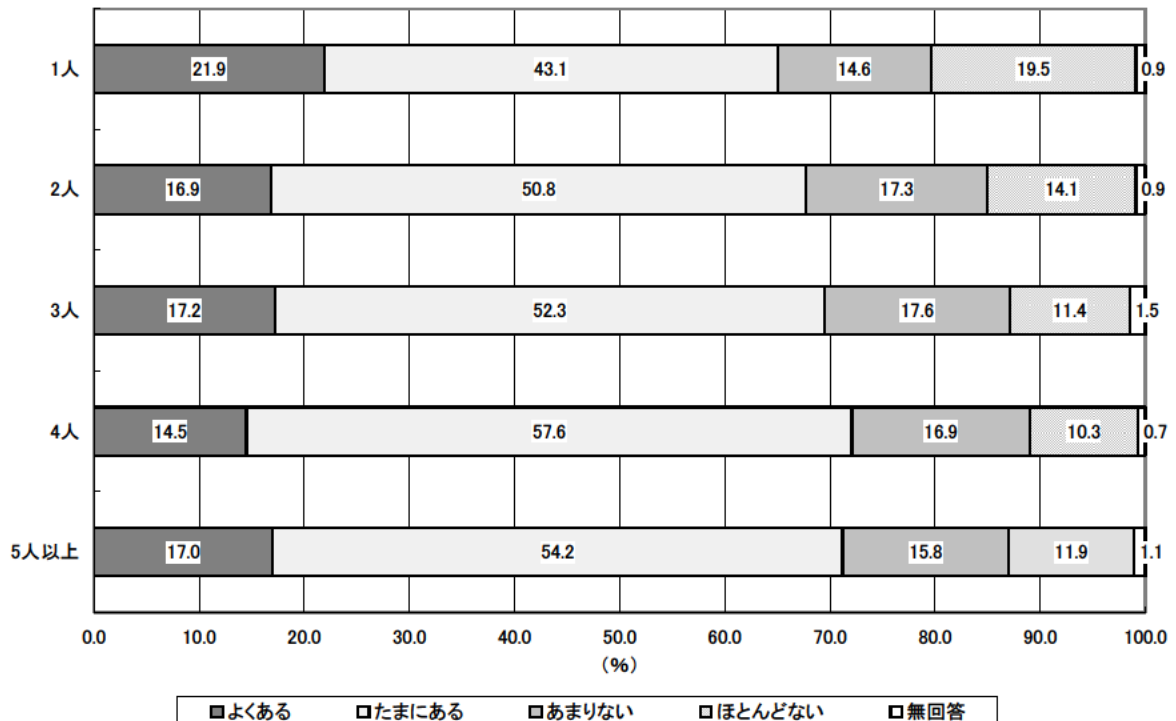
図表 I-22 市町村×使い残りや賞味期限切れによる食材廃棄



図表 I-23 年齢×使い残りや賞味期限切れによる食材廃棄



図表 I-24 世帯人数×使い残りや賞味期限切れによる食材廃棄

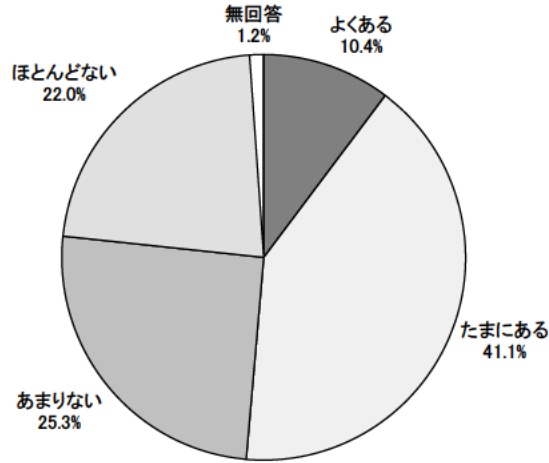


(2) 食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか？

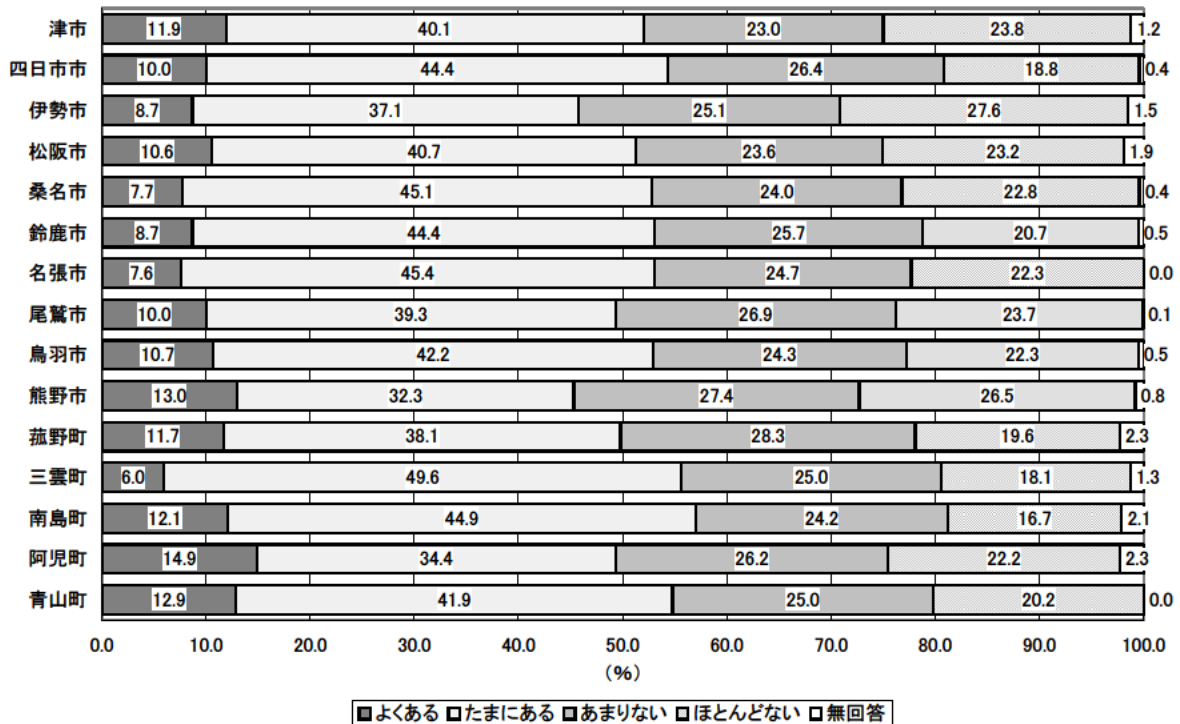
食べ残しによる食品廃棄については、「たまにある」が約 41%、「よくある」が約 10%と、両者で約 51%を占める。この「ある」とする割合を市町村別に見ると、最も低い熊野市でも約 45%となっている。

図表 I-25 食べ残しによる食品廃棄

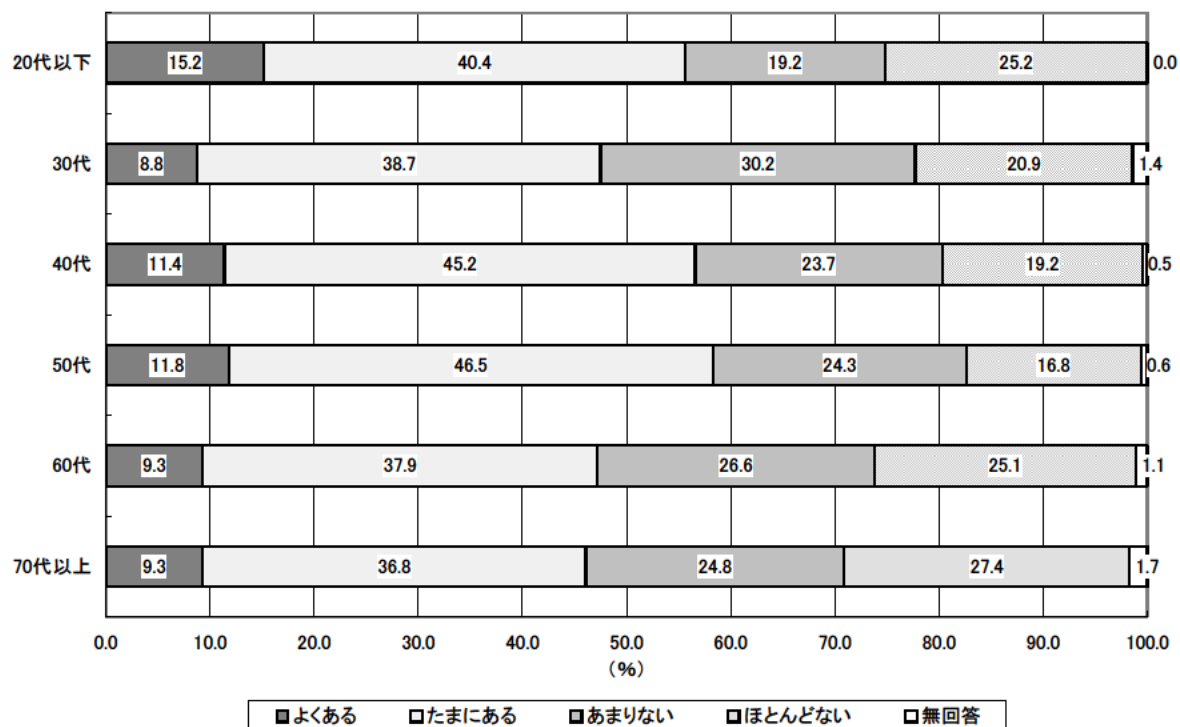
選択肢	件数	割合(%)
1 よくある	400	10.4
2 たまにある	1578	41.1
3 あまりない	970	25.3
4 ほとんどない	845	22.0
無回答	42	1.2
全体	3835	100.0



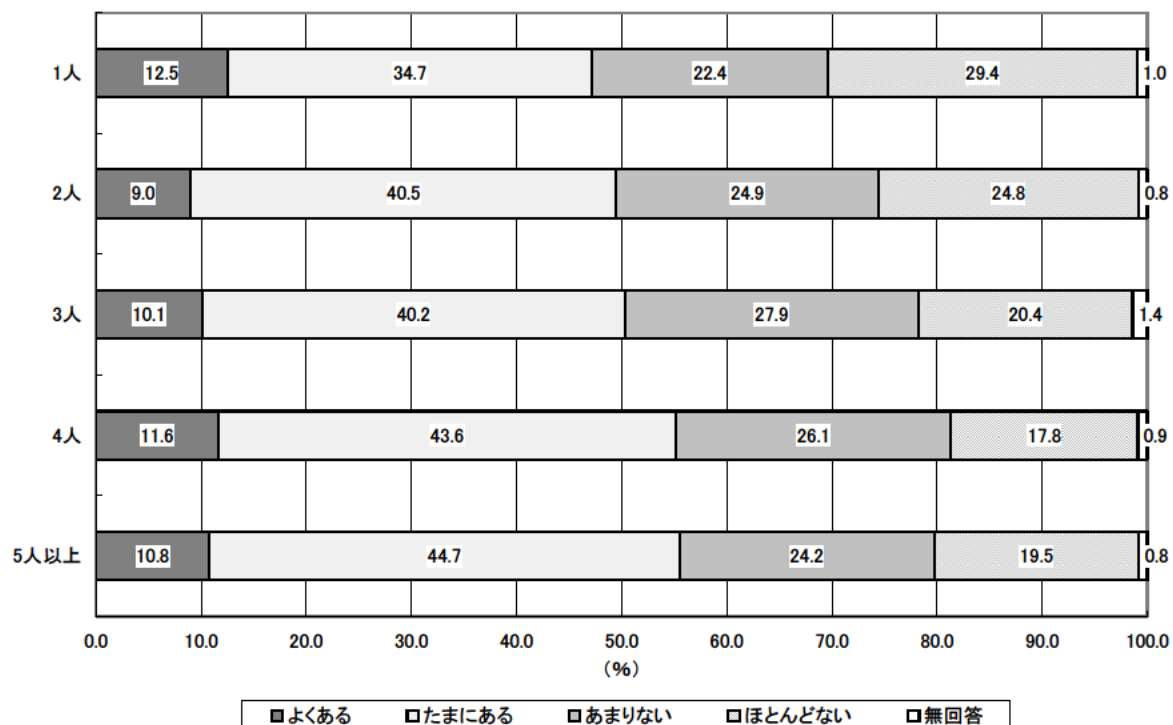
図表 I-26 市町村×食べ残しによる食品廃棄



図表 I-27 年齢×食べ残しによる食品廃棄



図表 I-28 世帯人数×食べ残しによる食品廃棄

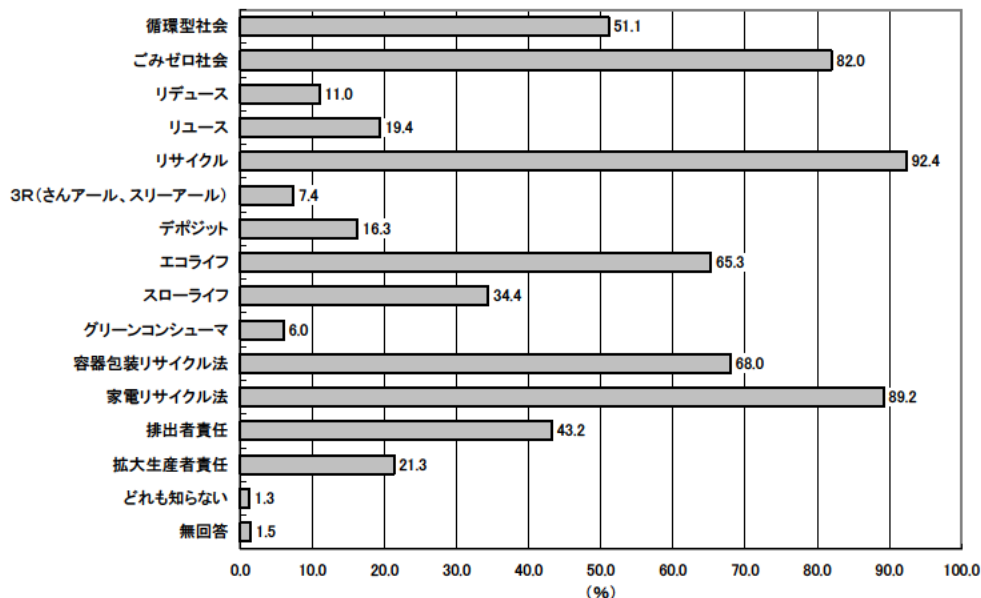


問4 次のうち、だいたい意味がわかる言葉はどれですか？（○はいくつでも）

認知度の高い言葉の上位は「リサイクル」(約 92%)、「家電リサイクル法」(約 89%)、「ごみゼロ社会」(約 82%)となっている。一方、下位は「グリーンコンシューマ」(約 6%)、「3R」(約 7%)、「リデュース」(約 11%)となっている。

図表 I-29 言葉の認知(複数回答)

選択肢	件数	割合(%)
1 循環型社会	1960	51.1
2 ごみゼロ社会	3146	82.0
3 リデュース	420	11.0
4 リユース	743	19.4
5 リサイクル	3542	92.4
6 3R(さんアール、スリーアール)	284	7.4
7 デボジット	625	16.3
8 エコライフ	2504	65.3
9 スローライフ	1319	34.4
10 グリーンコンシューマ	232	6.0
11 容器包装リサイクル法	2606	68.0
12 家電リサイクル法	3419	89.2
13 排出者責任	1655	43.2
14 拡大生産者責任	815	21.3
15 どれも知らない	48	1.3
無回答	58	1.5

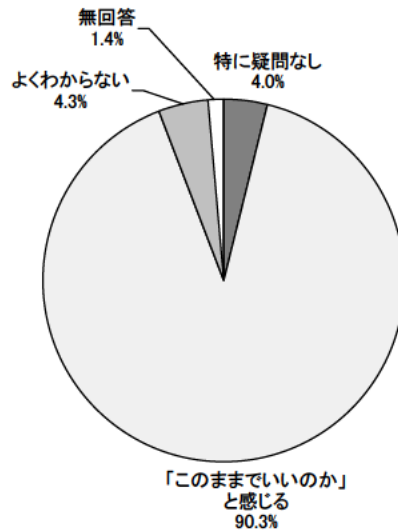


問5 使い捨て商品が身の回りにあふれ、その結果としてごみが大量に捨てられる現代の社会を、あなたはどのように感じていますか？（もっとも考えの近いもの1つに○）

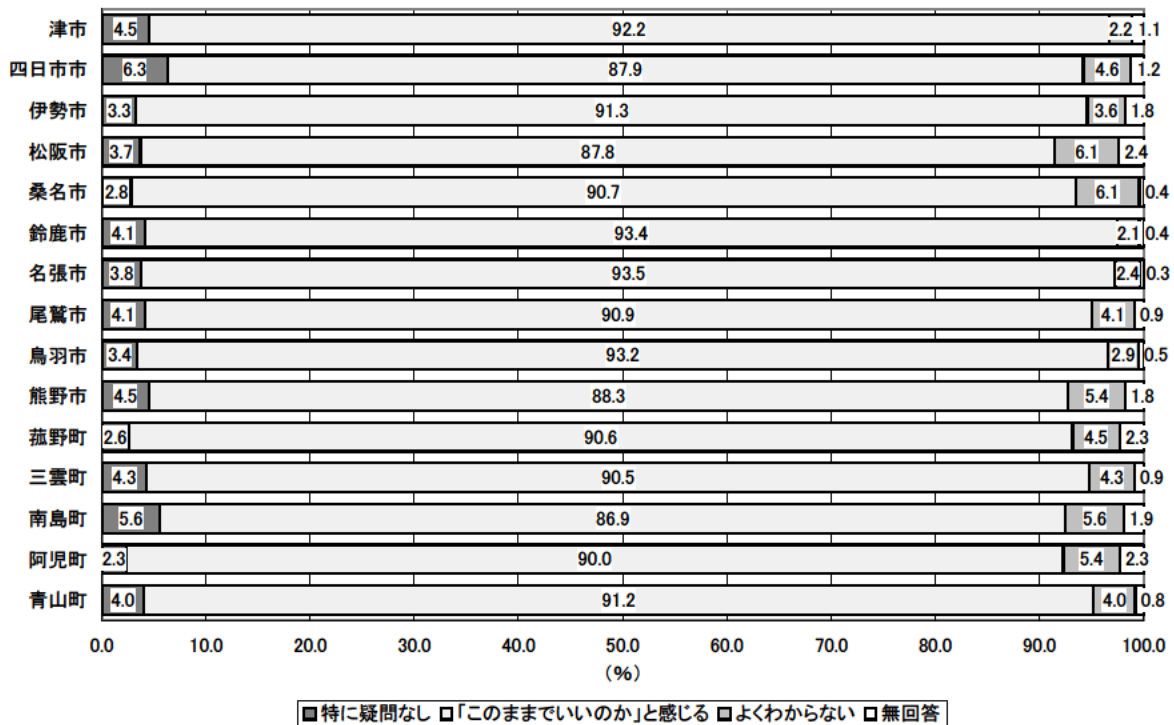
大量生産、大量消費、大量廃棄の社会経済活動に対し疑問を感じている割合が約 90%を占める。どの市町村でも同様の傾向が見られる。

図表 I-30 使い捨て社会への危機感

選択肢	件数	割合(%)
1 特に疑問なし	152	4.0
2 「このままでいいのか」と感じる	3463	90.3
3 よくわからない	166	4.3
無回答	54	1.4
全体	3835	100.0



図表 I-31 市町村×使い捨て社会への危機感

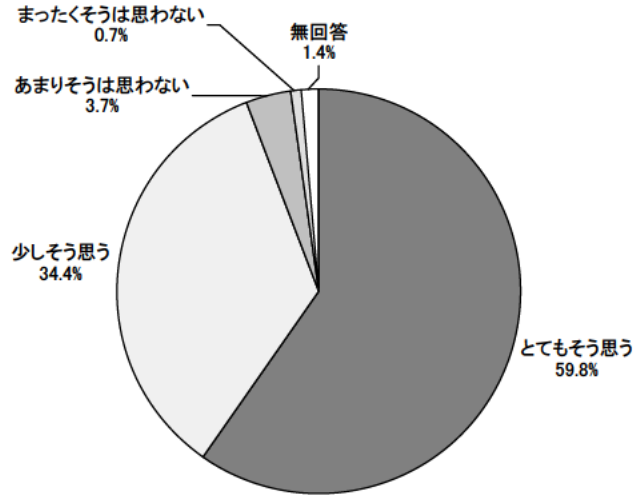


問6 ごみは手間やコストをかけてでも、できるだけ資源として有効利用すべきだと思いますか？（○は1つ）

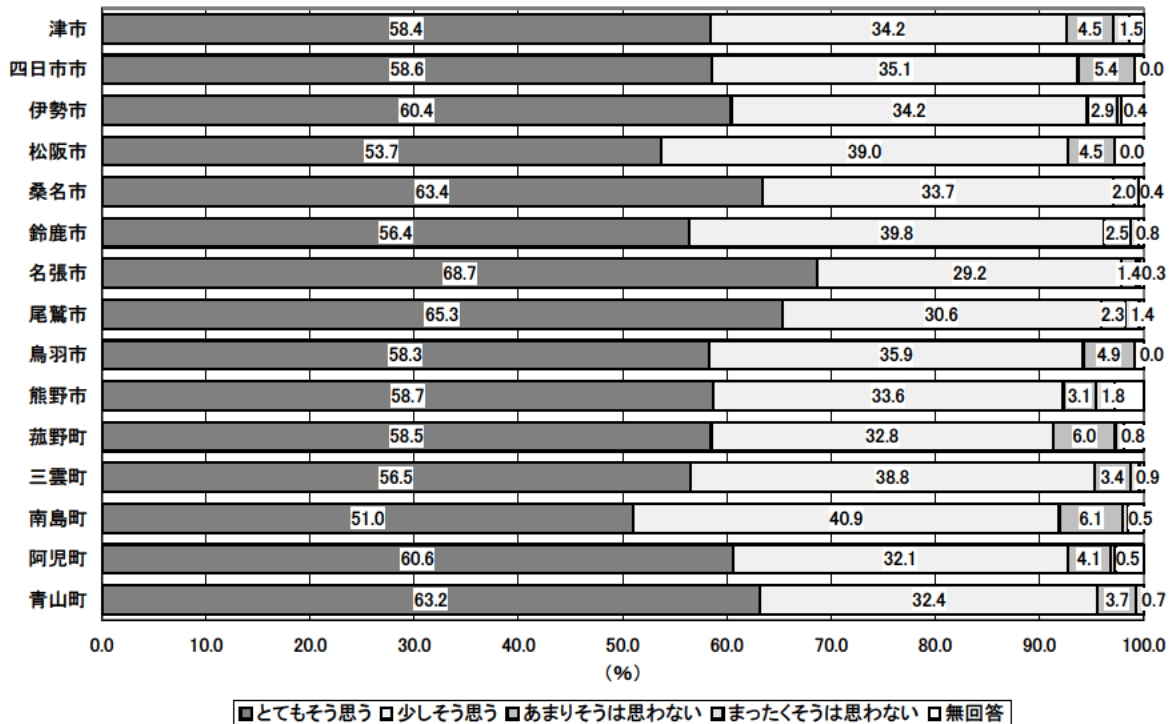
ごみに手間やコストをかけてでも資源化することに対し、「そう思う」とする割合が約94%を占める。「とてもそう思う」とする割合を市町村別に見ると、最も高い名張市で約69%と平均を9ポイント上回る一方、南島町では約51%と平均を9ポイント下回っている。

図表 I-32 資源としての有効利用への意見

選択肢	件数	割合(%)
1 とてもそう思う	2293	59.8
2 少しそう思う	1320	34.4
3 あまりそうは思わない	142	3.7
4 まったくそうは思わない	28	0.7
無回答	52	1.4
全体	3835	100.0



図表 I-33 市町村×資源としての有効利用への意見



(2) 現在行っているごみ減量やリサイクルの取り組みについて

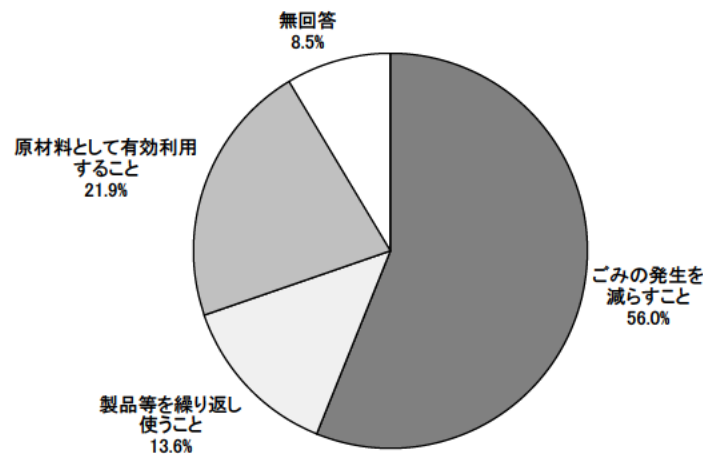
問7 ごみを減らす取り組みの中でどれが大切だと思いますか？（それぞれの枠内に番号を記入）

ごみ減量化に当たって、最も大切だと思う取り組みについては、「ごみの発生を減らすこと(リデュース)」が約 56%と最も高く、「製品等を繰り返し使うこと(リユース)」の約 14%を加えると約 70%と、「原材料として有効利用すること(リサイクル)」の約 22%を大きく上回る。「ごみの発生を減らすこと」とする割合は桑名市で最も高く、約 64%と平均を 8 ポイント上回っている。

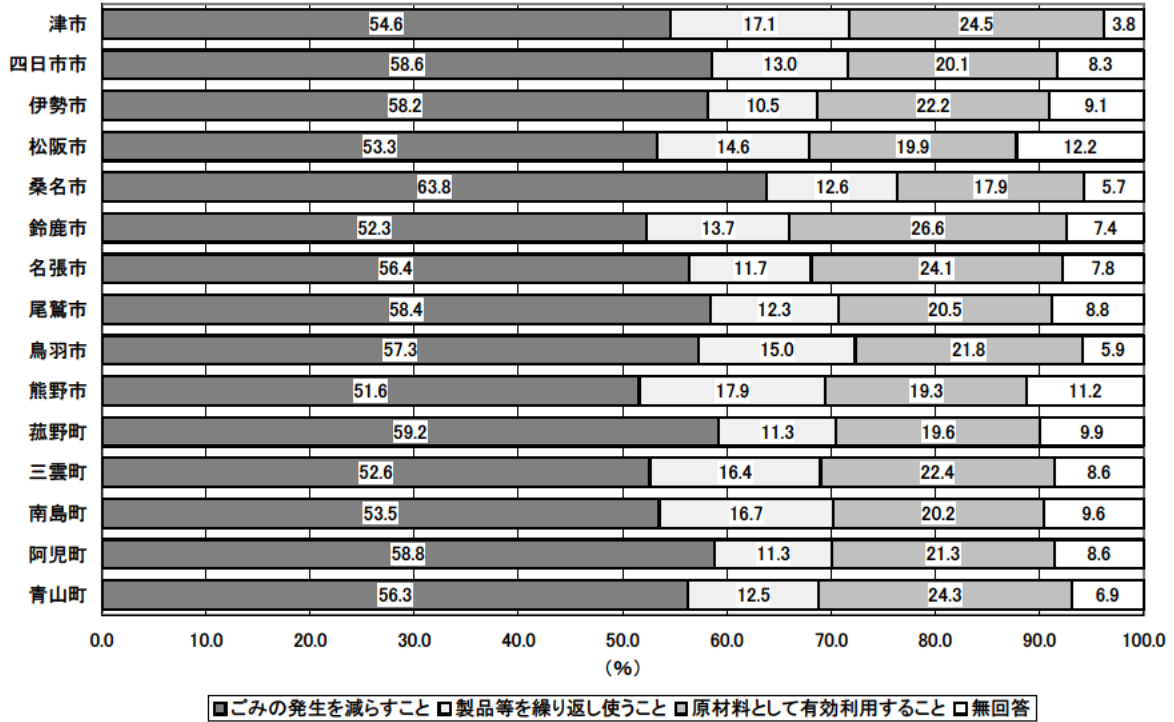
【最も大切だと思う】

図表 I-34 最も大切だと思う取り組み

選択肢	件数	割合(%)
1 ごみの発生を減らすこと	2146	56.0
2 製品等を繰り返し使うこと	522	13.6
3 原材料として有効利用すること	838	21.9
無回答	329	8.5
全体	3835	100.0



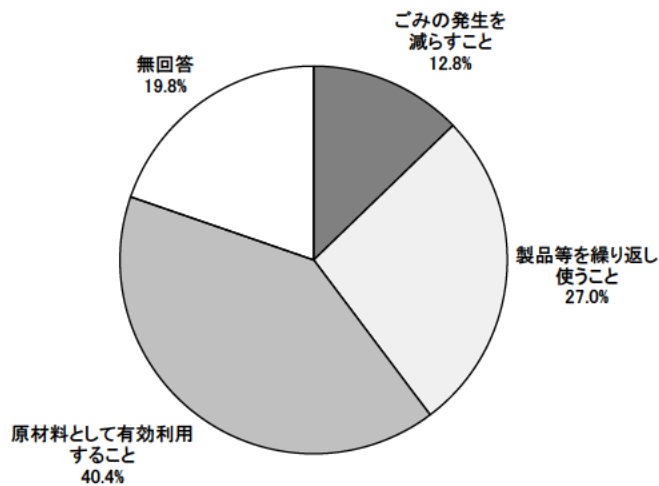
図表 I-35 市町村×最も大切だと思う取り組み



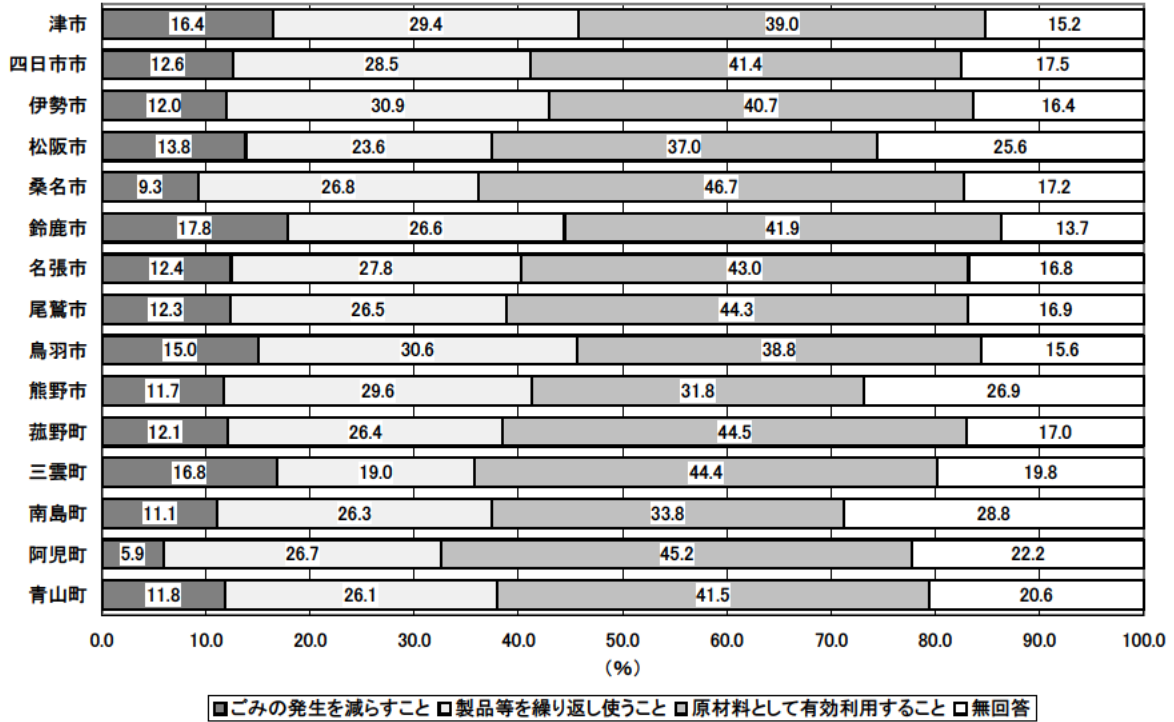
【次に大切だと思う】

図表 I-36 次に大切だと思う取り組み

選択肢	件数	割合(%)
1 ごみの発生を減らすこと	491	12.8
2 製品等を繰り返し使うこと	1036	27.0
3 原材料として有効利用すること	1551	40.4
無回答	757	19.8
全体	3835	100.0



図表 I-37 市町村×次に大切だと思う取り組み

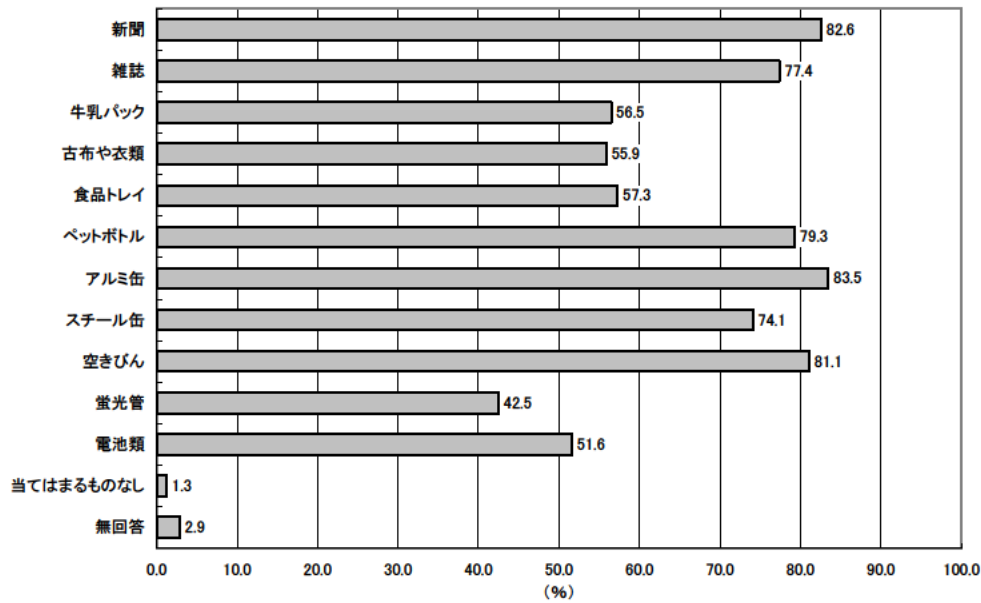


問8 あなたのご家庭では、次のうち、資源ごみとして市町村の収集に出している品目はどれですか？（当てはまるものすべてに○）

市町村が行っている資源ごみ収集に出している品目については、「アルミ缶」「新聞」「空きびん」が8割以上、「ペットボトル」「雑誌」「スチール缶」も7割を超えている。「食品トレイ」「牛乳パック」「古布や衣類」「電池類」は5割台に止まっている。

図表 I-38 市町村実施の資源ごみ収集への分別排出品目（複数回答）

選択肢	件数	割合(%)
1 新聞	3168	82.6
2 雑誌	2967	77.4
3 牛乳パック	2165	56.5
4 古布や衣類	2144	55.9
5 食品トレイ	2197	57.3
6 ペットボトル	3042	79.3
7 アルミ缶	3201	83.5
8 スチール缶	2841	74.1
9 空きびん	3111	81.1
10 蛍光管	1630	42.5
11 電池類	1977	51.6
12 当てはまるものなし	50	1.3
無回答	112	2.9

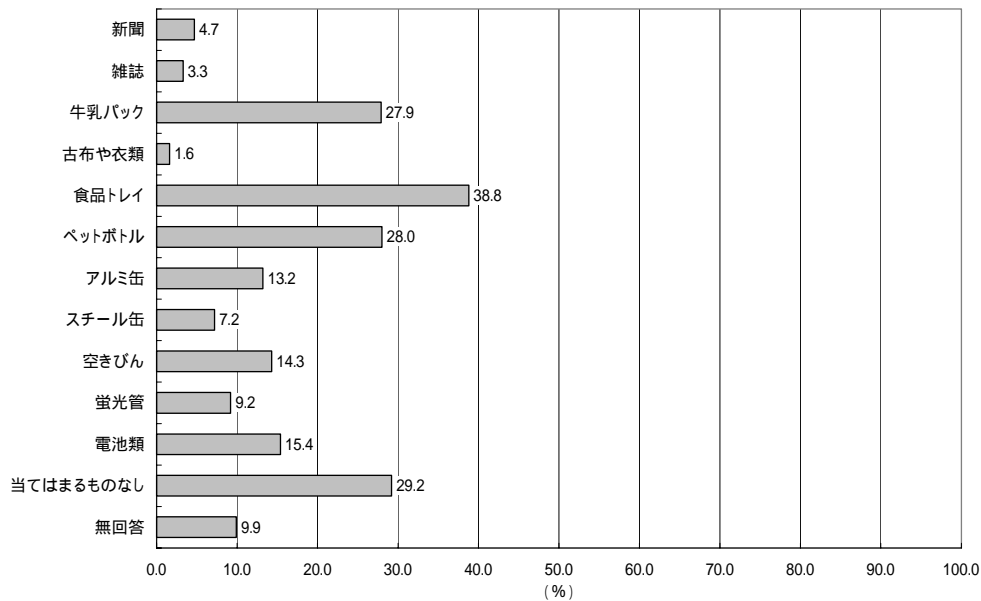


問9 あなたのご家庭では、次のうち、お店に持って行って回収してもらっている品目はどれですか？
（当てはまるものすべてに○）

小売店等の店頭回収に出している品目については、「食品トレイ」が約 39%と最も高く、「ペットボトル」「牛乳パック」の約 28%が続く。「当てはまるものなし」も約 29%ある。

図表 I-39 店頭回収への分別排出品目（複数回答）

選択肢	件数	割合(%)
1 新聞	179	4.7
2 雑誌	126	3.3
3 牛乳パック	1070	27.9
4 古布や衣類	60	1.6
5 食品トレイ	1487	38.8
6 ペットボトル	1073	28.0
7 アルミ缶	507	13.2
8 スチール缶	277	7.2
9 空きびん	549	14.3
10 蛍光管	354	9.2
11 電池類	592	15.4
12 当てはまるものなし	1119	29.2
無回答	378	9.9

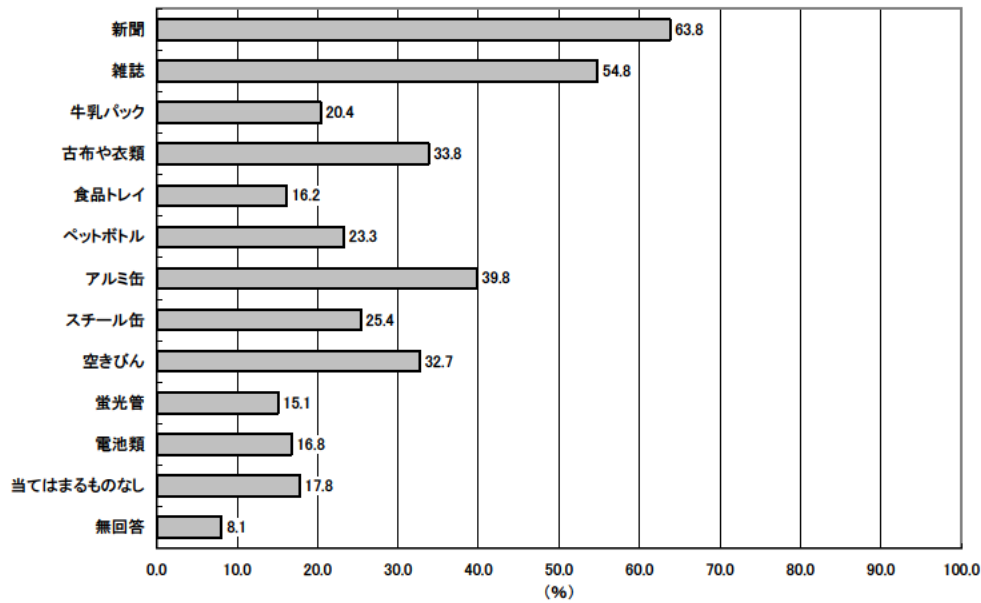


問 10 あなたのご家庭では、次のうち、地域で行われる廃品回収（集団回収）に出している品目はどれですか？（当てはまるものすべてに ）

地域の廃品回収（集団回収）に出している品目については、「新聞」が約 64%と最も高く、以下、「雑誌」の約 55%、「アルミ缶」の約 40%、「古布や衣類」の約 34%、「空きびん」の約 33%と続く。「蛍光灯」や「乾電池」は 15%程度に止まっている。

図表 I-40 地域の集団回収への分別排出品目（複数回答）

選択肢	件数	割合(%)
1 新聞	2445	63.8
2 雑誌	2102	54.8
3 牛乳パック	783	20.4
4 古布や衣類	1295	33.8
5 食品トレイ	621	16.2
6 ペットボトル	893	23.3
7 アルミ缶	1528	39.8
8 スチール缶	976	25.4
9 空きびん	1255	32.7
10 蛍光灯	579	15.1
11 電池類	644	16.8
12 当てはまるものなし	684	17.8
無回答	312	8.1

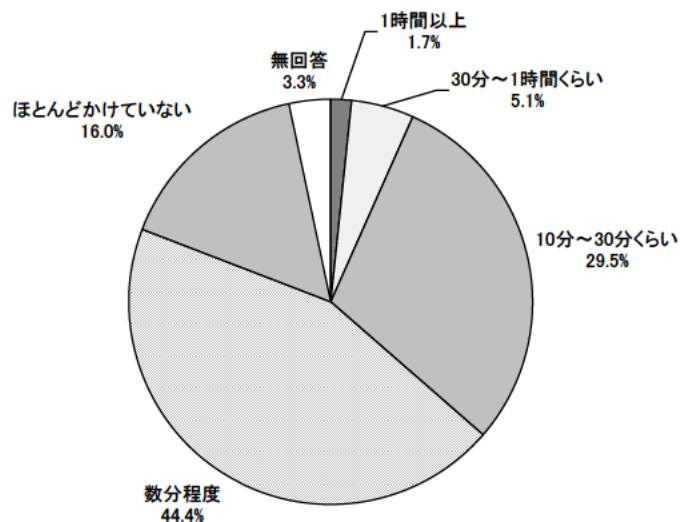


問 11 ごみを分別するのに、あなたは1日あたりおおよそどのくらいの時間をかけていると思いますか？（○は1つ）

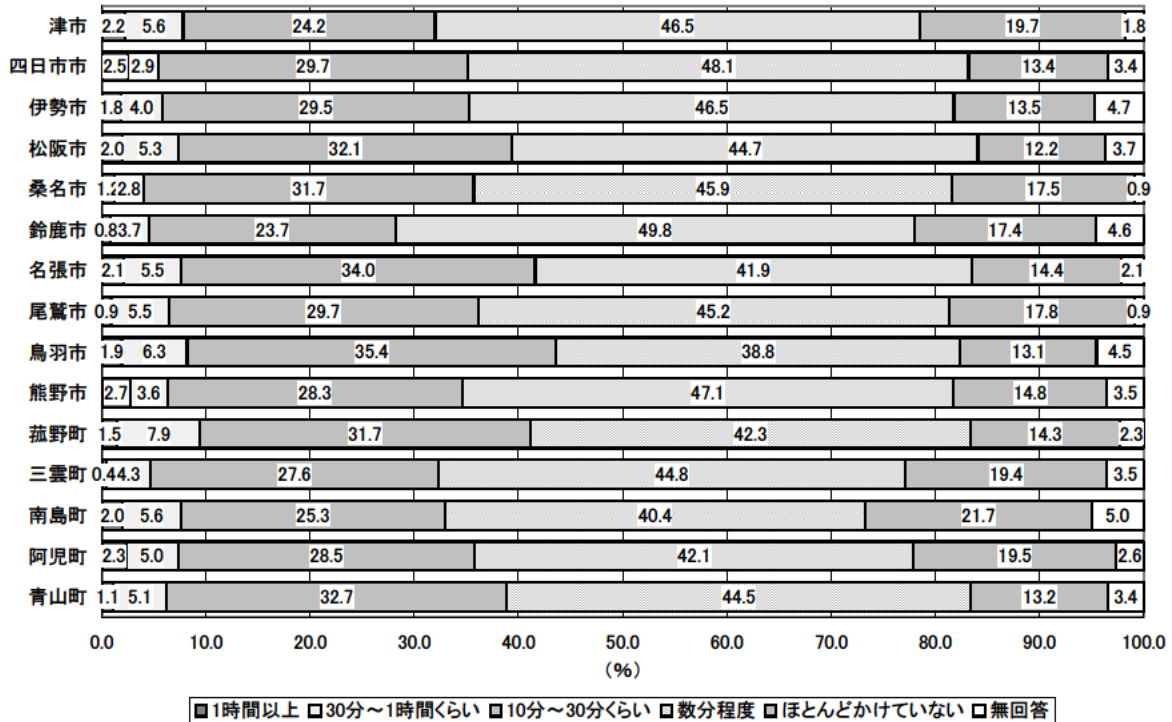
家庭内でごみの分別に要している時間は、「数分程度」が約 44%と最も高く、「ほとんどかけていない」の約 16%を加えると、数分以内で済ませている割合が約 60%を占める。全体にどの市町村も似た傾向を示しているが、分別に「10分以上かけている」割合で比較してみると、鳥羽市、名張市、菰野町で4割を超えている。

図表 I-41 1日あたりの分別作業時間

選択肢	件数	割合 (%)
1 1時間以上	66	1.7
2 30分～1時間くらい	195	5.1
3 10分～30分くらい	1131	29.5
4 数分程度	1704	44.4
5 ほとんどかけていない	615	16.0
無回答	124	3.3
全体	3835	100.0



図表 I-42 市町村×1日あたりの分別作業時間



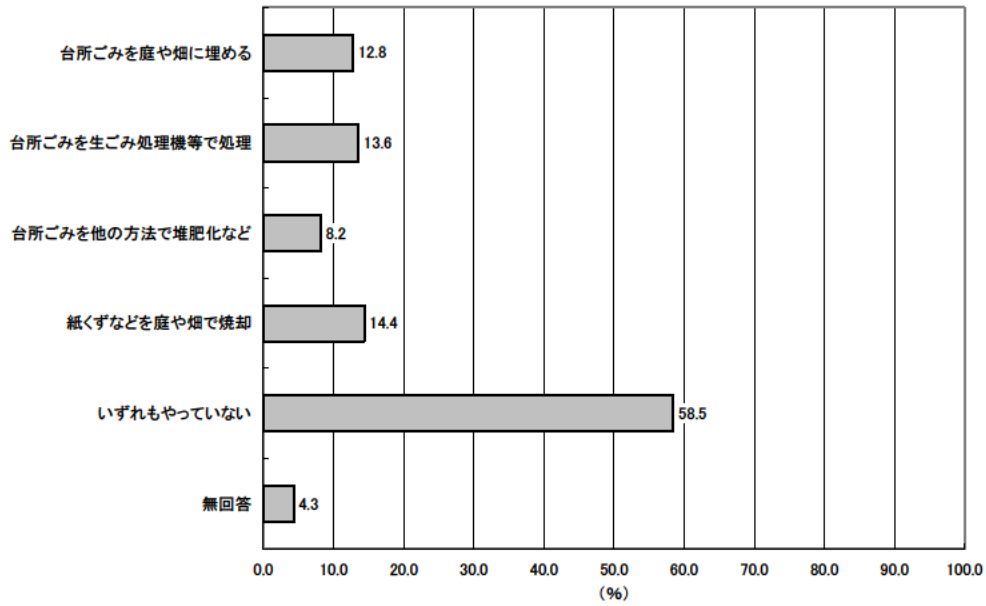
問 12 次のうち、あなたのご家庭でやっていることはどれですか？（当てはまるものすべてに○）

「紙くずなどを庭や畑で焼却」、「台所ごみを生ごみ処理機等で処理」が約 14%、「台所ごみを庭や畑に埋める」は約 13%となっている。「いずれもやっていない」は約 59%と高く、市町村別に見ると、伊勢市、尾鷲市、四日市市、桑名市で 7 割前後に及ぶ一方、阿児町、菰野町、三雲町、熊野市では 3～4 割台と低く、都市部の方が高くなる傾向を示している。

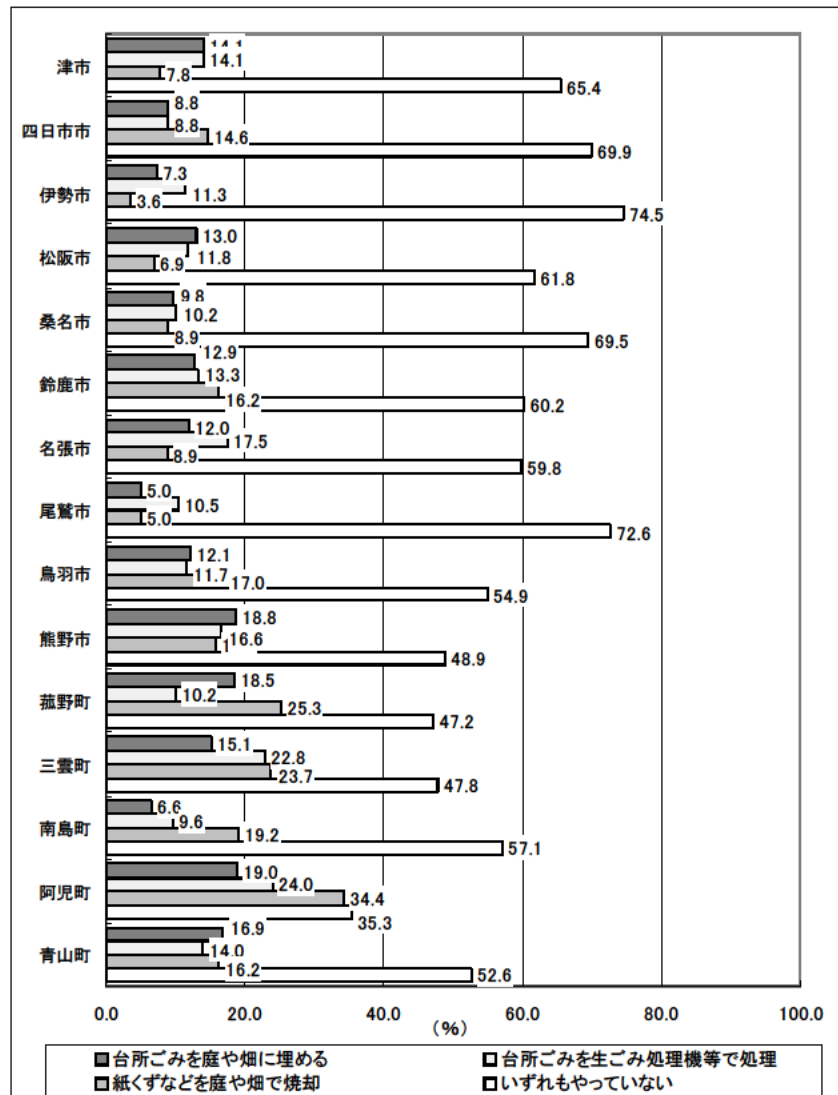
年齢層別には、年齢層が高くなるほど、取り組む割合が増える傾向が見られる。

図表 I-43 家庭で実施しているごみ減量の取り組み(複数回答)

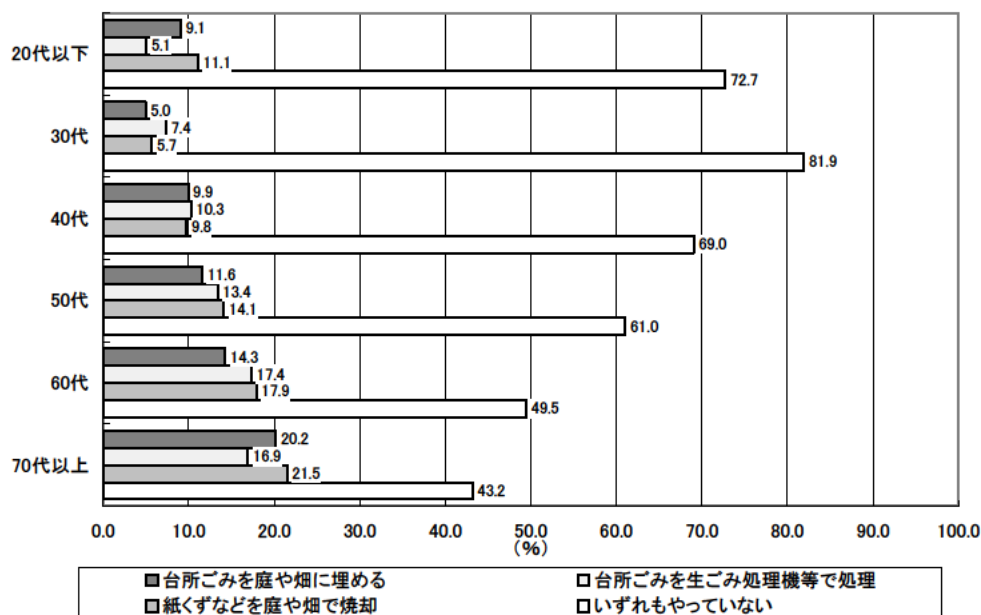
選択肢	件数	割合(%)
1 台所ごみを庭や畑に埋める	491	12.8
2 台所ごみを生ごみ処理機等で処理	520	13.6
3 台所ごみを他の方法で堆肥化など	314	8.2
4 紙くずなどを庭や畑で焼却	551	14.4
5 いずれもやっていない	2244	58.5
無回答	164	4.3



図表 I-44 市町村×家庭で実施しているごみ減量の取り組み(一部選択肢のみ)(複数回答)



図表 I-45 年齢×家庭で実施しているごみ減量の取り組み(一部選択肢のみ)(複数回答)



問 13 あなたのご家庭では、ごみを出すにあたり、どのような問題がありますか？(○は3つまで)

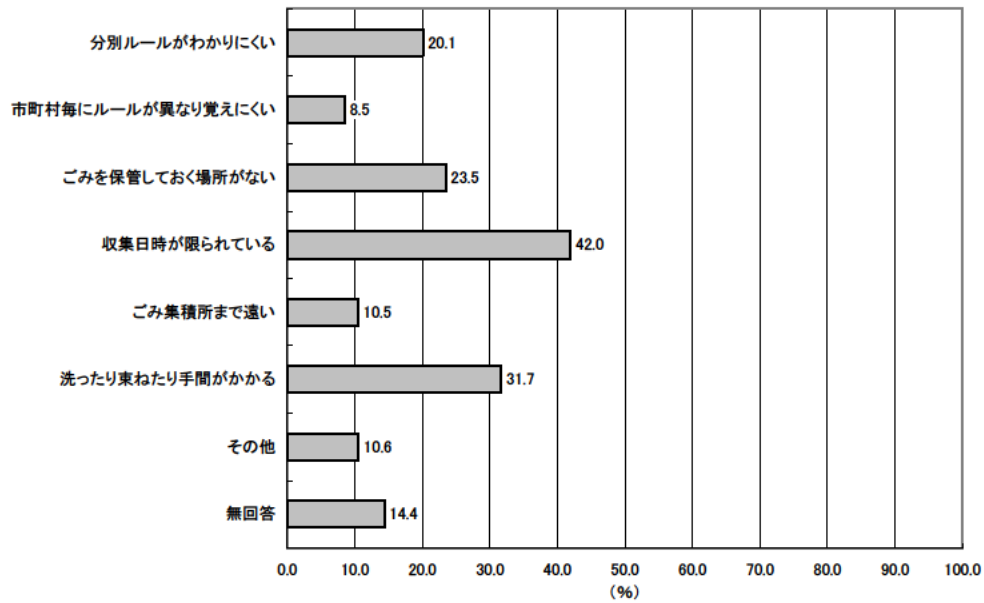
ごみを出すに当たり困ることについては、「収集日時が限られている」が最も高く約 42%を占める。以下、「洗ったり束ねたり手間がかかる」が約 32%、「ごみを保管しておく場所がない」が約 24%と続く。

市町村別に見ると、「収集日時が限られている」は阿児町、三雲町で、「洗ったり束ねたり手間がかかる」は菰野町、鳥羽市で、「ごみを保管しておく場所がない」は桑名市で高くなっている。また、「分別ルールがわかりにくい」は津市、四日市市で高くなっている。

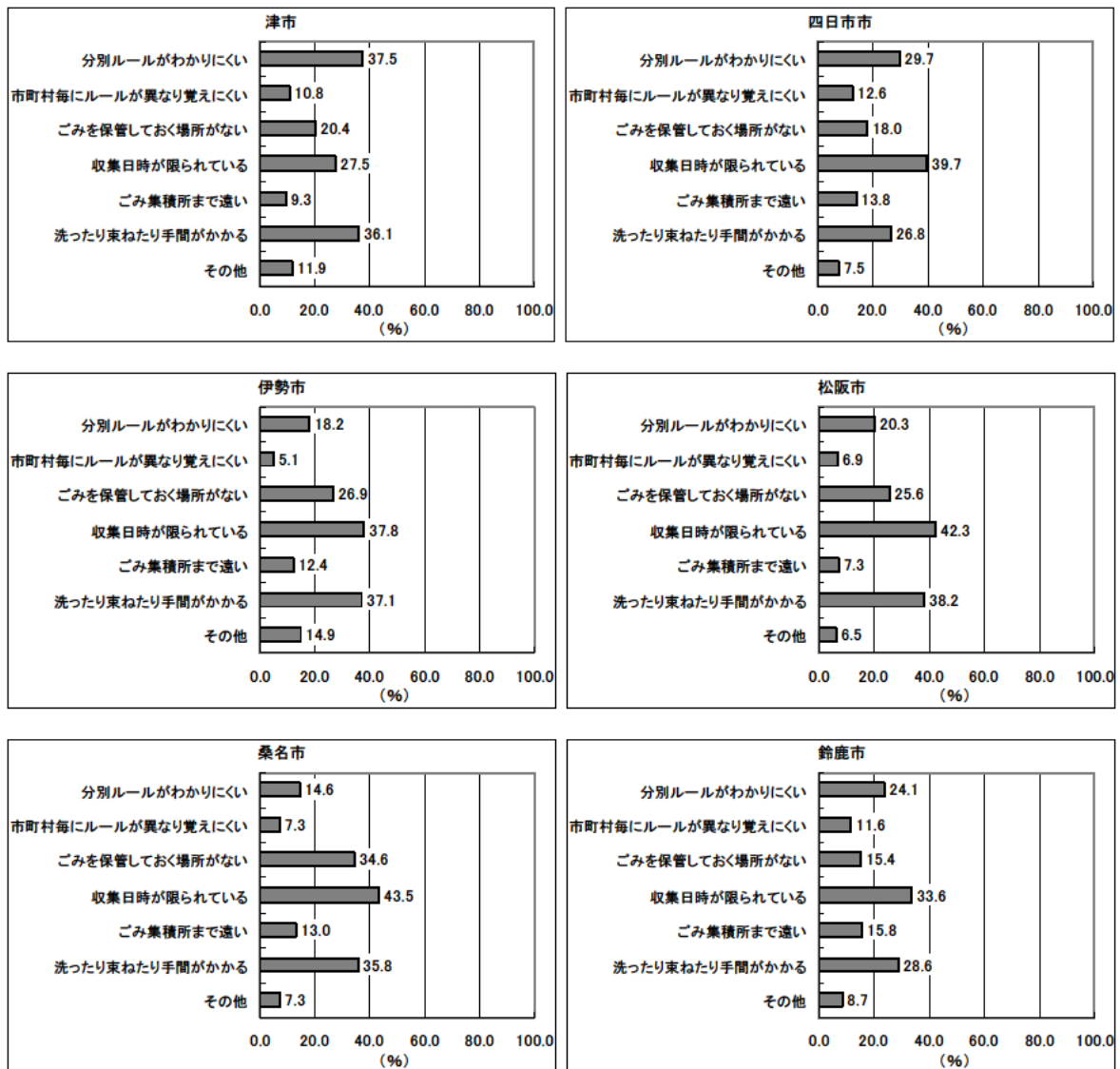
年齢別では、「収集日時が限られている」は 20 代以下を除くすべての年代で 4 割程度を占める。「洗ったり束ねたり手間がかかる」は 40 代、50 代で高く 4 割弱となっている。「ごみを保管しておく場所がない」は年齢層が下がるほど高くなる傾向があり、20 代以下では約 40%となっている。

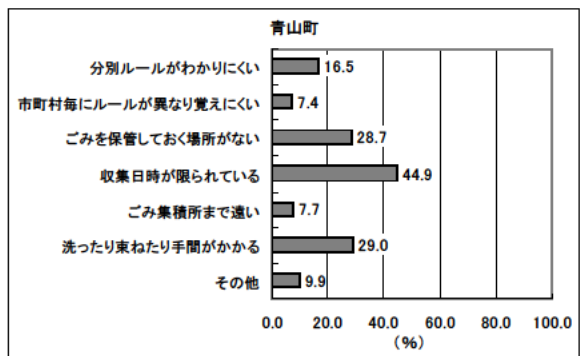
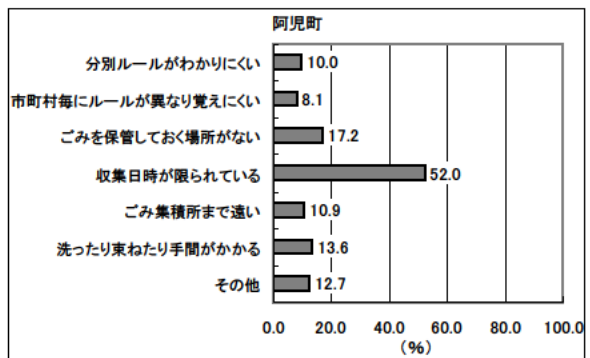
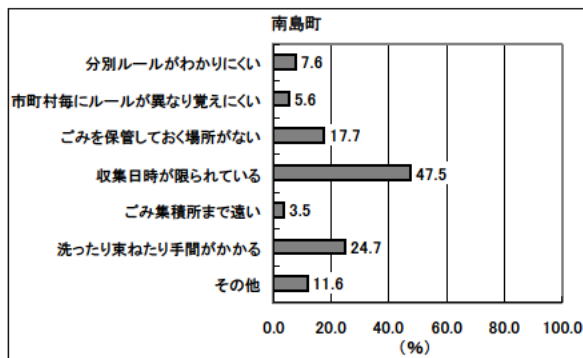
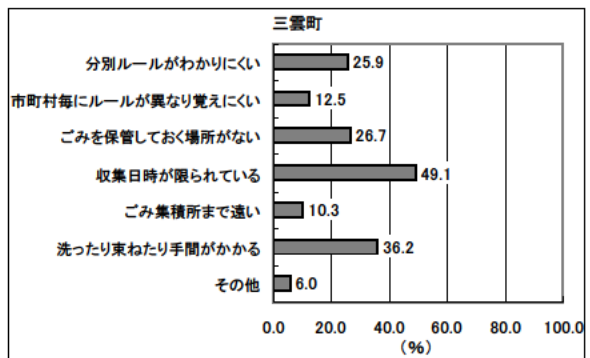
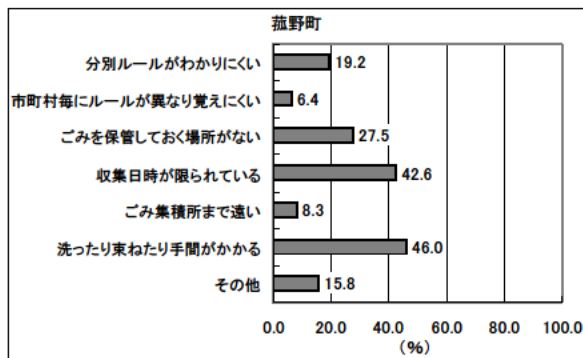
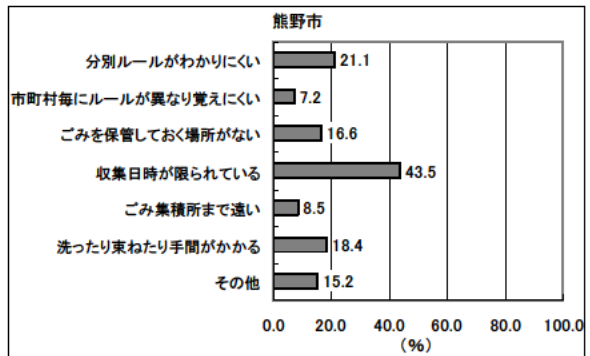
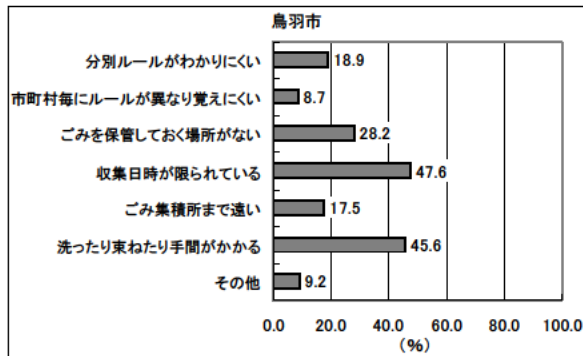
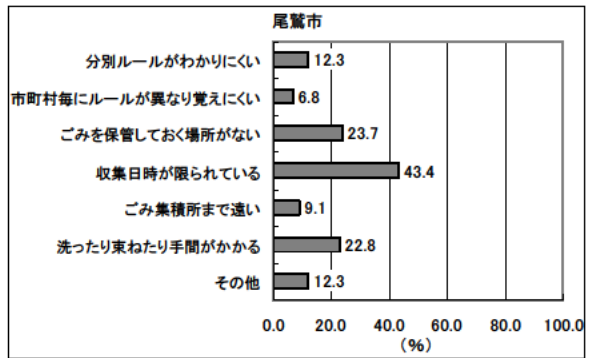
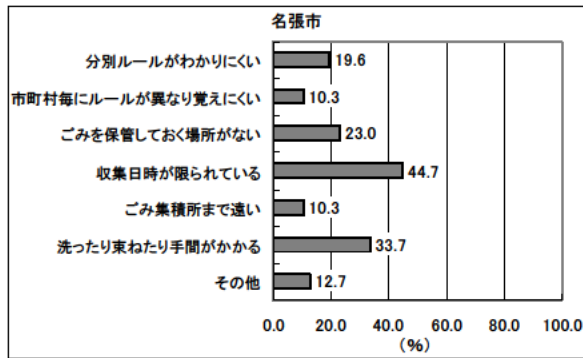
図表 I-46 ごみ出しで困ること(複数回答)

選択肢	件数	割合(%)
1 分別ルールがわかりにくい	770	20.1
2 市町村毎にルールが異なり覚えにくい	327	8.5
3 ごみを保管しておく場所がない	900	23.5
4 収集日時が限られている	1609	42.0
5 ごみ集積所まで遠い	401	10.5
6 洗ったり束ねたり手間がかかる	1216	31.7
7 その他	408	10.6
無回答	554	14.4

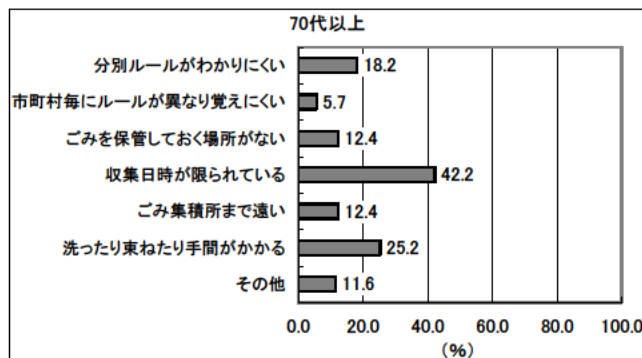
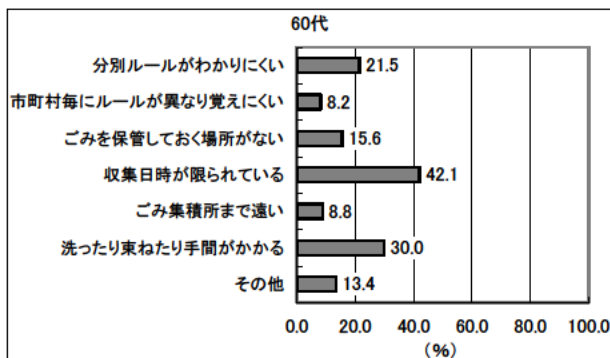
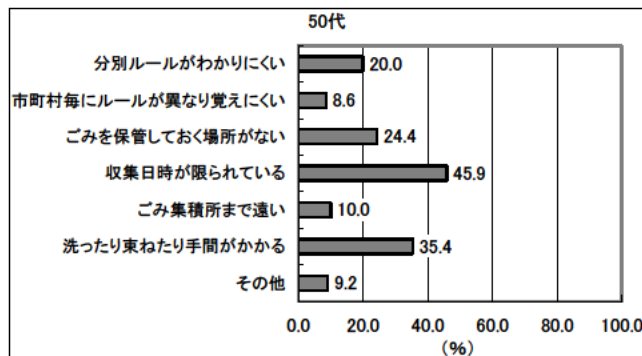
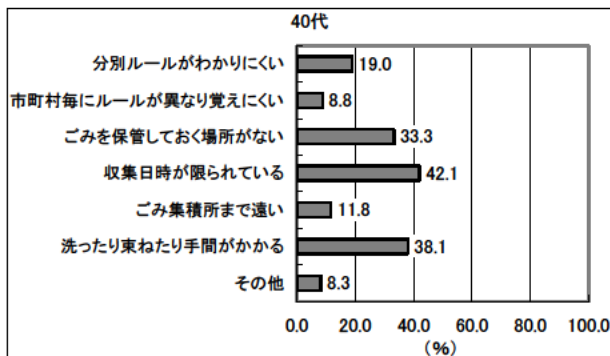
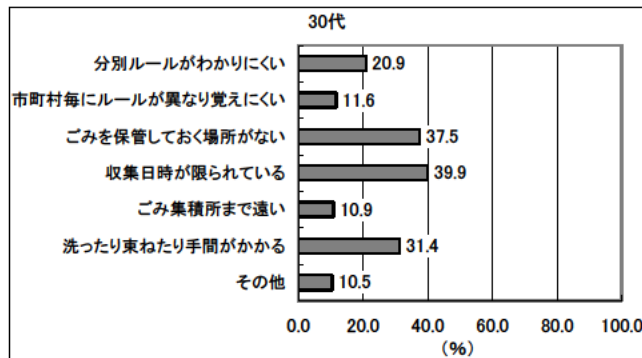
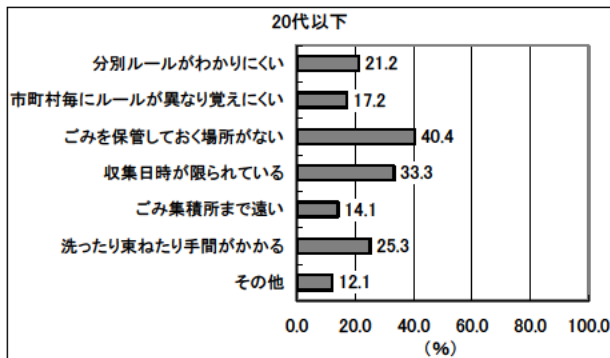


図表 I-47 市町村×ごみ出しで困ること(複数回答)





図表 I-48 年齢×ごみ出して困ること(複数回答)



(3) 今後の方策に対する意向について

問 14 今後、あなたが、暮らしの工夫によって「家庭から出る量を減らせる」と思えるものはどれですか？（ は当てはまるものすべて）

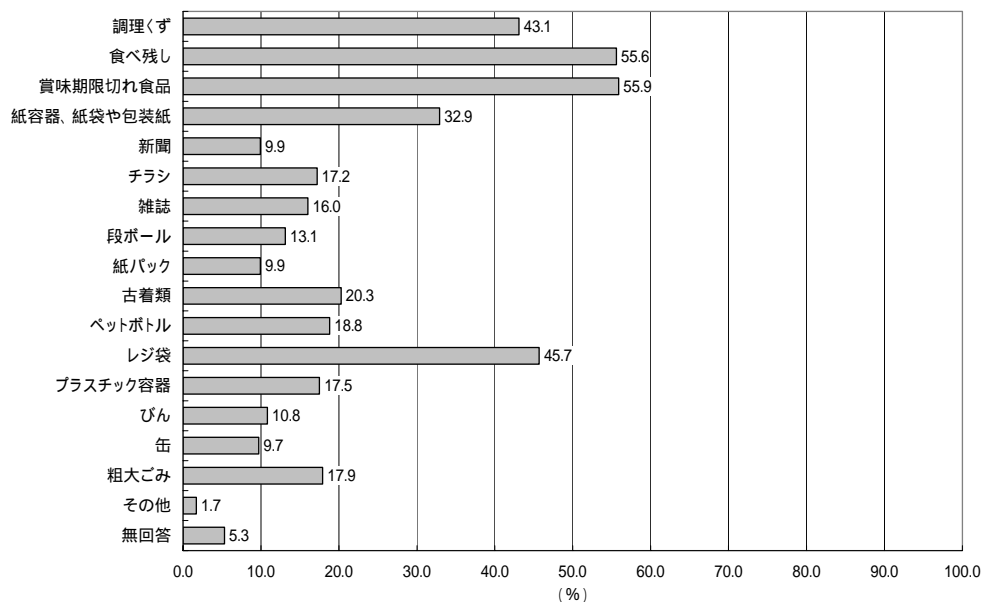
今後、家庭内で減らせると思うごみについては、「食べ残し」や「賞味期限切れ食品」（いずれも約56%）、「調理くず」（約43%）といった台所ごみが最も高くなっている。「レジ袋」も約46%とおおよそ半分が「減らせる」と回答している。

台所ごみについて年齢層別に見ると、「調理くず」については差が見られないが、「食べ残し」「賞味期限切れ食品」については年齢層が低いほど「減らせる」とする割合が高くなっている。

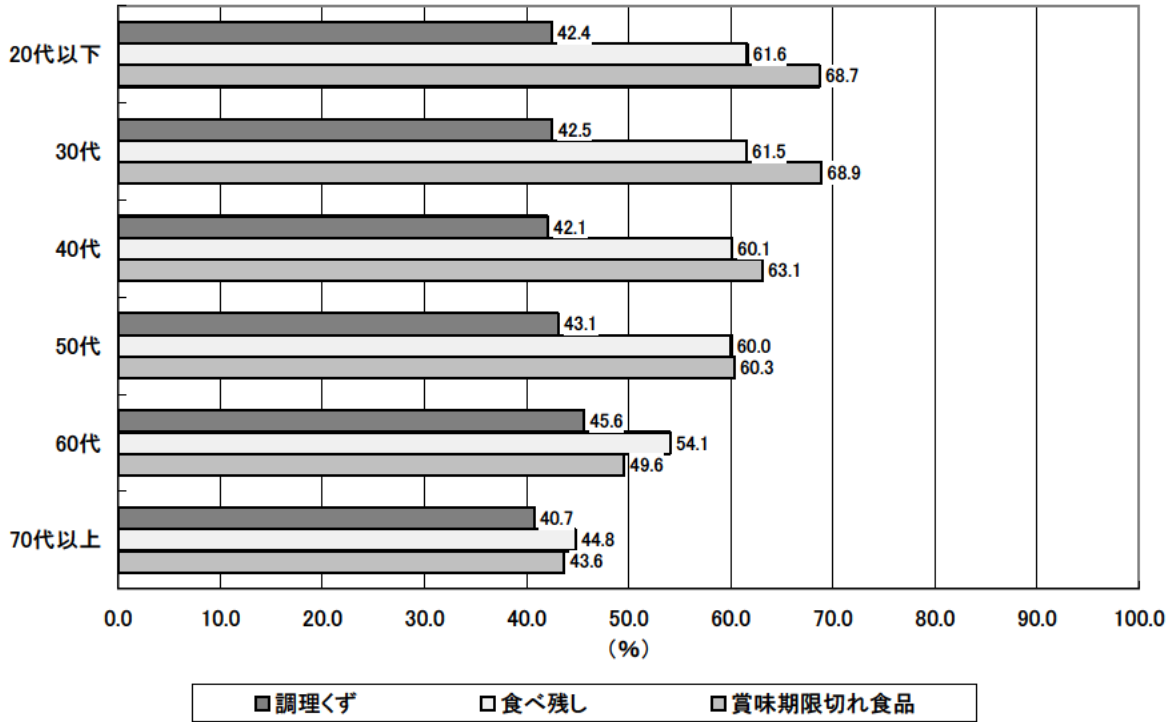
世帯人数別でも「調理くず」では差が見られないが、「食べ残し」「賞味期限切れ食品」については、人数が多くなるほど、わずかではあるが「減らせる」とする割合が増える傾向が見られる。

図表 I-49 暮らしの工夫で減らせるごみ(複数回答)

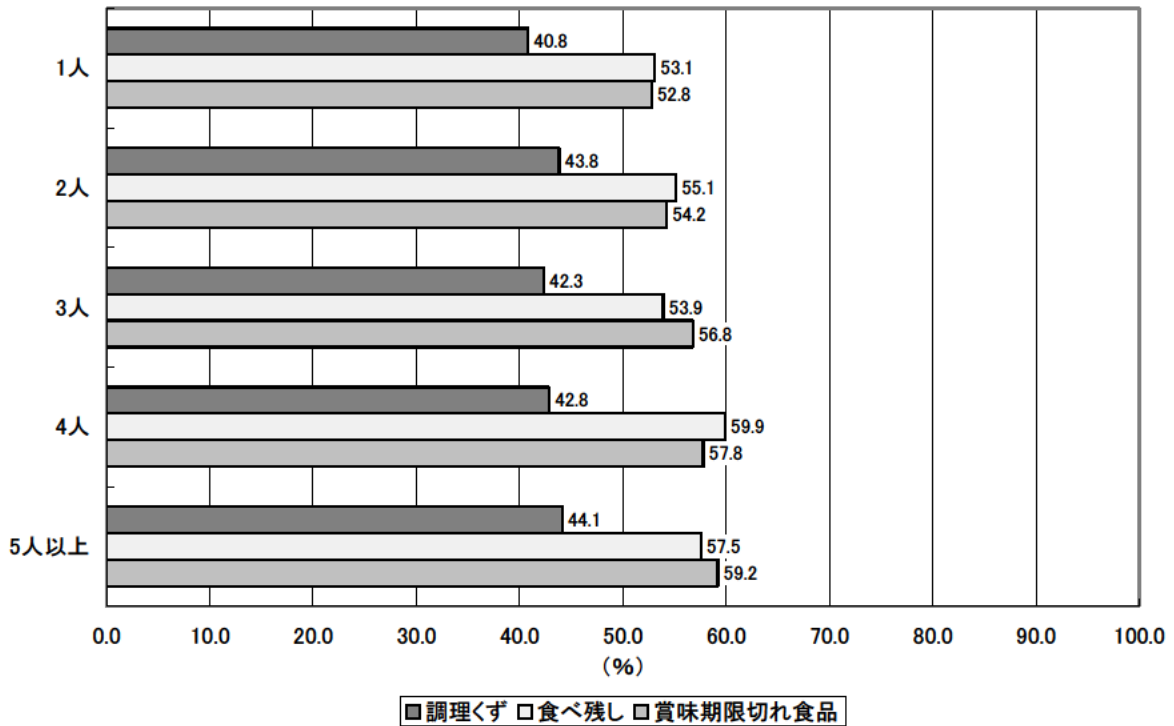
選択肢	件数	割合(%)
1 調理くず	1653	43.1
2 食べ残し	2131	55.6
3 賞味期限切れ食品	2143	55.9
4 紙容器、紙袋や包装紙	1262	32.9
5 新聞	381	9.9
6 チラシ	658	17.2
7 雑誌	613	16.0
8 段ボール	501	13.1
9 紙パック	381	9.9
10 古着類	780	20.3
11 ペットボトル	722	18.8
12 レジ袋	1754	45.7
13 プラスチック容器	671	17.5
14 びん	414	10.8
15 缶	372	9.7
16 粗大ごみ	686	17.9
17 その他	64	1.7
無回答	202	5.3



図表 I-50 年齢×暮らしの工夫で減らせるごみ（一部選択肢のみ）（複数回答）



図表 I-51 世帯人数×暮らしの工夫で減らせるごみ（一部選択肢のみ）（複数回答）

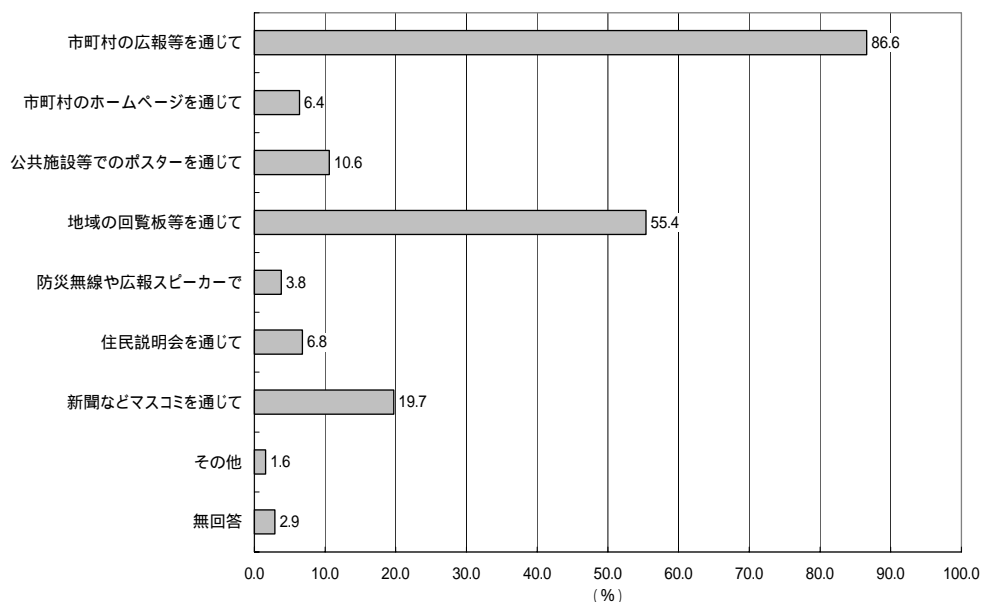


問 15 ごみに関する情報を、あなたはどのような方法で手に入れていますか？（〇は3つまで）

ごみ情報の入手方法については、「市町村の広報等を通じて」が最も高く約 87%を占めている。以下、「地域の回覧板等を通じて」が約 55%、「新聞などマスコミを通じて」が約 20%と続く。

図表 I-52 ごみ関連情報の入手方法(複数回答)

選択肢	件数	割合(%)
1 市町村の広報等を通じて	3323	86.6
2 市町村のホームページを通じて	247	6.4
3 公共施設等でのポスターを通じて	408	10.6
4 地域の回覧板等を通じて	2123	55.4
5 防災無線や広報スピーカーで	147	3.8
6 住民説明会を通じて	260	6.8
7 新聞などマスコミを通じて	754	19.7
8 その他	60	1.6
無回答	112	2.9



問 16 仮に、いつも買い物をするお店で、「レジ袋は1枚10円です」といわれたとします。次回の買い物から、あなたの行動はどう変わるとおもいますか？(は1つ)

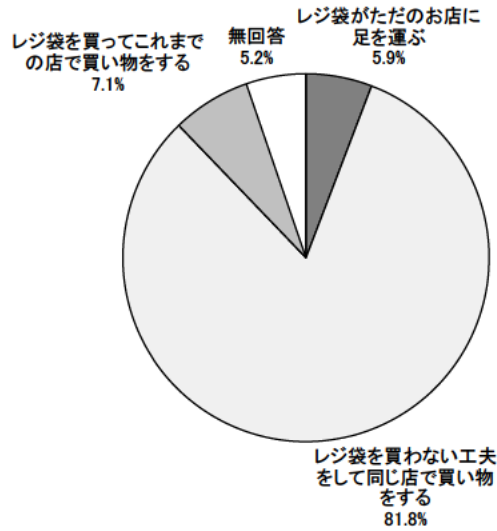
仮にレジ袋が有料となった場合の行動変化については、「レジ袋を買わない工夫をして同じ店で買い物をする」という行動をする割合が最も高く約 82%を占める。「レジ袋を買ってこれまでの店で買い物をする」とする割合は約 7%、「レジ袋がただのお店に足を運ぶ」は約 6%となっている。

市町村別に見ると、「レジ袋を買わない工夫をして同じ店で買い物をする」は、尾鷲市が約 87%と最も高く、最も低い熊野市と 10 ポイントの差が見られる。

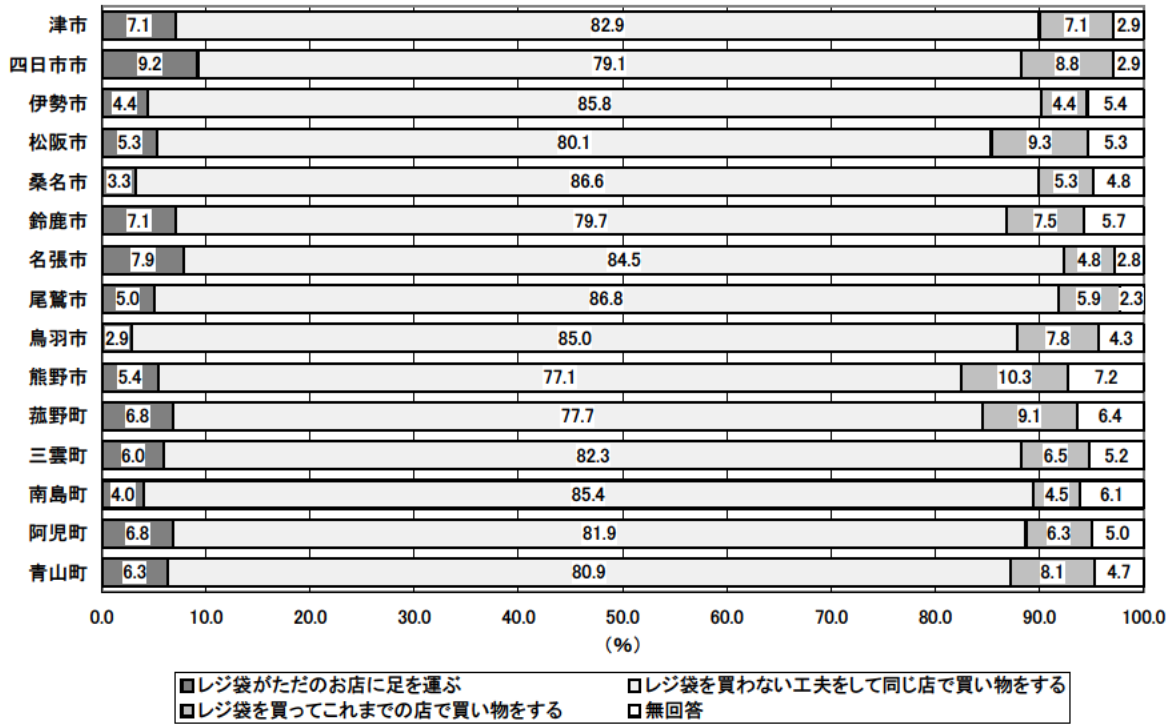
年齢層別では、20 代以下、30 代は「レジ袋がただのお店に足を運ぶ」が若干高くなっている。

図表 I-53 レジ袋有料化による行動変化

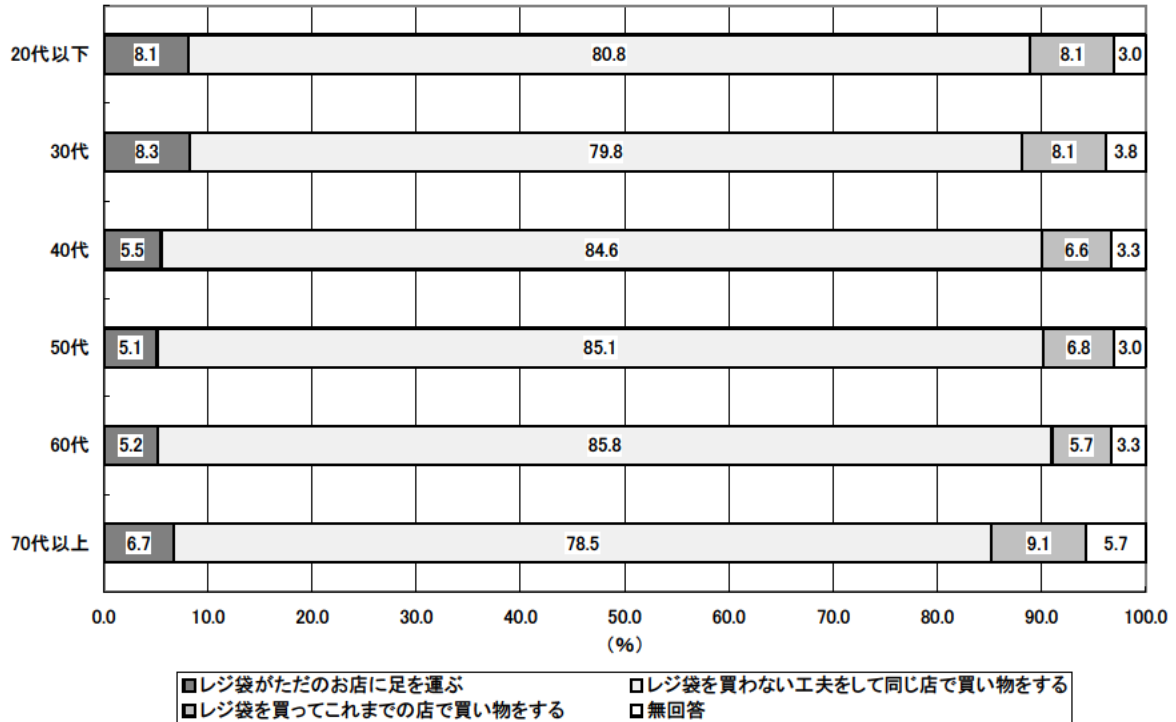
選択肢	件数	割合(%)
1 レジ袋がただのお店に足を運ぶ	227	5.9
2 レジ袋を買わない工夫をして同じ店で買い物をする	3137	81.8
3 レジ袋を買ってこれまでの店で買い物をする	273	7.1
無回答	198	5.2
全体	3835	100.0



図表 I-54 市町村×レジ袋有料化による行動変化



図表 I-55 年齢×レジ袋有料化による行動変化



※ ごみの有料化についておたずねします。
 増え続けるごみを減らすため、ごみ（可燃ごみ）の排出に料金を課す市町村が増えています。

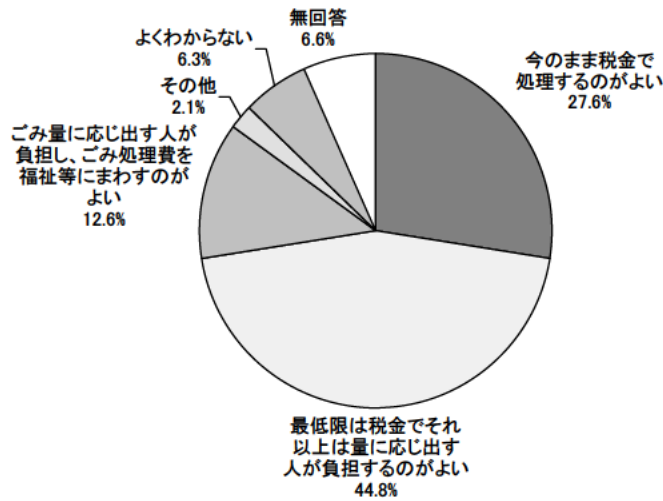
問 17 税金を使ってごみ処理を行うことについてどう思いますか。（○は1つ）

ごみ処理に対する負担のあり方については、「最低限は税金で、それ以上は量に応じ出す人が負担するのがよい」とする意見が約 45%と最も多く、「今のまま税金で処理するのがよい」の約 28%を大きく上回っている。

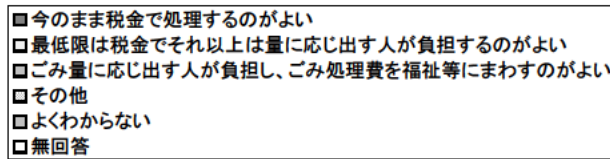
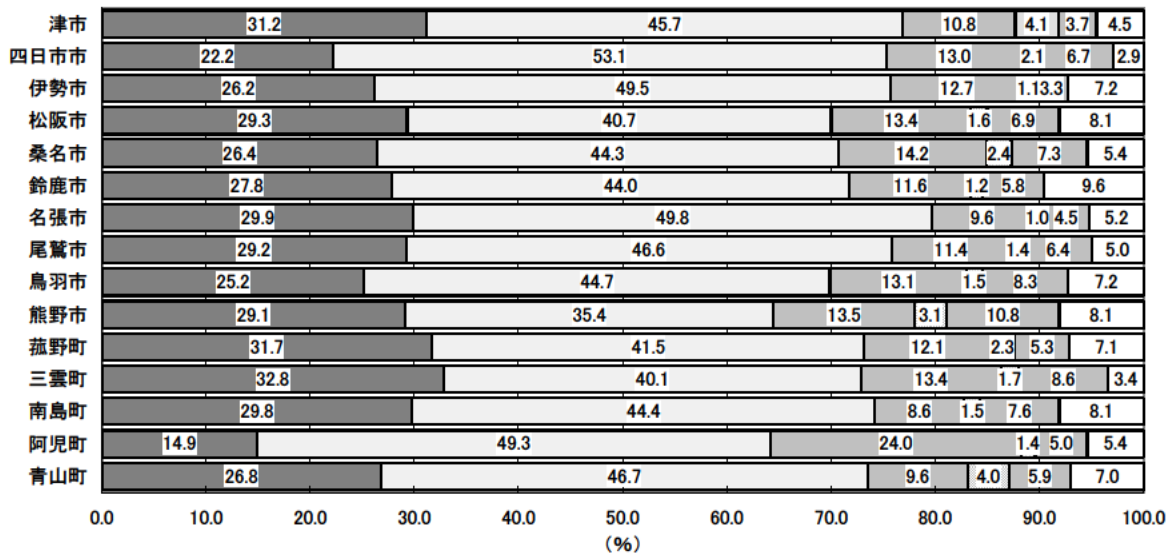
市町村別に見ると、既に有料化している阿児町では、「ごみ量に応じ出す人が負担し、ごみ処理費を福祉等にまわすのがよい」とする意見が約 24%と平均を 11 ポイント上回る一方、「今のまま税金で処理するのがよい」とする意見は約 15%と平均を 13 ポイント下回っており、有料化していない他の 14 市町村と大きな違いを見せている。

図表 I-56 税金によるごみ処理への意見

選択肢	件数	割合(%)
1 今のまま税金で処理するのがよい	1058	27.6
2 最低限は税金でそれ以上は量に応じ出す人が負担するのがよい	1718	44.8
3 ごみ量に応じ出す人が負担し、ごみ処理費を福祉等にまわすのがよい	485	12.6
4 その他	80	2.1
5 よくわからない	241	6.3
無回答	253	6.6
全体	3835	100.0



図表 I-57 市町村×税金によるごみ処理への意見



問 18 出したごみの量に応じて、多く出した者が多く負担するごみの有料化についてどう思いますか？
(○は1つ)

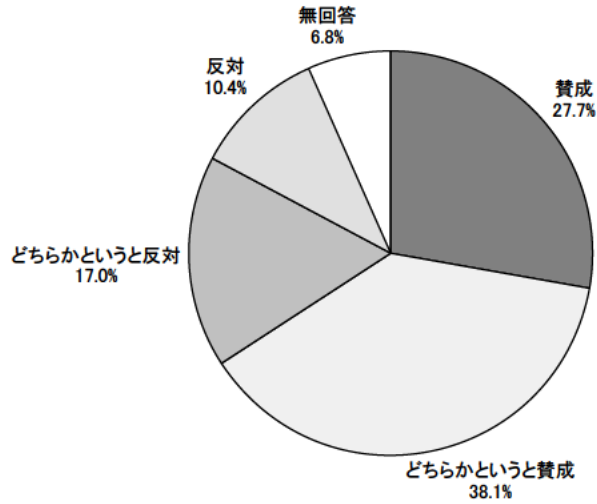
ごみの有料化については、「賛成」と「どちらかという賛成」の合計が約 66%と 2/3 を占め、「反対」と「どちらかという反対」をあわせた約 27%を大きく上回っている。

市町村別では、既に有料化している阿児町で「賛成」が約 48%と約半数を占め、平均を 20 ポイントと大幅に上回っている。阿児町では、「どちらかという賛成」も約 39%を占め、両者をあわせると約 87%と 9 割近くが有料化を肯定的にとらえている。

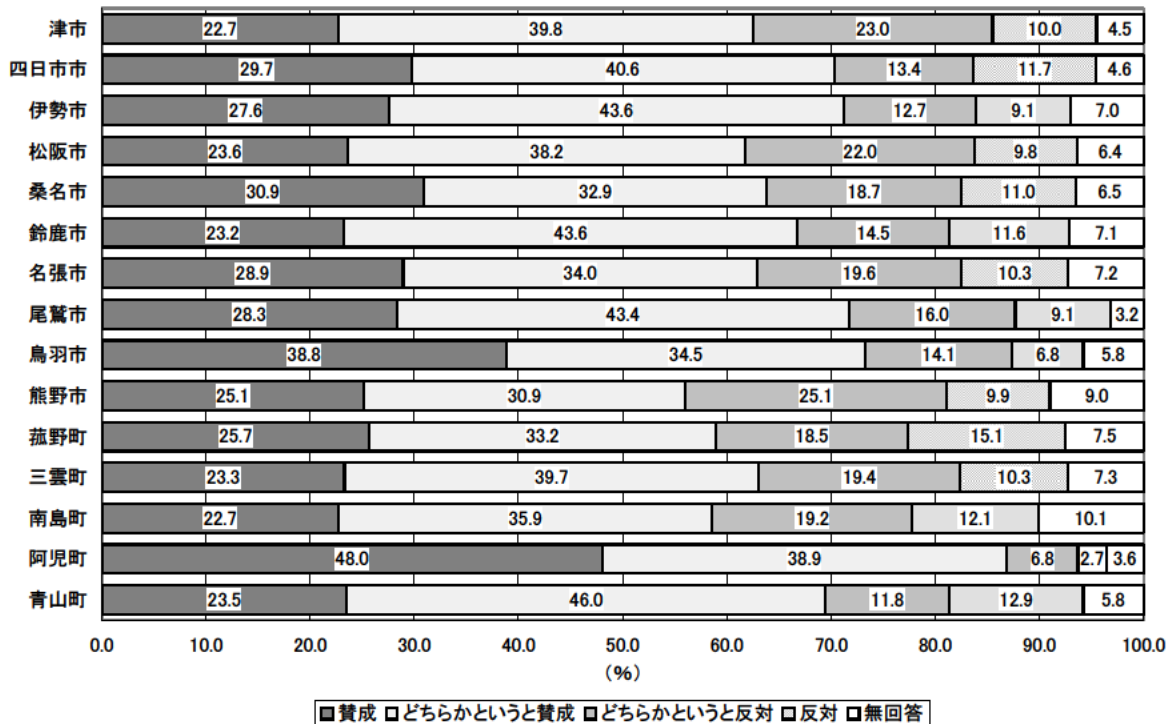
また、阿児町に近い鳥羽市でも「賛成」が約 39%、「どちらかという賛成」が約 35%と、約 74%が有料化に対し、肯定的な考えを示している。

図表 I-58 ごみ有料化に対する賛否

選択肢	件数	割合(%)
1 賛成	1064	27.7
2 どちらかという賛成	1460	38.1
3 どちらかという反対	653	17.0
4 反対	400	10.4
無回答	258	6.8
全体	3835	100.0



図表 I-59 市町村×ごみ有料化に対する賛否

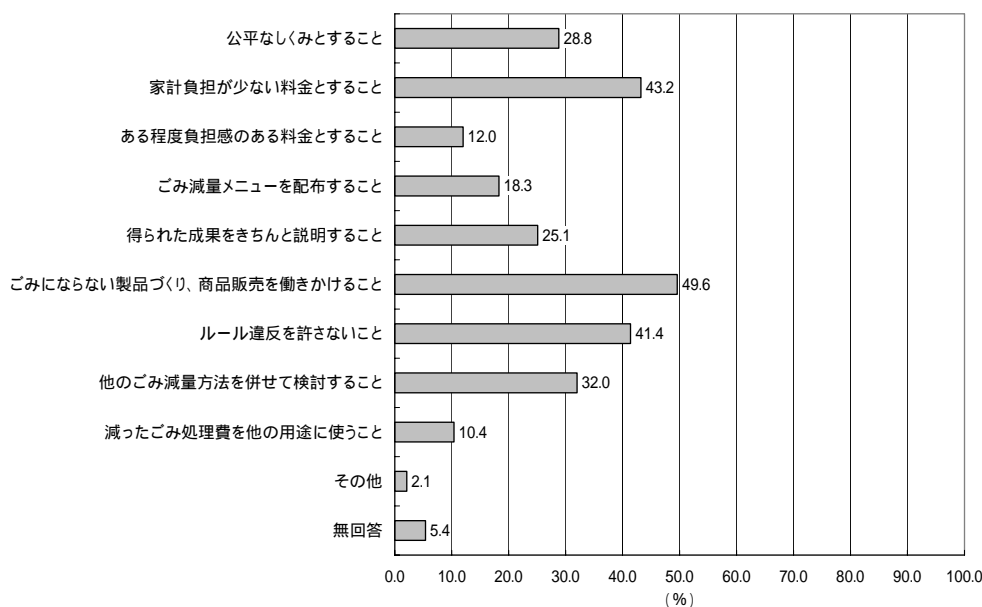


問 19 ごみ有料化を検討する場合、どのようなことを重視すべきだと思いますか？
 (は特に重要と思うこと3つまで)

有料化を検討するうえで重視すべきことについては、「ごみにならない製品づくり、商品販売を働きかけること」が約 50%と最も高く、以下、「家計負担が少ない料金とすること」(約 43%)、「ルール違反を許さないこと」(約 41%)、「他のごみ減量方法を併せて検討すること」(約 32%)と続く。

図表 I-60 ごみ有料化を検討するうえでの重視事項(複数回答)

選択肢	件数	割合(%)
1 公平なくみとすること	1104	28.8
2 家計負担が少ない料金とすること	1655	43.2
3 ある程度負担感のある料金とすること	459	12.0
4 ごみ減量メニューを配布すること	702	18.3
5 得られた成果をきちんと説明すること	961	25.1
6 ごみにならない製品づくり、商品販売を働きかけること	1901	49.6
7 ルール違反を許さないこと	1589	41.4
8 他のごみ減量方法を併せて検討すること	1227	32.0
9 減ったごみ処理費を他の用途に使うこと	399	10.4
10 その他	82	2.1
無回答	206	5.4



ごみ処理を有料化した市町村では、料金を「指定のごみ袋」を購入するという形で支払うことが多く、「指定のごみ袋」は普通のごみ袋に比べて値段が高くなっています。

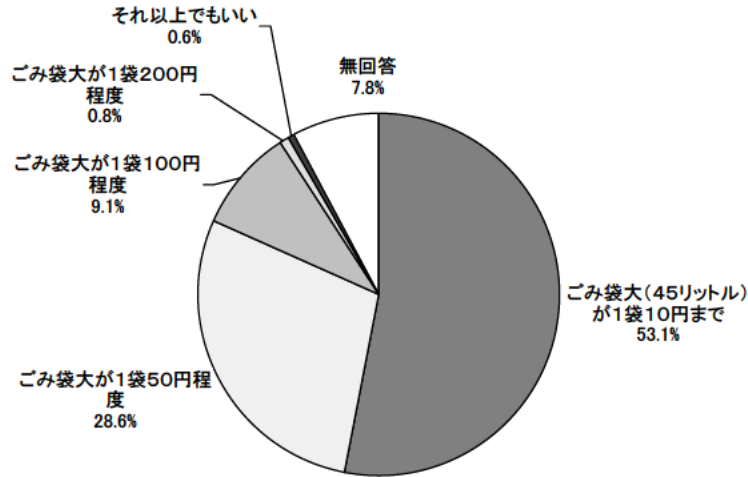
問 20 有料化する場合、その料金としていくらまでなら受け入れられますか？ (は1つ)

料金の許容範囲については、「ごみ袋大(45リットル)が1袋10円まで」が最も高く約 53%を占め、全体の約 82%が 50円程度までと回答している。

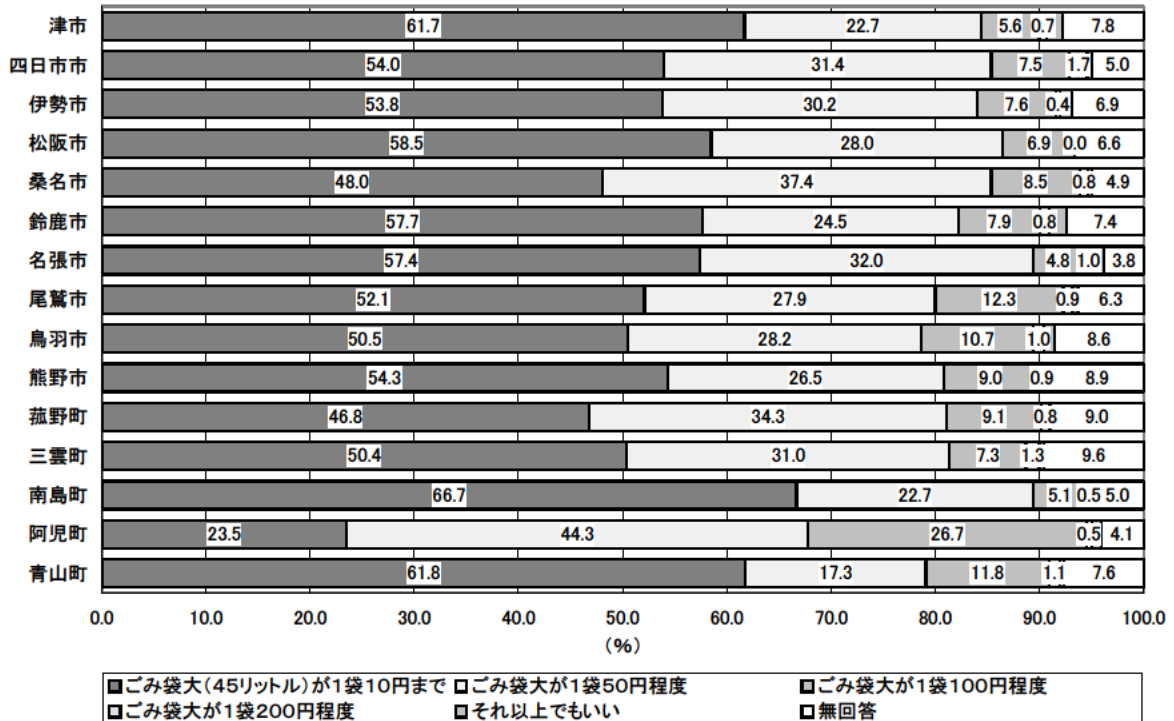
市町村別では、有料化している阿児町において他の市町村と異なる傾向が見られ、「ごみ袋大が1袋50円程度」が約 44%と平均を 15ポイント上回り、「ごみ袋大が1袋100円程度」も約 27%と平均を 18ポイント上回っている。一方、「ごみ袋大(45リットル)が1袋10円まで」は約 24%と平均を 29ポイント下回る結果となっている。

図表 I-61 ごみ有料化での受け入れ可能金額

選択肢	件数	割合(%)
1 ごみ袋大(45リットル)が1袋10円まで	2038	53.1
2 ごみ袋大が1袋50円程度	1097	28.6
3 ごみ袋大が1袋100円程度	349	9.1
4 ごみ袋大が1袋200円程度	32	0.8
5 それ以上でもいい	24	0.6
無回答	295	7.8
全体	3835	100.0



図表 I-62 市町村×ごみ有料化での受け入れ可能金額

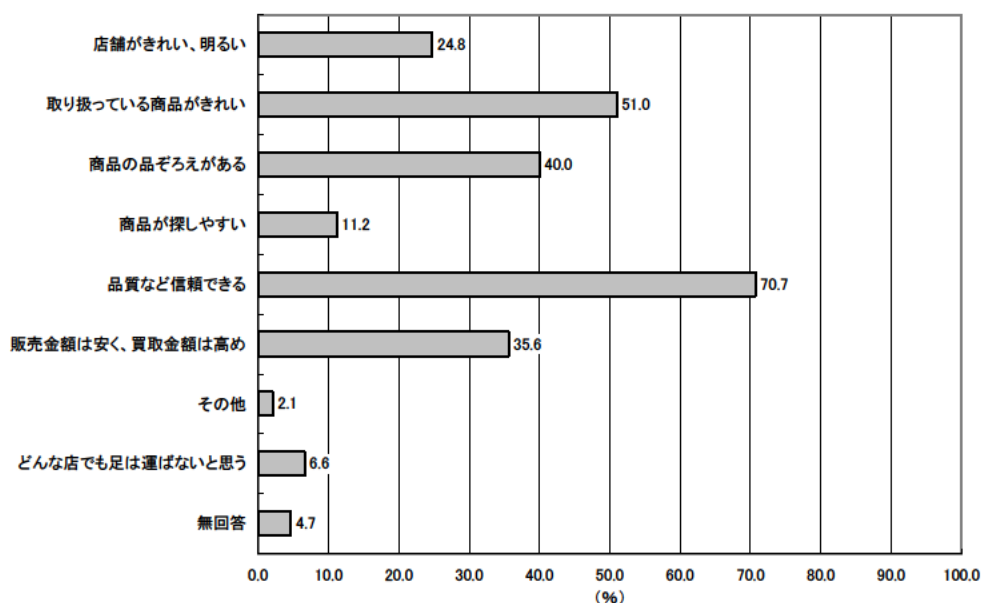


問 21 あなたの家の近くに中古の家電製品や家具を扱うお店(リサイクルショップ)ができたとします。この店がどんな店だったら、あなたは足を運んでみようと思いますか？(○は3つまで)

リサイクルショップの条件としては、「品質など信頼できる」が約 71%と最も高く、次いで「取り扱っている商品がきれい」が約 51%、「商品の品ぞろえがある」が約 40%となっている。

図表 I-63 利用したいリサイクルショップの条件(複数回答)

選択肢	件数	割合(%)
1 店舗がきれい、明るい	950	24.8
2 取り扱っている商品がきれい	1954	51.0
3 商品の品ぞろえがある	1533	40.0
4 商品が探しやすい	430	11.2
5 品質など信頼できる	2713	70.7
6 販売金額は安く、買取金額は高め	1366	35.6
7 その他	80	2.1
8 どんな店でも足は運ばないと思う	253	6.6
無回答	180	4.7

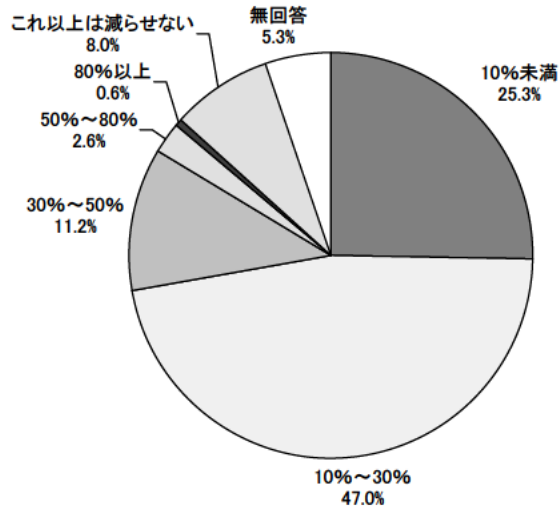


問 22 あなたのご家庭から出る可燃ごみに限って言えば、努力によりどれだけ減らせるとお考えですか？(○は1つ)

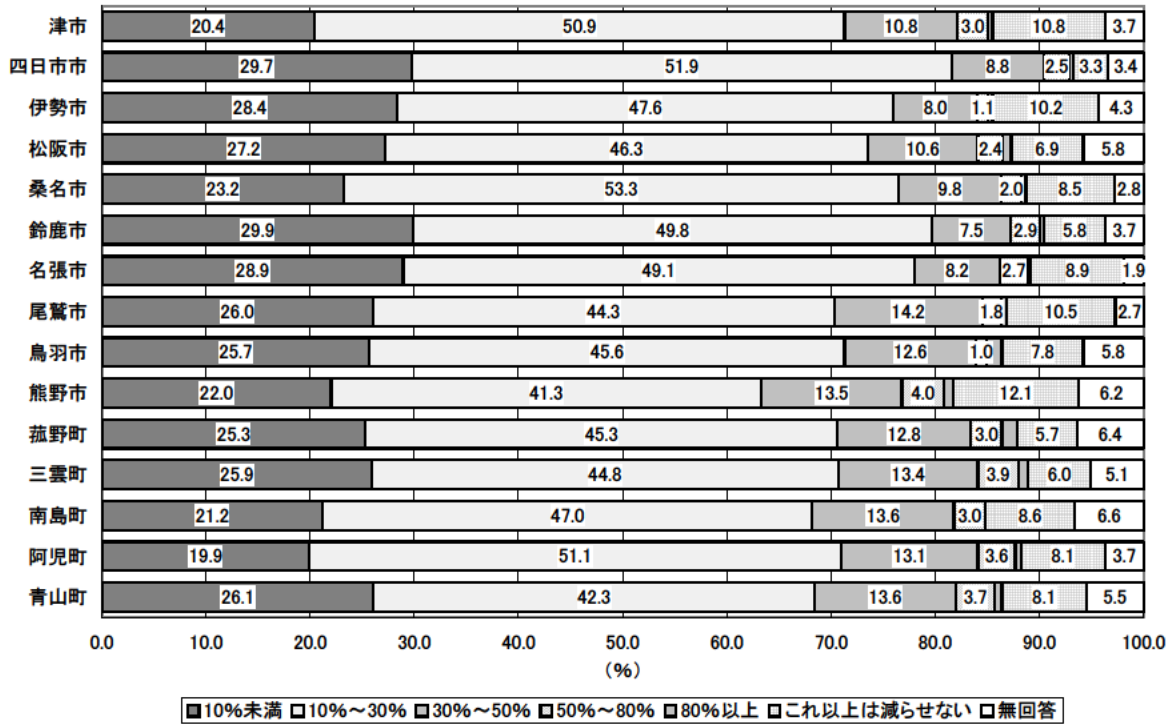
可燃ごみについて、どの程度減らせるかについては、「10%~30%」が最も高く約 47%、以下、「10%未満」が約 25%、「これ以上は減らせない」が約 8%と、30%以下で約 80%を占めている。

図表 I-64 可燃ごみの減量可能度合い

選択肢	件数	割合(%)
1 10%未満	969	25.3
2 10%~30%	1802	47.0
3 30%~50%	430	11.2
4 50%~80%	99	2.6
5 80%以上	24	0.6
6 これ以上は減らせない	306	8.0
無回答	205	5.3
全体	3835	100.0



図表 I-65 市町村×可燃ごみの減量可能度合い



(4) 「ごみゼロ社会実現プラン」作りへの県民参加について

※ 県では現在、暮らしや事業活動のあり方を見直し、ごみの出ない、また出されたごみはできるだけ資源として利用される「ごみゼロ社会」を目指して、「ごみゼロ社会実現プラン」を作っています。

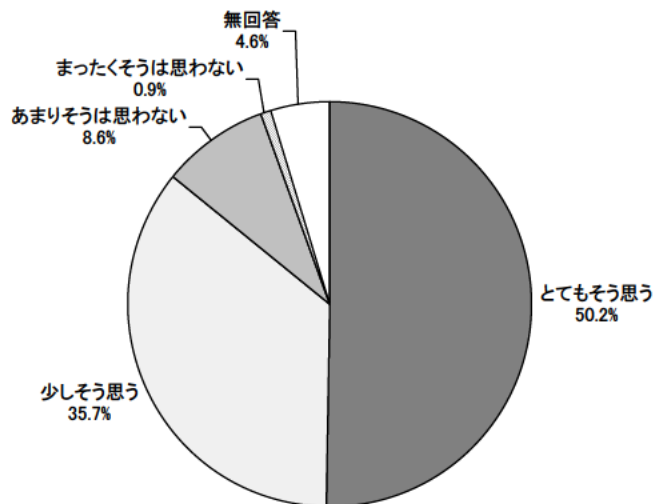
問 23 「ごみゼロ社会実現プラン」作りへの県民参加について、あなたの意見をお聞きます。(○は1つずつ)

(1) プラン作りには、できるだけ多くの県民が参加することが必要だと思いますか？

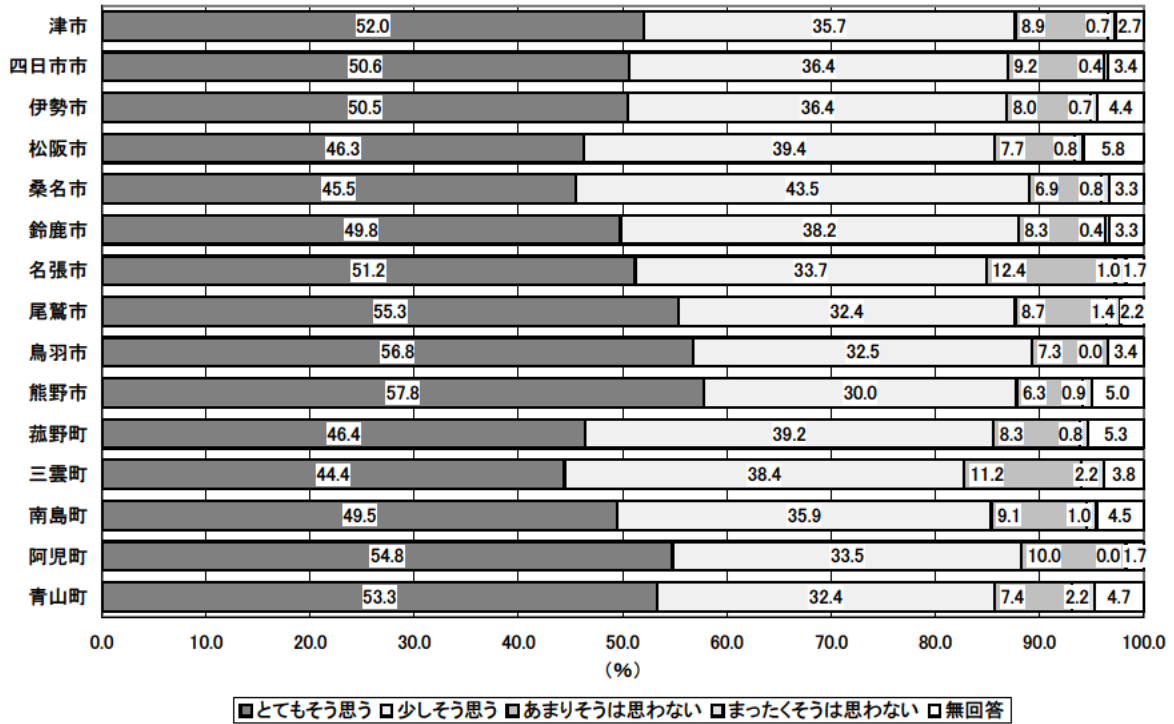
「そう思う」とする意見が約 86%を占めている。「とてもそう思う」とする割合は熊野市、鳥羽市、尾鷲市、阿児町で高く、三雲町、桑名市、松阪市、菰野町で低くなっている。

図表 I-66 プラン作りへの県民参加の必要性

選択肢	件数	割合(%)
1 とてもそう思う	1925	50.2
2 少しそう思う	1369	35.7
3 あまりそうは思わない	329	8.6
4 まったくそうは思わない	35	0.9
無回答	177	4.6
全体	3835	100.0



図表 I-67 市町村×プラン作りへの県民参加の必要性

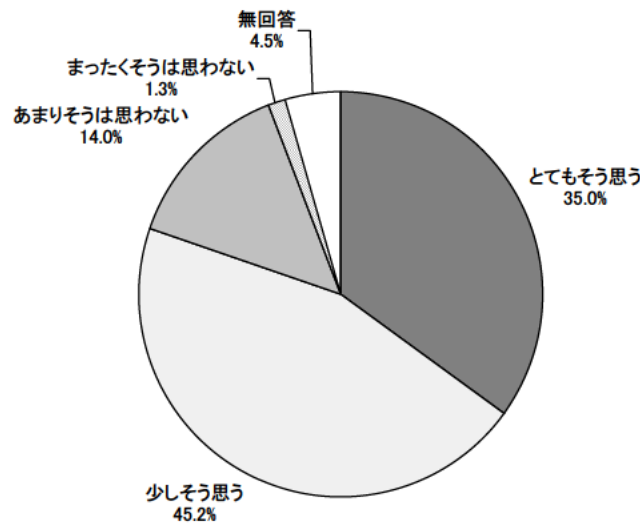


(2) プラン作りに県民が参加すれば、県民の要望や意見を反映できると思いますか？

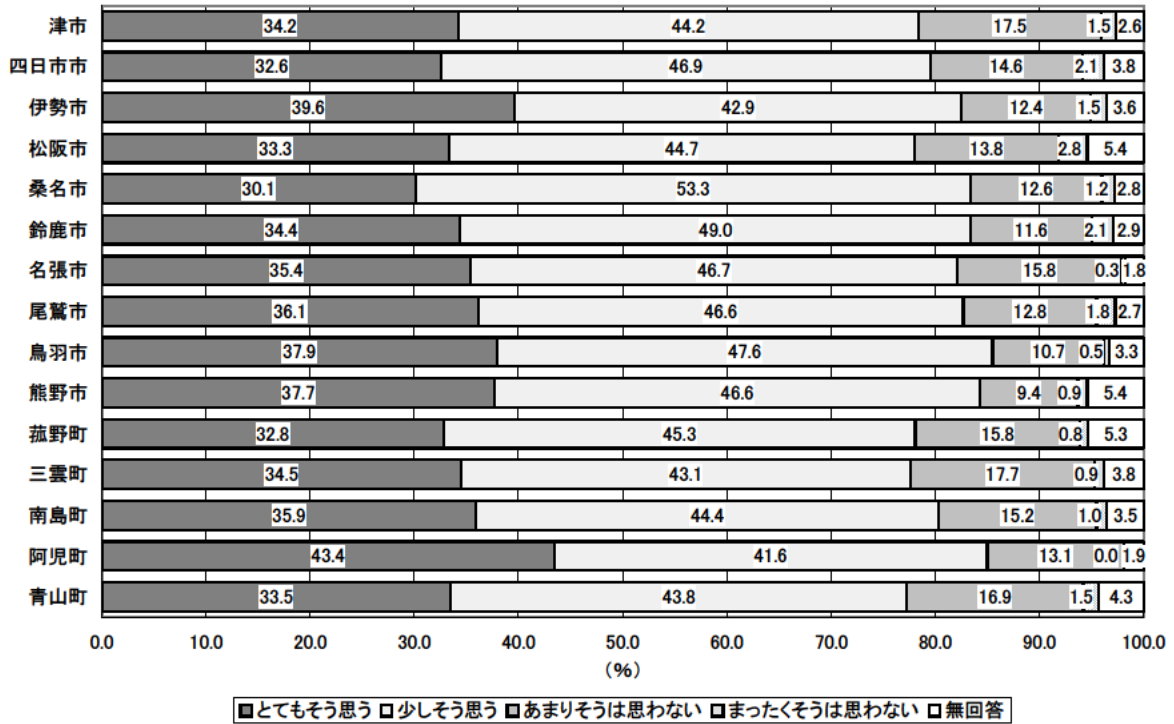
「そう思う」とする意見が約 80%を占めている。「とてもそう思う」とする割合は阿児町、伊勢市で高く、阿児町では約 43%となっている。

図表 I-68 県民参加のプラン作りでの県民意見の反映

選択肢	件数	割合(%)
1 とてもそう思う	1342	35.0
2 少しそう思う	1734	45.2
3 あまりそうは思わない	535	14.0
4 まったくそうは思わない	50	1.3
無回答	174	4.5
全体	3835	100.0



図表 I-69 市町村×県民参加のプラン作りでの県民意見の反映

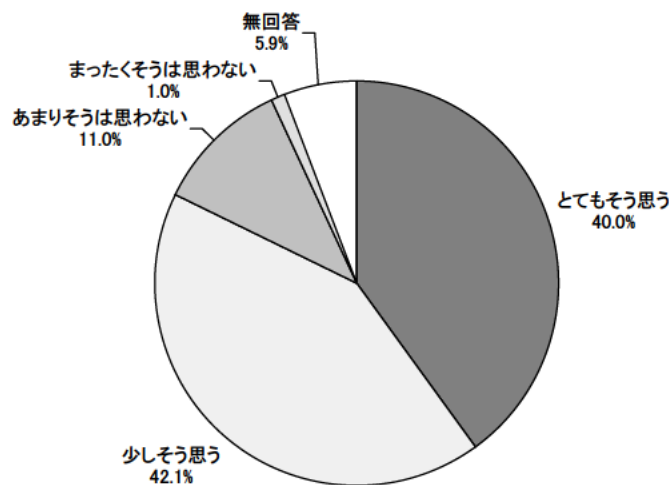


(3) プラン作りに県民が参加したほうが、ごみ減量に県民の協力が得られやすいと思いますか？

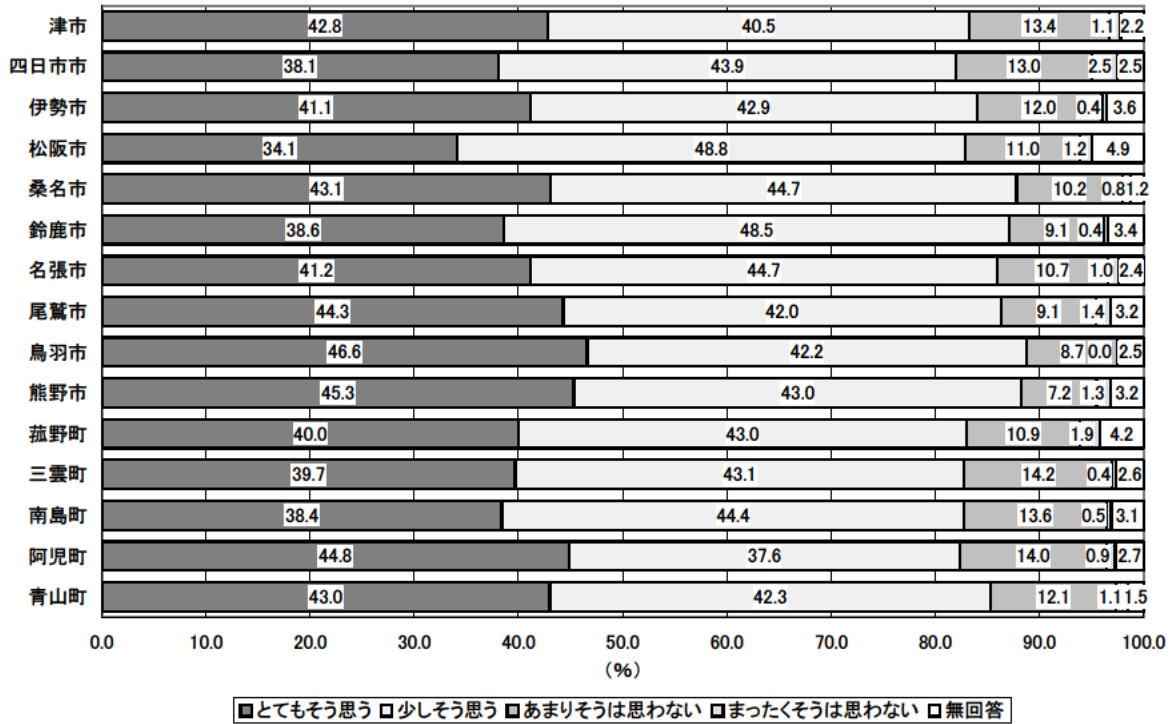
「そう思う」とする意見が約 82%を占めている。「とてもそう思う」とする割合は鳥羽市、熊野市、阿児町、尾鷲市で高く、鳥羽市では約 47%となっている。

図表 I-70 県民参加のプラン作りによる協力の得られやすさ

選択肢	件数	割合(%)
1 とてもそう思う	1534	40.0
2 少しそう思う	1613	42.1
3 あまりそうは思わない	420	11.0
4 まったくそうは思わない	40	1.0
無回答	228	5.9
全体	3835	100.0



図表 1-71 市町村×県民参加のプラン作りによる協力の得られやすさ

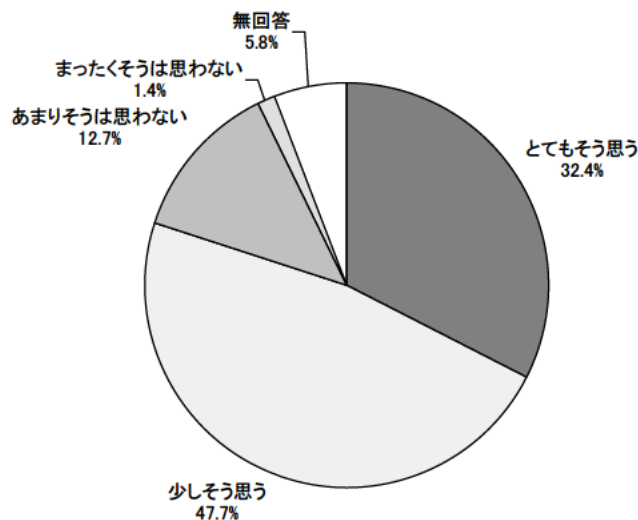


(4) プラン作りに県民が参加すれば、実行しやすいごみ減量のルールが作れると思いますか？

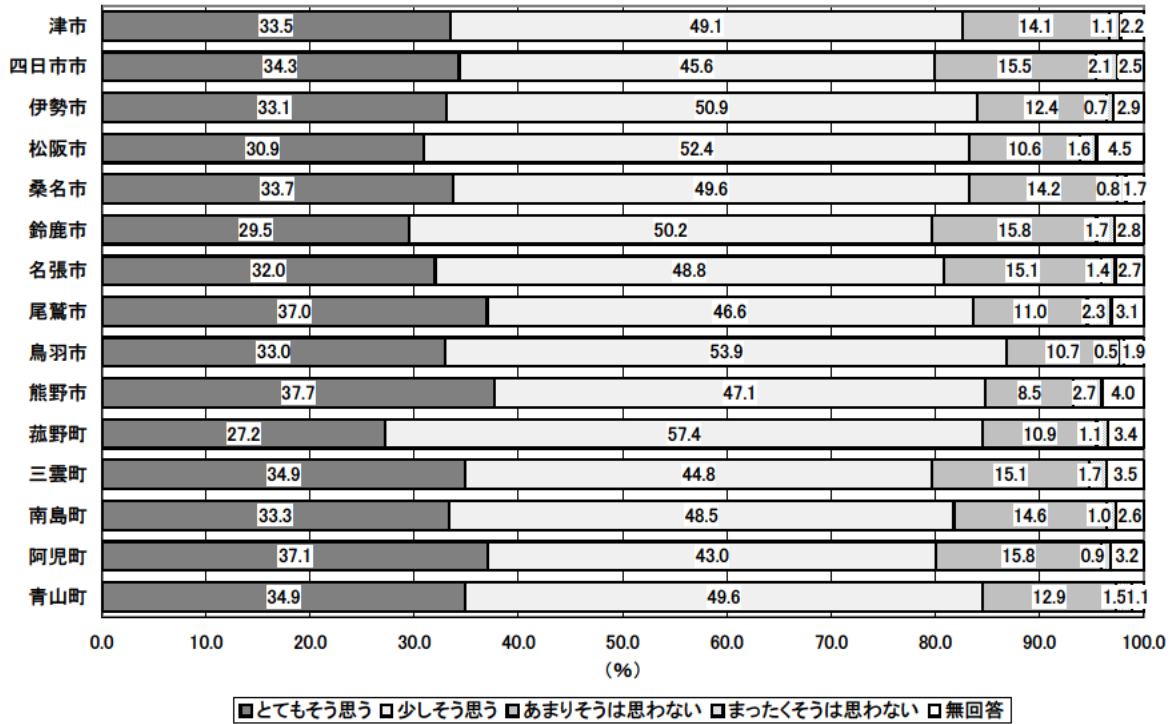
「そう思う」とする意見が約 80%を占めている。「とてもそう思う」とする割合は熊野市、阿児町、尾鷲市で高く、熊野市では約 38%となっている。

図表 1-72 県民参加のプラン作りによる実行しやすいルール作り

選択肢	件数	割合(%)
1 とてもそう思う	1242	32.4
2 少しそう思う	1828	47.7
3 あまりそうは思わない	486	12.7
4 まったくそうは思わない	53	1.4
無回答	226	5.8
全体	3835	100.0



図表 1-73 市町村×県民参加のプラン作りによる実行しやすいルール作り

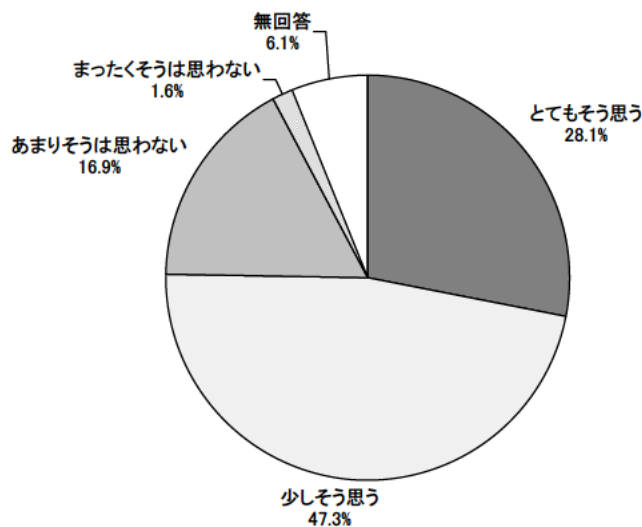


(5) プラン作りに県民が参加すれば、みんなが納得できるごみ減量のルールが作れると思いますか？

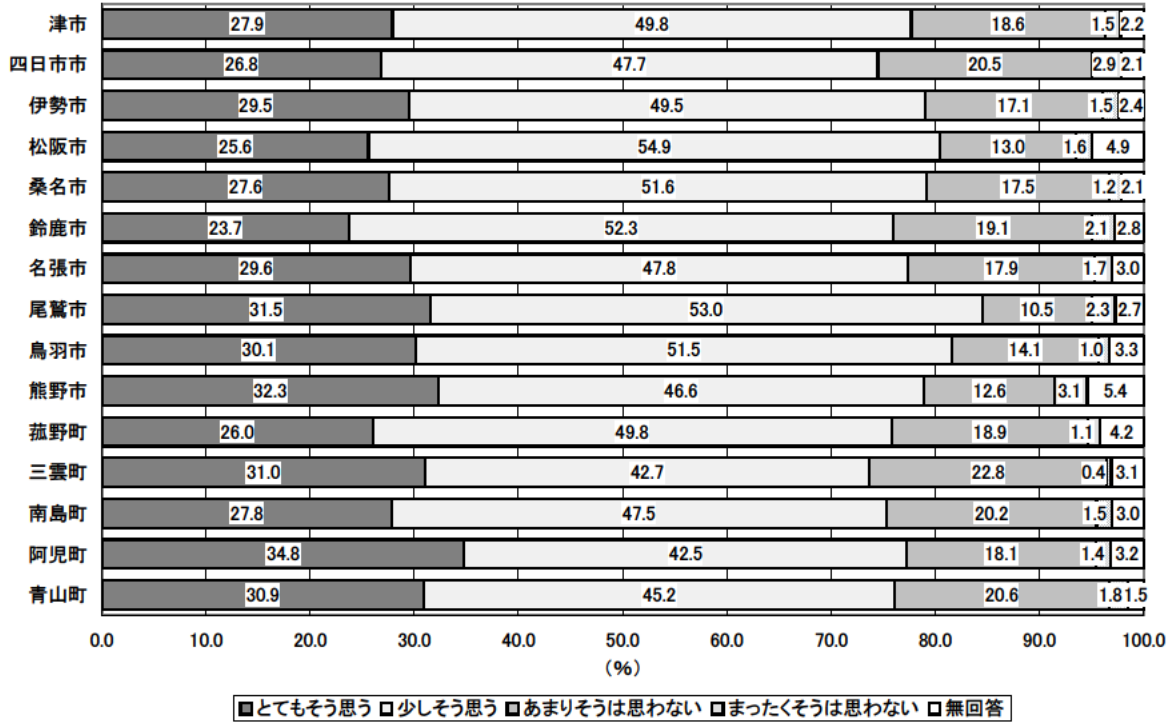
「そう思う」とする意見が約 75%を占めている。「とてもそう思う」とする割合は阿児町で高く、約 35%となっている。

図表 1-74 県民参加のプラン作りによる納得できるルール作り

選択肢	件数	割合(%)
1 とてもそう思う	1076	28.1
2 少しそう思う	1814	47.3
3 あまりそうは思わない	647	16.9
4 まったくそうは思わない	63	1.6
無回答	235	6.1
全体	3835	100.0



図表 I-75 市町村×県民参加のプラン作りによる納得できるルール作り

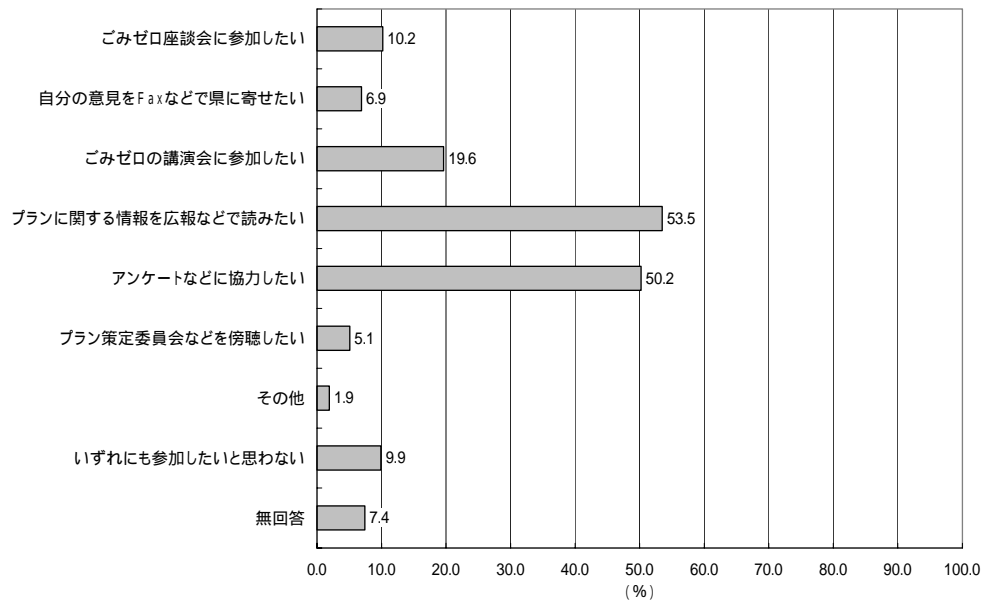


問 24 あなたご自身は「ごみゼロ社会実現プラン」に関する県民参加の催しに参加したいと思いませんか？（〇は当てはまるものすべて）

「プランに関する情報を広報などで読みたい」が約 54%、「アンケートなどに協力したい」が約 50%と高く、「いずれにも参加したいと思わない」は約 10%となっている。

図表 I-76 県民参加の催しへの参加意向（複数回答）

選択肢	件数	割合(%)
1 ごみゼロ座談会に参加したい	392	10.2
2 自分の意見をFaxなどで県に寄せたい	265	6.9
3 ごみゼロの講演会に参加したい	750	19.6
4 プランに関する情報を広報などで読みたい	2051	53.5
5 アンケートなどに協力したい	1926	50.2
6 プラン策定委員会などを傍聴したい	197	5.1
7 その他	74	1.9
8 いずれにも参加したいと思わない	381	9.9
無回答	282	7.4



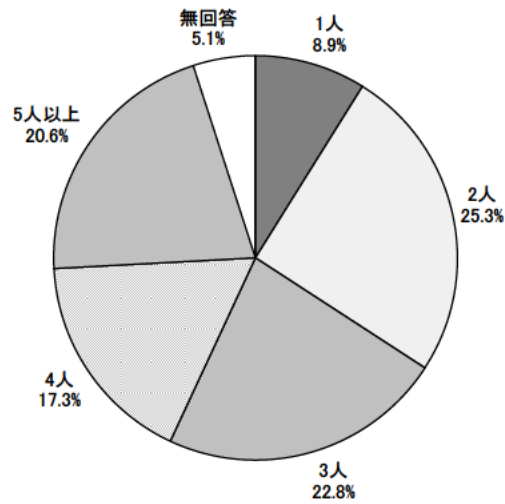
(5) 回答者や世帯について

問 25 いっしょに住んでいる家族の人数は？（○は1つ）

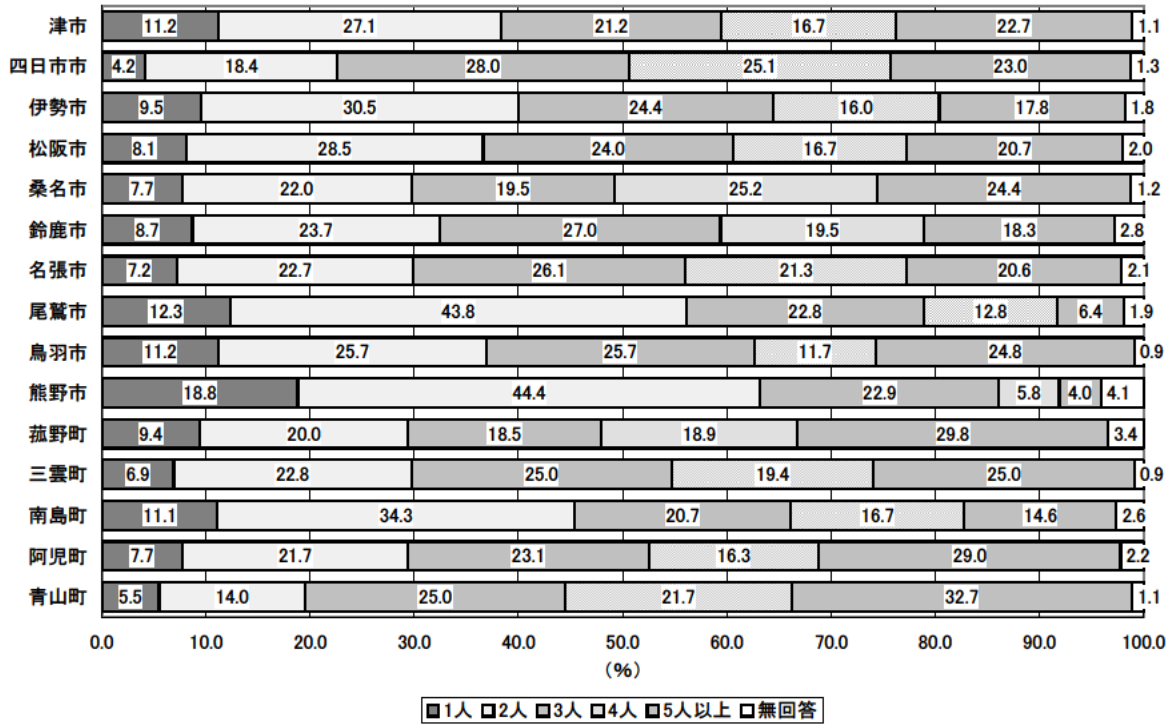
世帯人数は、「2人」が約25%、「3人」が約23%、「5人以上」が約21%、「4人」が約17%、「1人」が約9%となっている。熊野市、尾鷲市では2人以下世帯が多く、青山町、四日市市では3人以上世帯が多くなっている。

図表 I-77 世帯人数

選択肢	件数	割合(%)
1 1人	343	8.9
2 2人	972	25.3
3 3人	874	22.8
4 4人	663	17.3
5 5人以上	789	20.6
無回答	194	5.1
全体	3835	100.0



図表 I-78 市町村×世帯人数

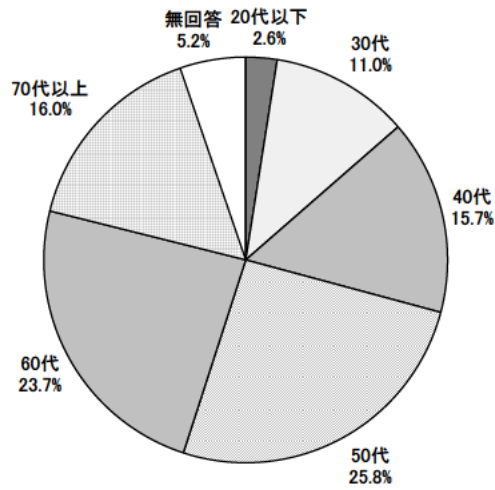


問 26 あなたの年齢は？（○は1つ）

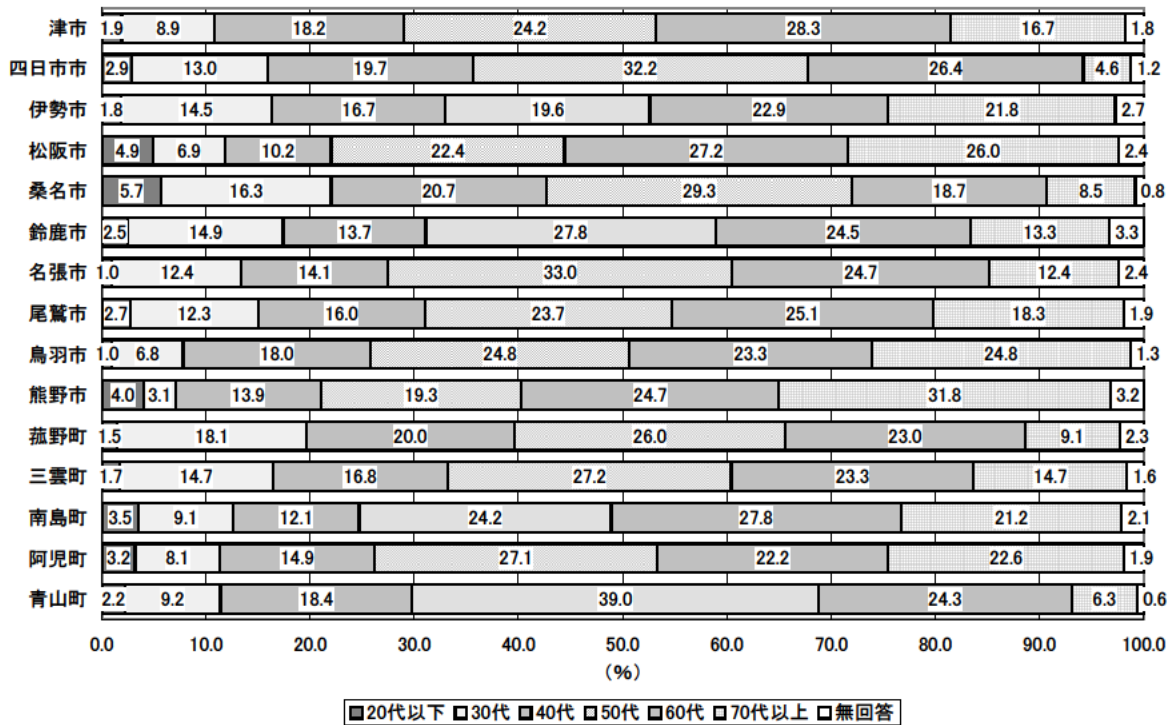
「50代」が約26%、「60代」が約24%、「70代以上」と「40代」が約16%、「30代」が約11%、「20代以下」が約3%となっている。40代以下は桑名市、菰野町で多く、50代以上は熊野市、松阪市で多くなっている。「30代」から「50代」にかけて世帯人数が多く、若年層あるいは高齢層に向かうほど世帯人数が少なくなる。

図表 I-79 年齢層

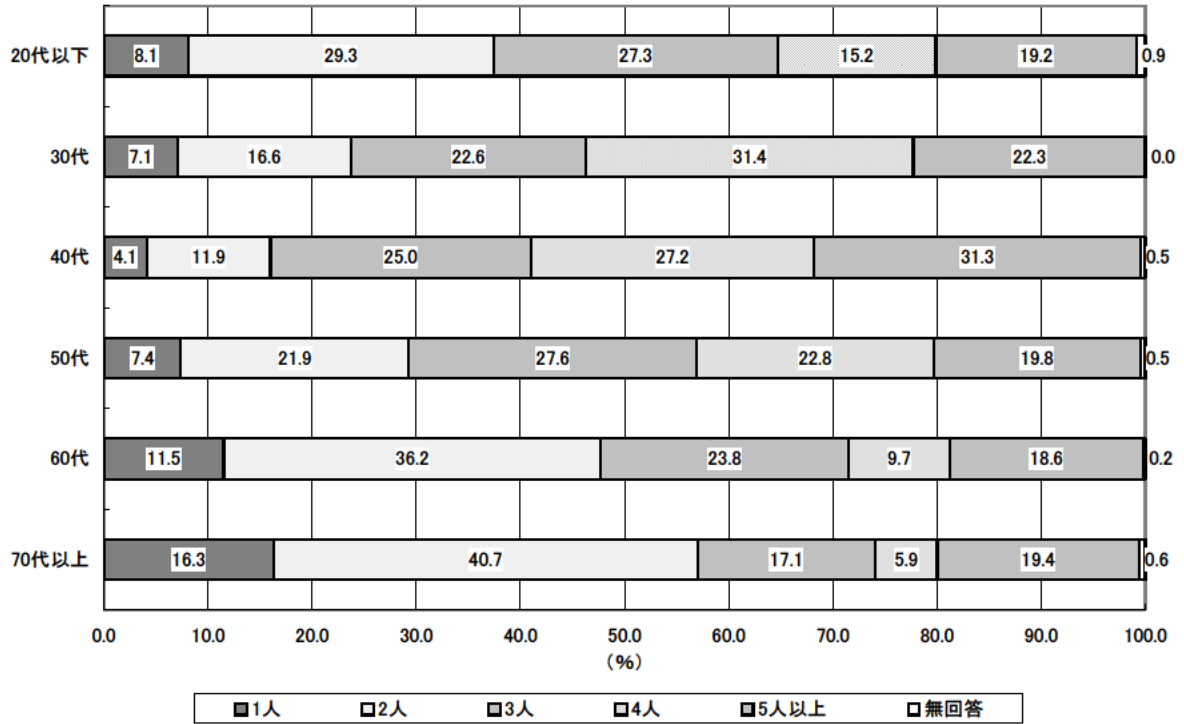
選択肢	件数	割合(%)
1 20代以下	99	2.6
2 30代	421	11.0
3 40代	604	15.7
4 50代	991	25.8
5 60代	910	23.7
6 70代以上	614	16.0
無回答	196	5.2
全体	3835	100.0



図表 I-80 市町村×年齢層



図表 I-81 年齢層×世帯人数

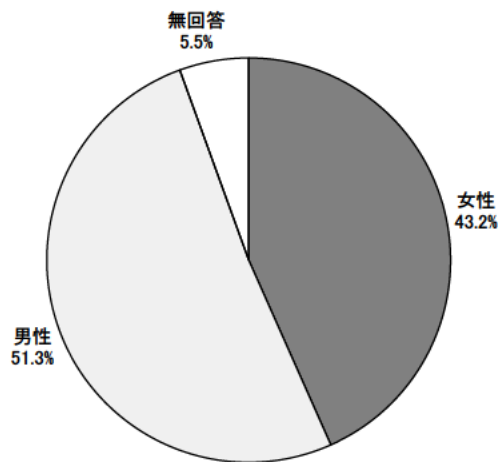


問 27 性別は？（○は1つ）

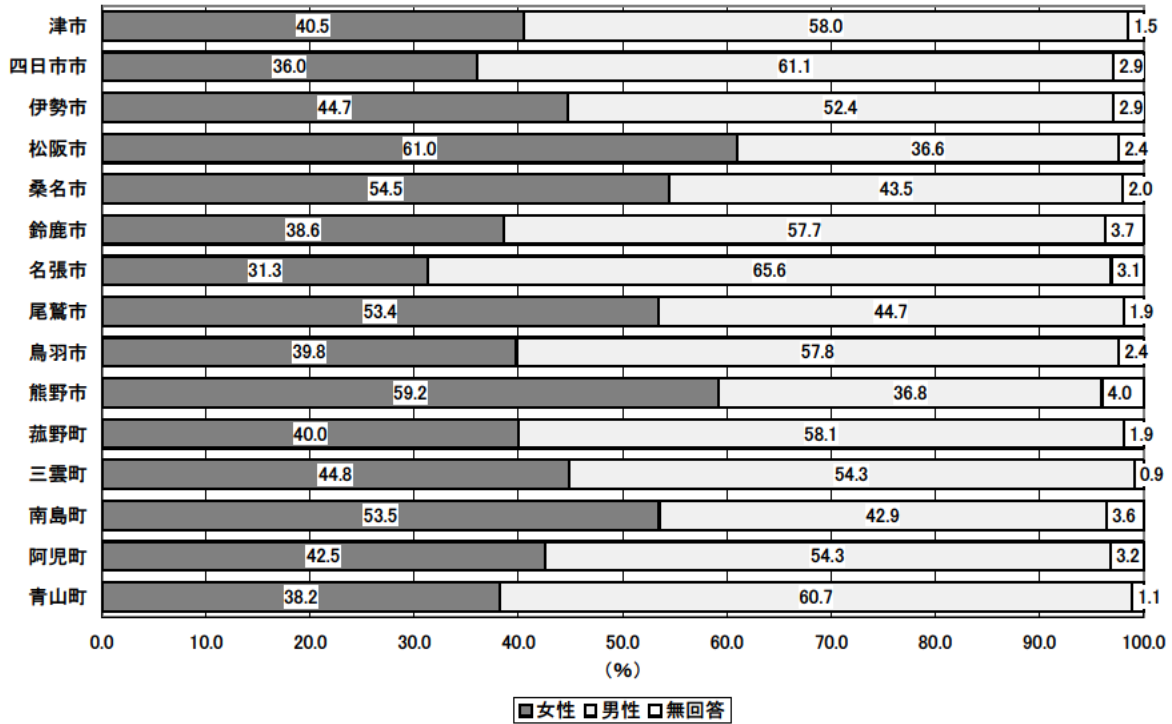
「男性」が約 51%、「女性」が約 43%を占める。女性による回答は松阪市、熊野市で多く、男性による回答は名張市、四日市市、青山町が多い。

図表 I-82 性別

選択肢	件数	割合(%)
1 女性	1655	43.2
2 男性	1966	51.3
無回答	214	5.5
全体	3835	100.0



図表 I-83 市町村×性別

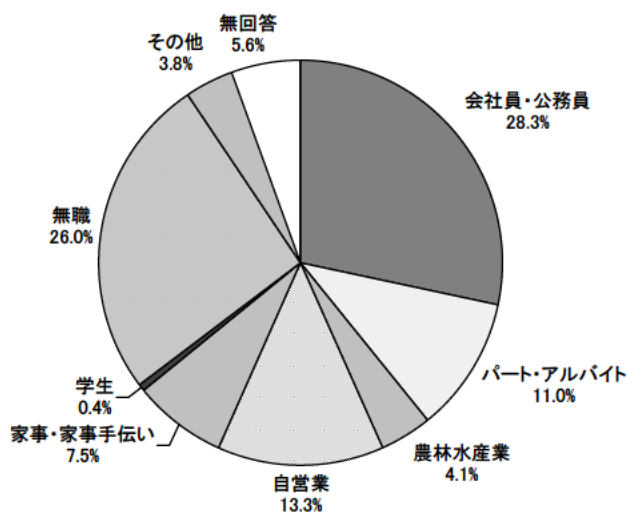


問 28 あなたのお仕事は？ (○は1つ)

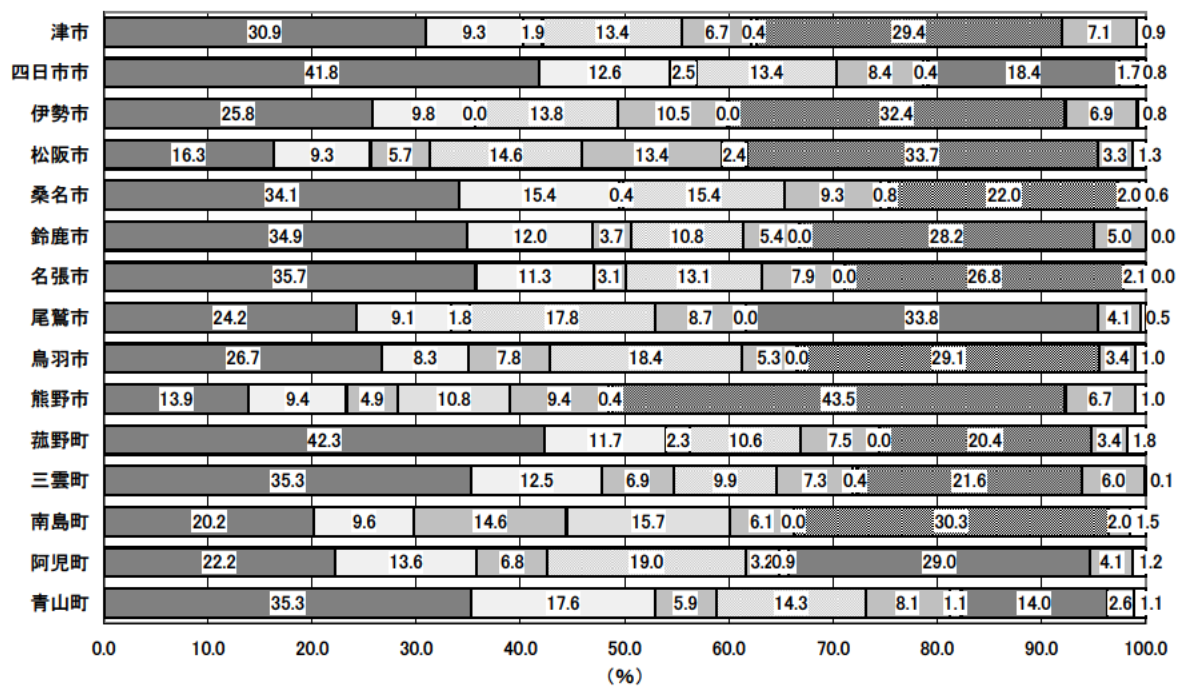
「会社員・公務員」が約 28%と最も高く、以下、「無職」(約 26%)、「自営業」(約 13%)、「パート・アルバイト」(約 11%)と続く。菰野町、四日市市では「会社員・公務員」の割合が 4 割を超える。熊野市では「無職」の割合が 4 割を超える。

図表 I-84 仕事

選択肢	件数	割合(%)
1 会社員・公務員	1087	28.3
2 パート・アルバイト	421	11.0
3 農林水産業	157	4.1
4 自営業	510	13.3
5 家事・家事手伝い	288	7.5
6 学生	17	0.4
7 無職	996	26.0
8 その他	147	3.8
無回答	212	5.6
全体	3835	100.0



図表 I-85 市町村×仕事



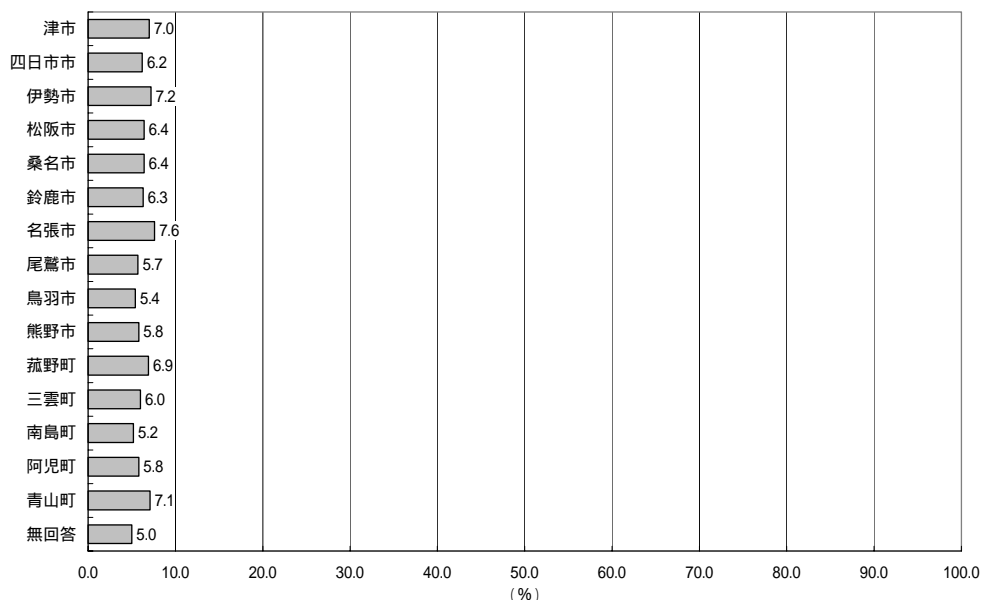
■会社員・公務員 □パート・アルバイト □農林水産業 □自営業 □家事・家事手伝い □学生 □無職 □その他 □無回答

問 29 お住まいの市町村は？（ は1つ）

各市町村とも5～7%台であるが、回収率の関係から、南島町、鳥羽市で若干低い。

図表 I-86 住まいの市町村

選択肢	件数	割合(%)
1 津市	269	7.0
2 四日市市	239	6.2
3 伊勢市	275	7.2
4 松阪市	246	6.4
5 桑名市	246	6.4
6 鈴鹿市	241	6.3
7 名張市	291	7.6
8 尾鷲市	219	5.7
9 鳥羽市	206	5.4
10 熊野市	223	5.8
11 菟野町	265	6.9
12 三雲町	232	6.0
13 南島町	198	5.2
14 阿児町	221	5.8
15 青山町	272	7.1
無回答	192	5.0
全体	3835	100.0

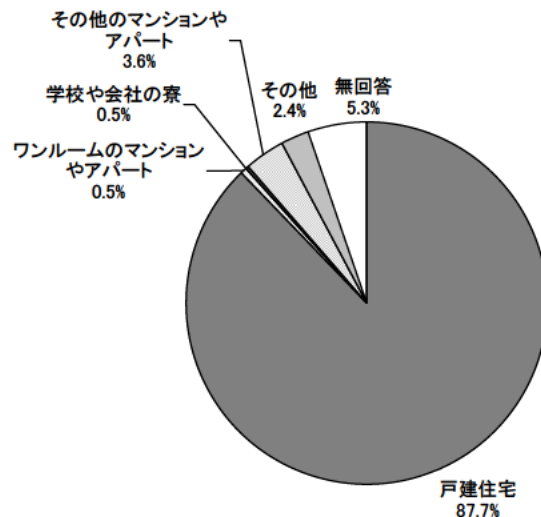


問 30 お住まいの形態は？（ は1つ）

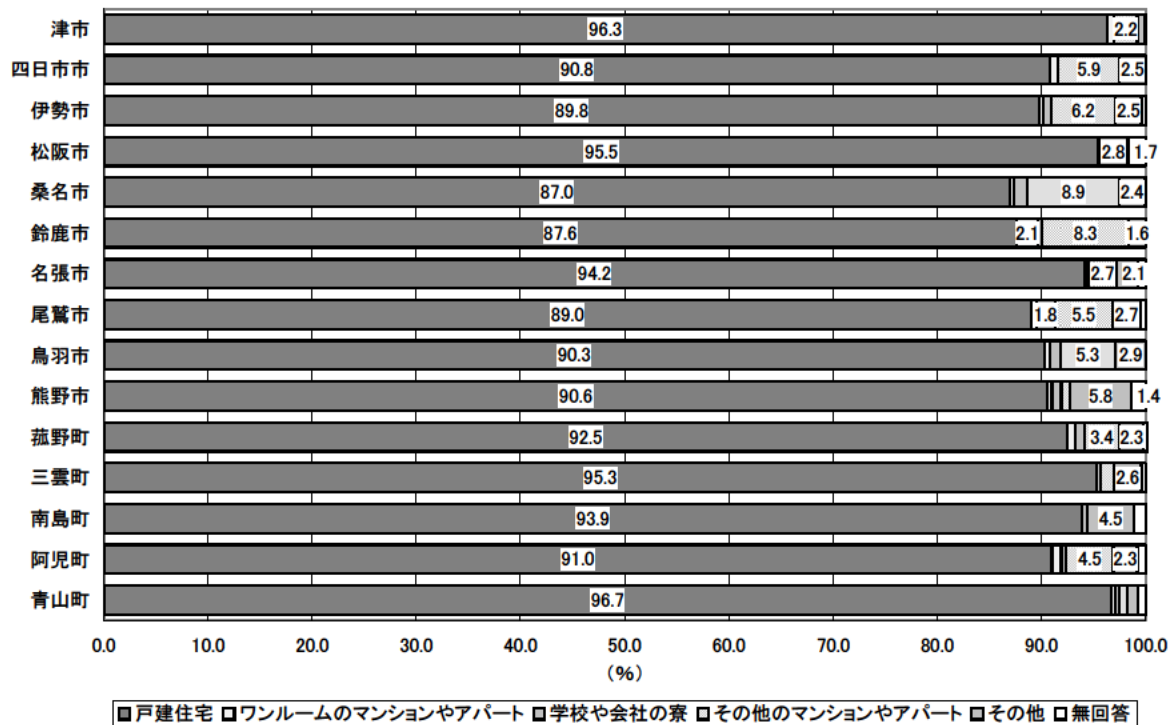
約88%を戸建住宅が占める。この割合は、青山町、津市で若干高くなっている。

図表 I-87 住まいの形態

選択肢	件数	割合(%)
1 戸建住宅	3364	87.7
2 ワンルームのマンションやアパート	20	0.5
3 学校や会社の寮	20	0.5
4 その他のマンションやアパート	137	3.6
5 その他	92	2.4
無回答	202	5.3
全体	3835	100.0



図表 I-88 市町村×住まいの形態

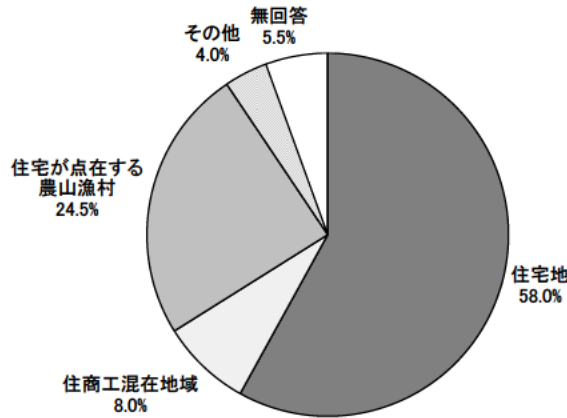


問 31 お住まいの周辺の様子は？（○は1つ）

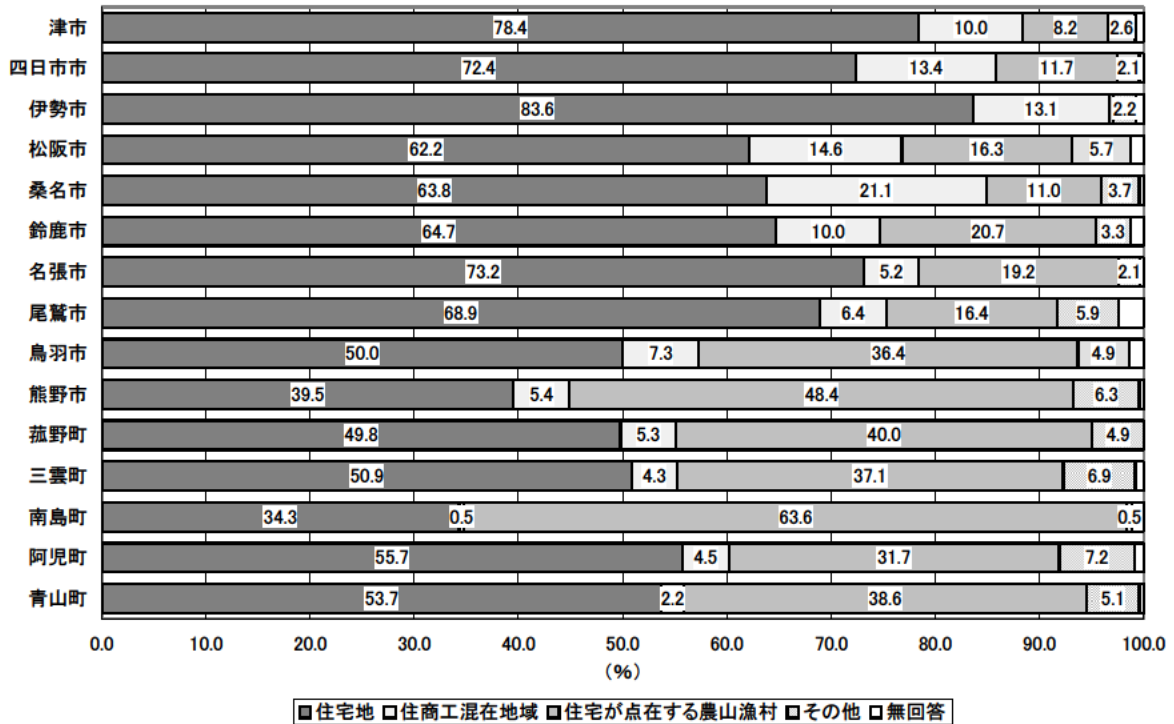
「住宅地」が約 58%、「住宅が点在する農山漁村」が約 25%を占める。「住宅地」は伊勢市、津市で高く、「住宅が点在する農山漁村」は南島町、熊野市で高くなっている。

図表 I-89 住まい周辺の様子

選択肢	件数	割合(%)
1 住宅地	2226	58.0
2 住商工混在地域	306	8.0
3 住宅が点在する農山漁村	939	24.5
4 その他	152	4.0
無回答	212	5.5
全体	3835	100.0



図表 I-90 市町村×住まい周辺の様子

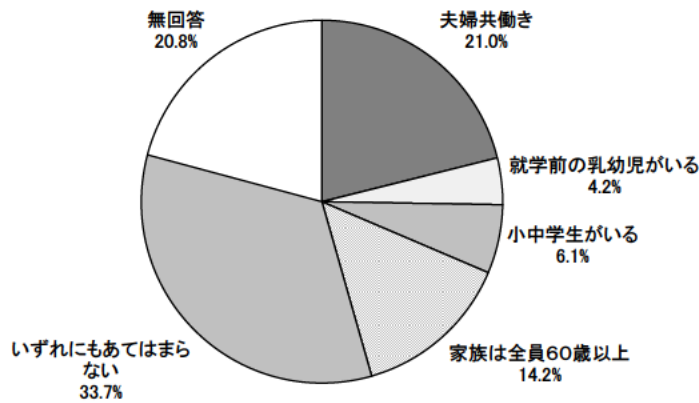


問 32 次のうち、あなたの家庭に当てはまることはありますか？（○は当てはまるものすべて）

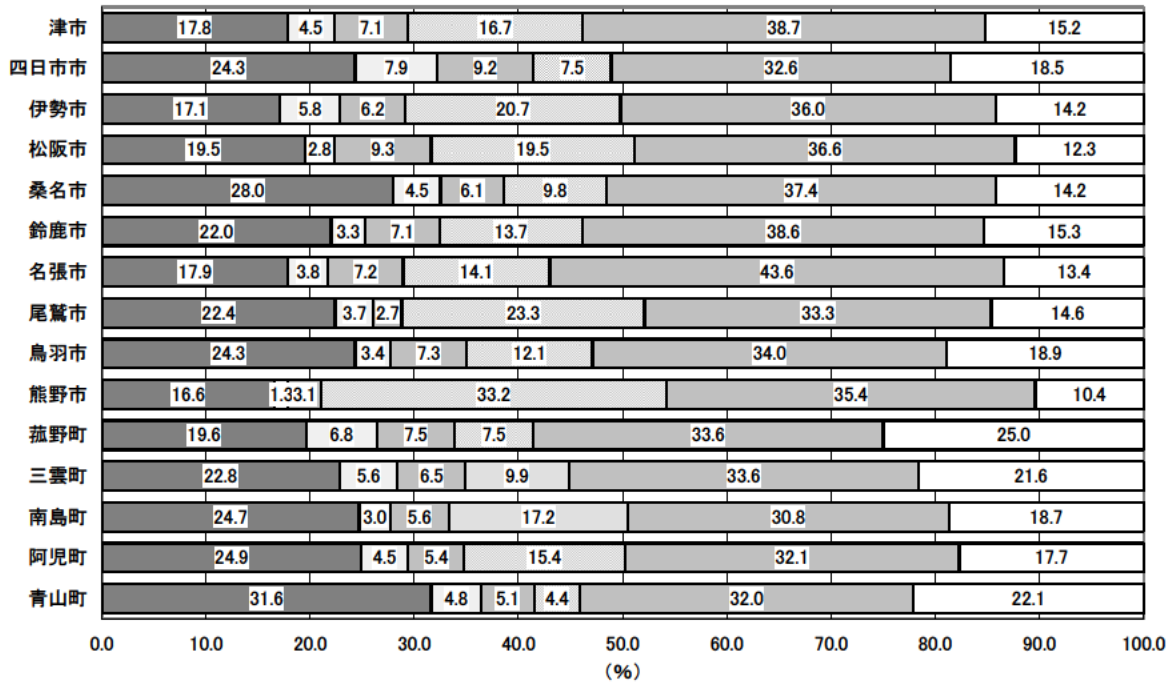
「夫婦共働き」が約 21%、「家族は全員 60 歳以上」が約 14%を占める。「夫婦共働き」は青山町、桑名市で高く、「家族は全員 60 歳以上」は熊野市、尾鷲市で高い。

図表 I-91 世帯の特徴

選択肢	件数	割合(%)
1 夫婦共働き	807	21.0
2 就学前の乳幼児がいる	162	4.2
3 小中学生がいる	234	6.1
4 家族は全員60歳以上	543	14.2
5 いずれにもあてはまらない	1294	33.7
無回答	795	20.8
全体	3835	100.0



図表 I-92 市町村×世帯の特徴



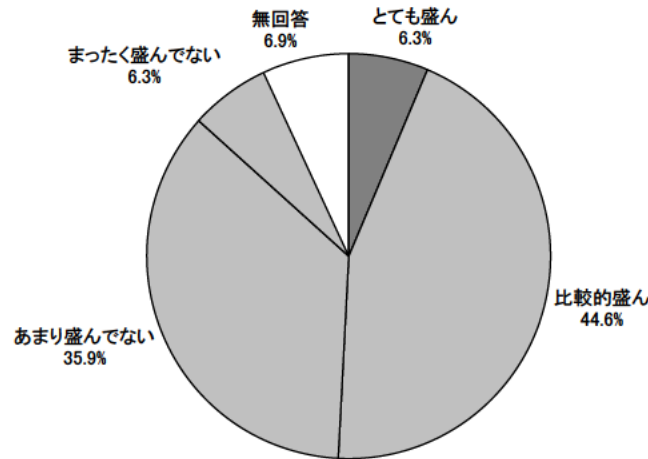
■夫婦共働き ■就学前の乳幼児がいる ■小中学生がいる ■家族は全員60歳以上 ■いずれにもあてはまらない ■無回答

問 33 あなたの住んでいる地域では、自治会や子ども会などの地域活動は盛んですか？（○は1つ）

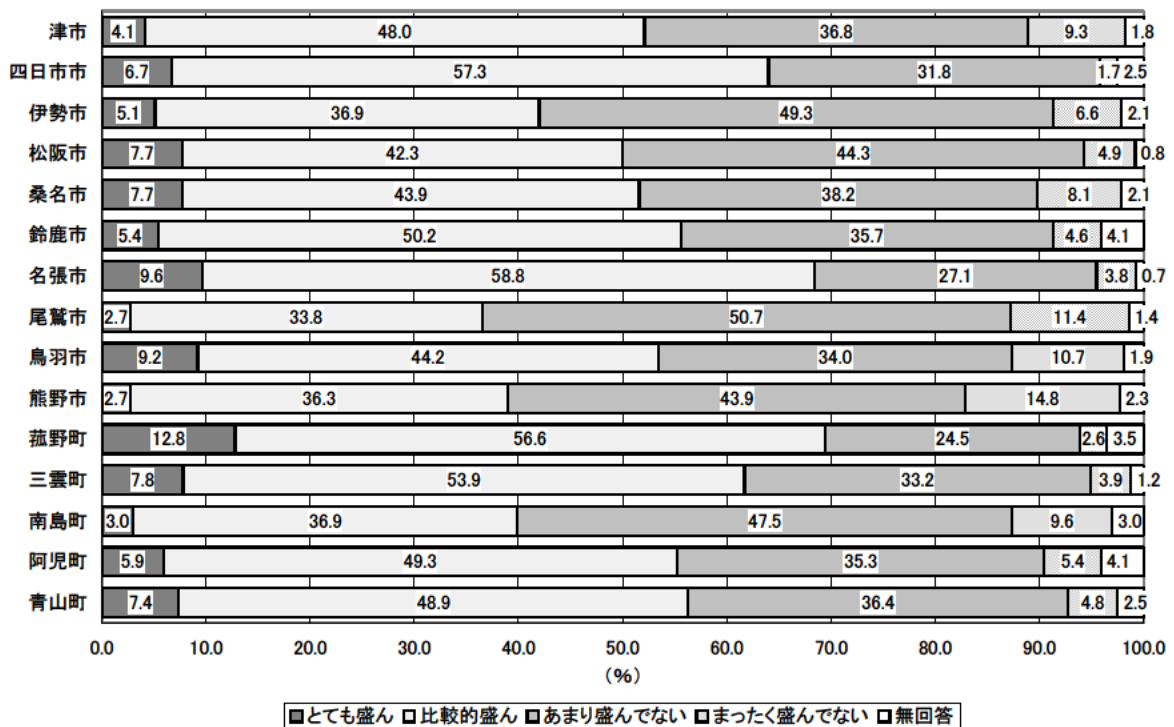
地域活動については、「盛ん」が約 51%と、「盛んでない」の約 42%を上回る。特に地域活動が「盛ん」な市町村は、菟野町、名張市、四日市市、三雲町である。

図表 I-93 地域活動の様子

選択肢	件数	割合(%)
1 とても盛ん	242	6.3
2 比較的盛ん	1710	44.6
3 あまり盛んでない	1376	35.9
4 まったく盛んでない	242	6.3
無回答	265	6.9
全体	3835	100.0



図表 I-94 市町村×地域活動の様子

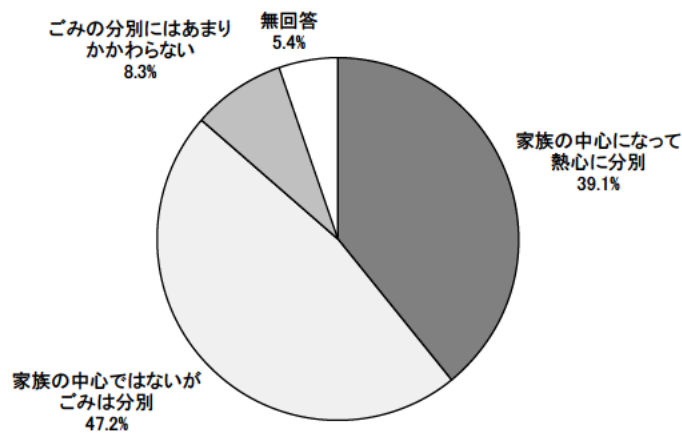


問 34 あなた自身は家庭でごみの分別にどうかかかわっていますか？（○は1つ）

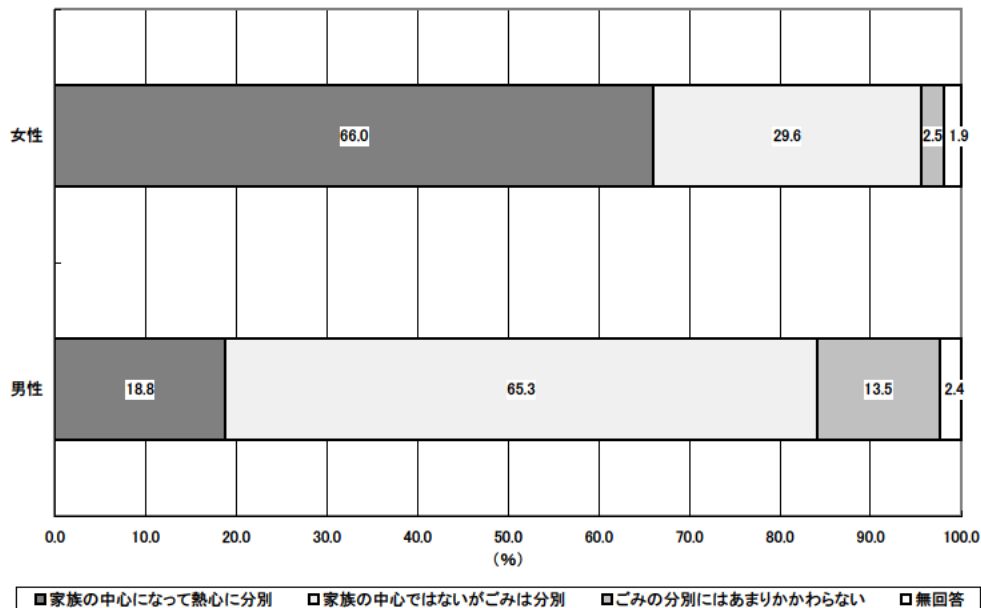
「家族の中心になって熱心に分別」が約 39%、「家族の中心ではないがごみは分別」が約 47%と、約 86%が家庭でごみの分別にかかっている。「家族の中心になって熱心に分別」する割合は、女性約 66%、男性約 19%と、男女の間で 47 ポイントの開きがある。これに「家族の中心ではないがごみは分別」を加え、分別へのかかわりという点で比較すると、女性約 96%、男性約 84%と、その差が 12 ポイントまで縮まる。

図表 I-95 ごみ分別へのかかわり

選択肢	件数	割合(%)
1 家族の中心になって熱心に分別	1501	39.1
2 家族の中心ではないがごみは分別	1812	47.2
3 ごみの分別にはあまりかかわらない	318	8.3
無回答	204	5.4
全体	3835	100.0



図表 I-96 性別×ごみ分別へのかかわり



3. 意識・行動分析

(1) 点数化の方法

意識について設問した問 1 および行動について設問した問 2 を用いて、得られた結果を点数化することで、意識と行動の差の分析を行った。点数化は次の方法によった。

問 1 にある(1)～(4)までの設問について、次の通り点数化した。

- ・「とてもそう思う」..... 4 点
- ・「少しそう思う」..... 3 点
- ・「あまりそうは思わない」..... 2 点
- ・「まったくそうは思わない」..... 1 点
- ・無回答 0 点

問 2 にある(1)～(4)までの設問について、次の通り点数化した。

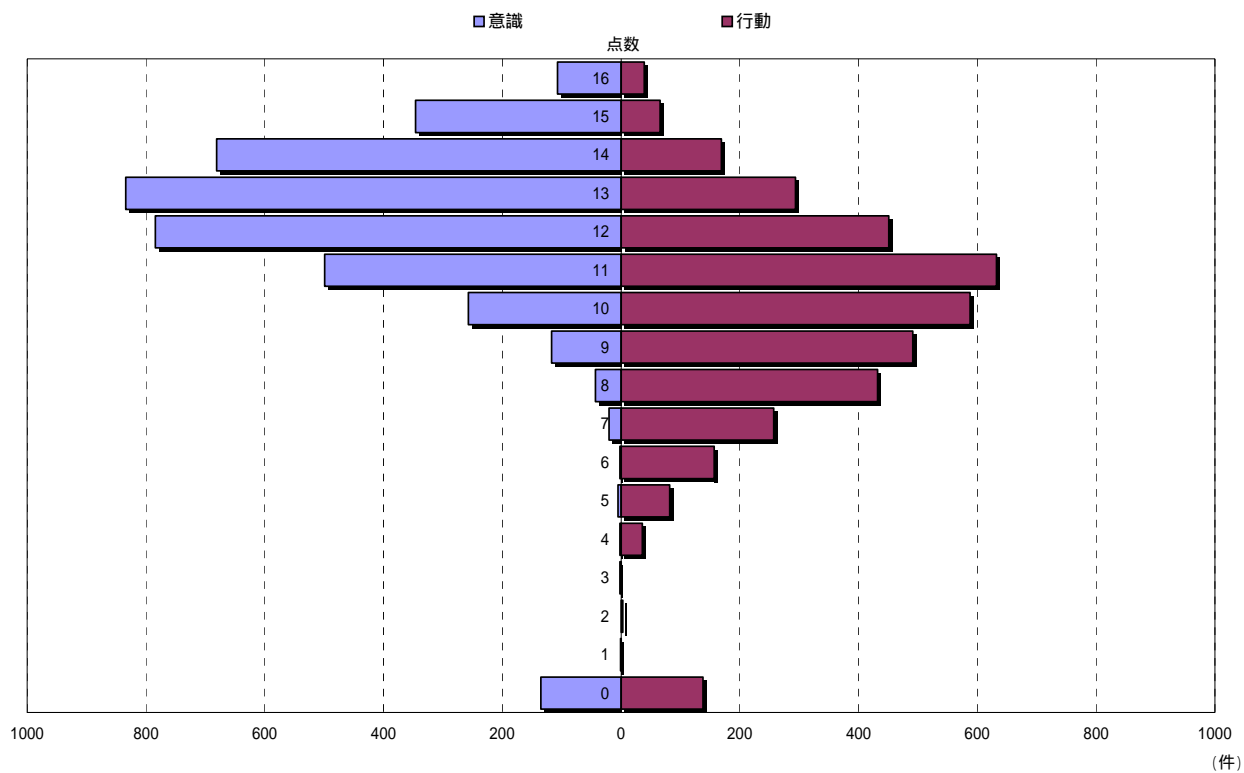
- ・「とてもそう思う」..... 1 点
- ・「少しそう思う」..... 2 点
- ・「あまりそうは思わない」..... 3 点
- ・「まったくそうは思わない」..... 4 点
- ・無回答 0 点

回答ごとに点数を合計し、全体集計を行った。

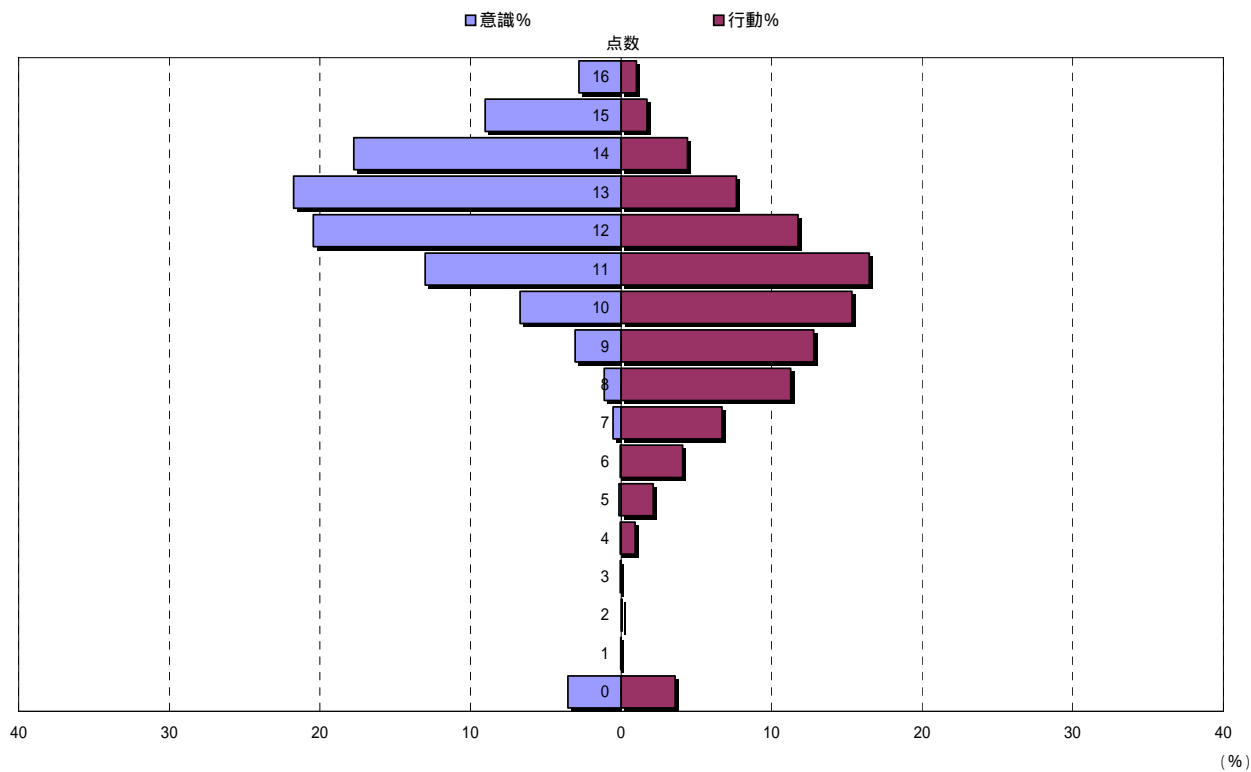
(2) 点数の分布

全体平均では、意識は 12.5 点、行動は 10.1 点であり、その差は約 2.4 点となった。意識と行動の間に開きの大きい市町村は桑名市で 3.0 点、小さい市町村は南島町の 1.7 点となった。いずれの市町村も、意識の点数が行動の点数を上回っている。

図表 I-97 意識と行動の点数分布(件数)



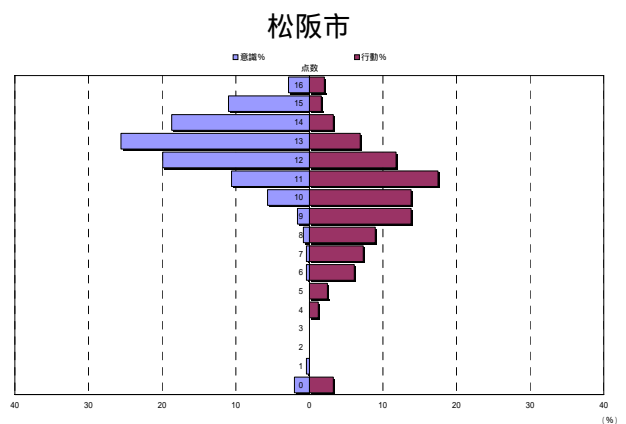
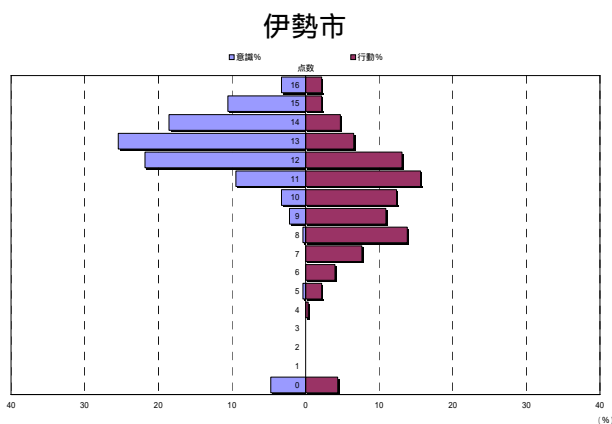
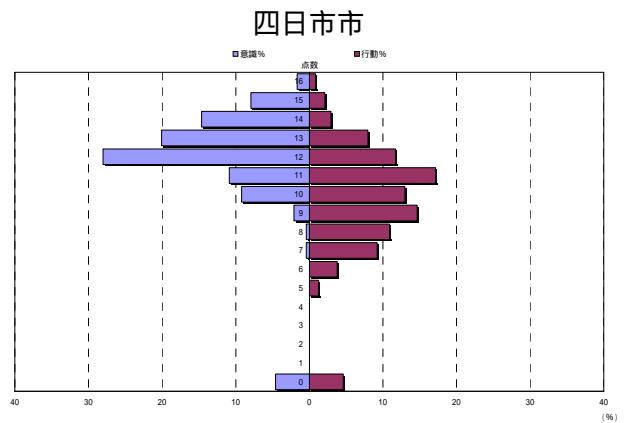
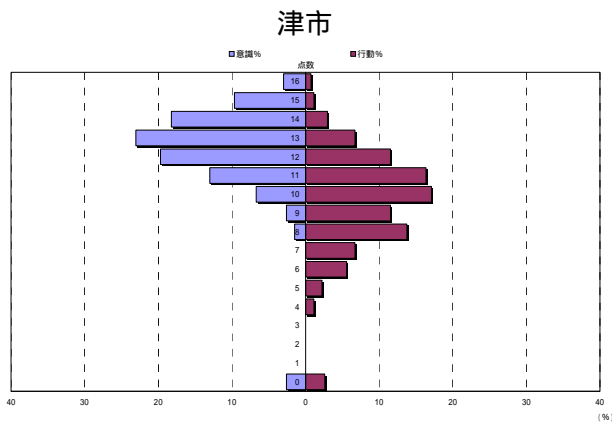
図表 I-98 意識と行動の点数分布(割合)



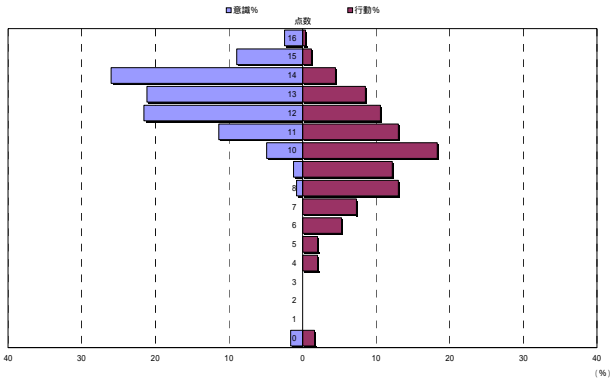
図表 I-99 意識点・行動点の市町村別平均と偏差

	意識			行動			意識・行動 の差
	平均値	偏差	最頻値	平均値	偏差	最頻値	
1 津市	12.6183	2.6198	13	9.8168	2.7941	10	2.8015
2 四日市市	12.4254	3.0416	12	10.0658	3.0755	11	2.3596
3 伊勢市	12.8473	3.1485	13	10.1445	3.2147	11	2.7028
4 松阪市	12.6971	2.5608	13	9.9748	3.0452	11	2.7223
5 桑名市	12.8306	2.2295	14	9.8223	2.7233	10	3.0083
6 鈴鹿市	12.4545	3.0359	12	9.9610	3.0752	9	2.4935
7 名張市	12.4632	2.5875	13	10.1579	2.8553	11	2.3053
8 尾鷲市	12.4579	2.6487	14	10.2383	2.6981	11	2.2196
9 鳥羽市	12.3807	3.0184	13	10.3807	3.1234	11	2.0000
10 熊野市	12.3037	3.1528	14	10.5280	3.2802	11	1.7757
11 菰野町	12.4784	2.8998	13	9.9567	2.9630	10	2.5217
12 三雲町	12.7354	2.9823	13	9.9058	2.9891	10	2.8296
13 南島町	11.9947	3.2156	12	10.2500	3.3726	11	1.7447
14 阿児町	12.5286	3.3105	13	10.1571	3.1335	10	2.3714
15 青山町	12.6113	2.6238	12	9.8340	2.7918	11	2.7774
全体	12.5227	2.9023	13	10.0682	3.0167	11	2.4545

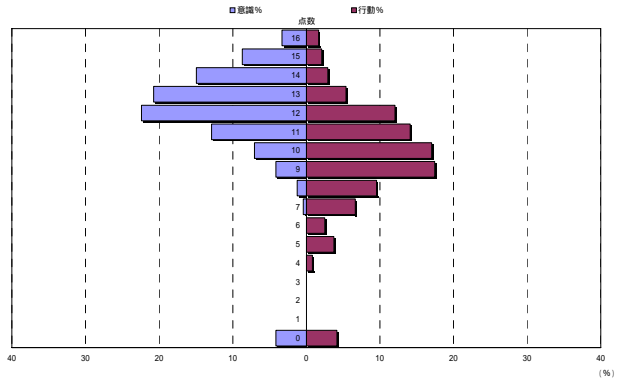
図表 I-100 意識と行動の点数分布(市町村別)



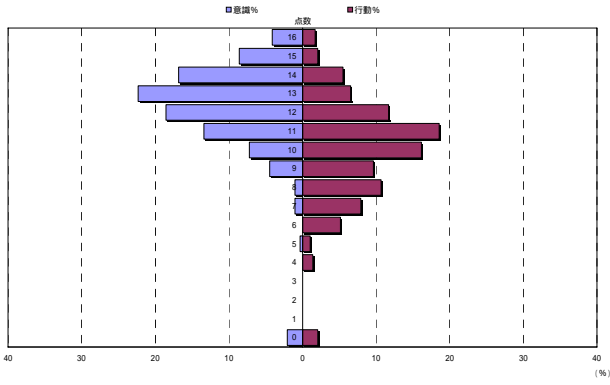
桑名市



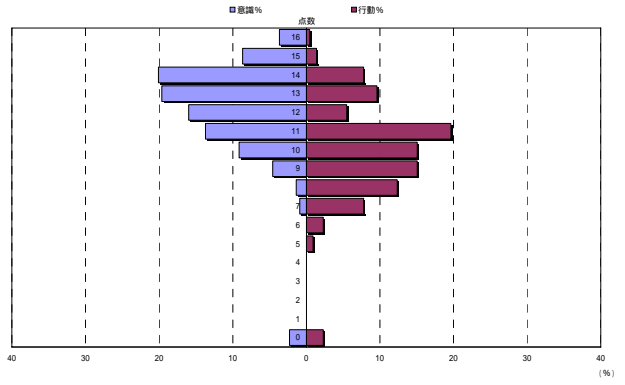
鈴鹿市



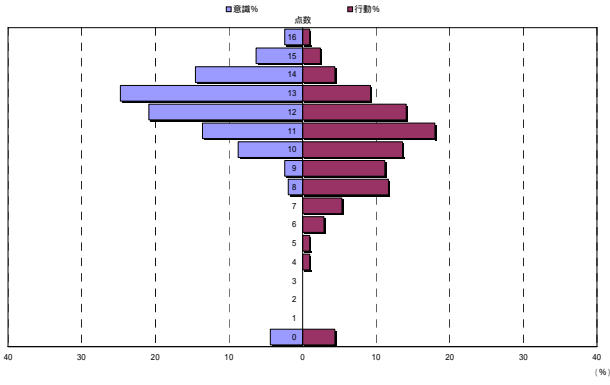
名張市



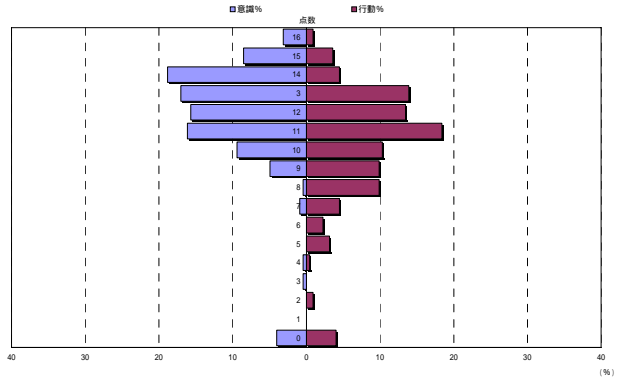
尾鷲市



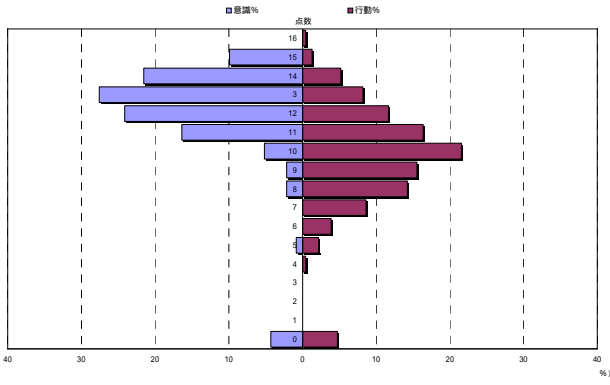
鳥羽市



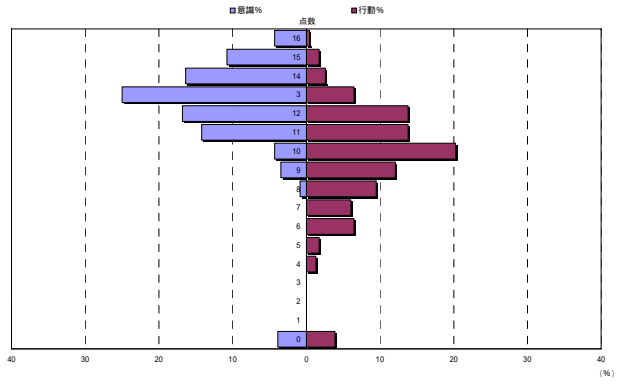
熊野市



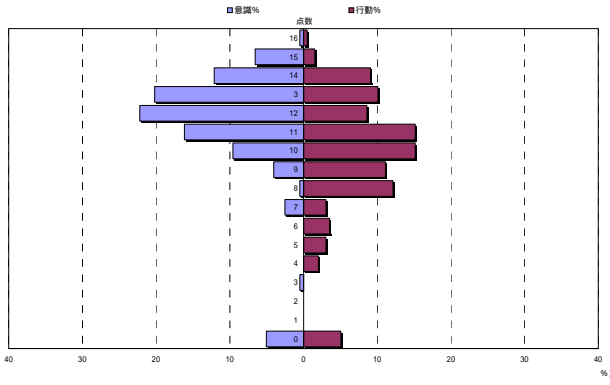
菰野町



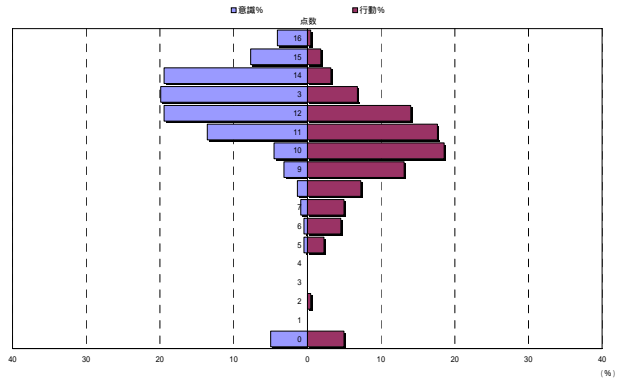
三雲町



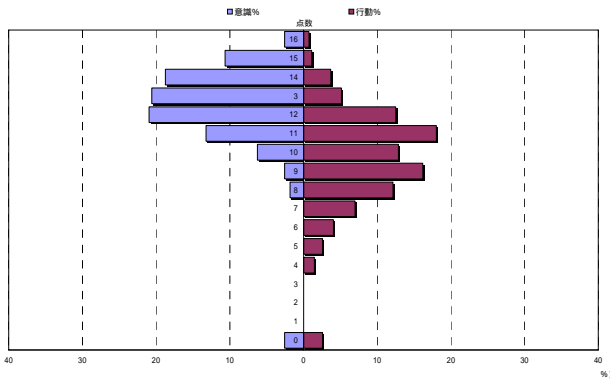
南島町



阿児町



青山町



4. 自由記入

1 発生・排出抑制

ゴミゼロに通じる問題として、大型店舗の24時間営業に私は疑問を感じます。特に、最近、みんなガマンができなさすぎだと思う。それは資源のムダ使いとなり、ゴミも増え、その処理に困ることにつながっていると思う。安いものを買えば、いつでも買い物ができるという利便性を重視するのではなく、ものを大切に、生活、環境、人間そのものを大切に考えれば、もっと根本から変わることができると思う。便利になりすぎて、みんなおかしいと思う。(30代/女性/菰野町)

物がたくさんあふれて、何でもすぐに手に入る時代、いかに質素にムダのない暮らしをしていくか日々考えています。家電製品は、修理代金と買い替える場合に、値段の差があまりないことが多く、つい買い替えてしまうことがあります。修理をもう少し安くできればいいと思います。(30代/女性/伊勢市)

ごみは最終的に家庭から出るが(会社・職場もあるが)、商品や食品、家具等の製造段階から最後を考えた工夫が大事。使用者側の意識の変化も大切だが、売らんがためのごみにつながる無駄が多い社会になっている。もっと車や家電のように最終処分に必要な費用を全ての商品に上乘せし、製造者側とその商品を買う側の責任で最終を考えた消費生活をしなくては。(50代/男性/伊勢市)

物が少ない方が暮しやすい。(50代/女性/尾鷲市)

分別を細かくする。そのためにも分かり易い表を作成してほしい。コンビニなどで買物をする時も包装が必要か、箸などが必要か聞くようにしてほしい。スーパーの袋は店員さんが多めに入れることが多いので、自分で必要な分だけ取れるようにする。(20代以下/女性/桑名市)

戦時中のきびしい物不足の時代に生きて参りました者にとりまして、今の時代の恵まれた生活は本当に夢のようです。でもこのような日々が何時まで続くのかわかりません。心して物資は大切に出来るだけごみを出さぬよう心掛けて生きて行きたいものです。(70代以上/女性/尾鷲市)

お金がかかっても、地球環境を守るためごみを減らす方法を優先すべき。不景気といえども日本は世界レベルで見れば格段に裕福でぜいたくをしているのだから。消費者はそのような努力をしている優良企業の製品を少し高くても買うようにすべきだと思う。(60代/女性/四日市市)

何かを購入する時は、家にすでにある物を処分するか、まだ使えるかを考えてからにしています。なるべくムダな物は置かないようにしています。(60代/女性/阿児町)

無くても暮らしていけるような商品があふれている(買っている)。そういうものは、すぐごみになってしまう。そういう商品が淘汰されていくようなライフスタイルを社会全体に浸透させれば！(50代/男性/青山町)

高度成長化社会がごみ大量化社会を作ってしまった。もっとのんびりの社会、人生であって良いと思う。このことがゴミゼロ社会であろうと思う。(50代/男性/青山町)

物に対する愛情が乏しいのが現代だと思う。又、修理をしたら却って高くついたりする場合も多く矛盾を感じる。"もったいない"ということを大切にしていた時代を皆でもう一度振り返る必要性を思います。廃棄物利用派の私としては、質素儉約を声高らかにして訴えたい。(40代/女性/名張市)

保育士をしていますが、今の若い母親達が布おむつを使わなくなった事には驚きます。保育園に入園した時にオムツカバーを持っていないので、買う気持ちもなくオムツがはずれるまですべて紙です。ゴミの量もすごいです。夜や出かける時には紙を他は布をこまめに使い分ければいいのになーいつも思っています。アイデアではなくてすみません。(40代/女性/津市)

必要でないものは購入しない。物を出来る限り少なくする。学校のバザーなどの時に出来るだけ協力して

出して参加すること。自分の持ち物の中で人に着られ喜んでもらえるものは利用してもらうよう心掛ける。再利用。食品を購入の時 1 日～2 日分は良いが多く購入しない。どうしてもごみとして出す場合、出来るだけ資源として利用出来るよう分別をしっかりと行う。(70 代以上/女性/鳥羽市)

なるべく必要でないものは買わない、もらわない(レジ袋、包み紙)小さい事から。衣類は再利用して使う等心掛けております。家具等、大きな物は大切に代々使うようにする。又人に使ってもらう。なるべく捨てない様に心掛けて居ります。自分なりに…。一人ひとり、責任を持つ事?(70 代以上/男性/鈴鹿市)

過剰包装が多い様に思います。スーパーのレジ袋などもいらないと思います。レジ袋ももらえないと思ったら袋を持って買物に行くと思います。(50 代/女性/熊野市)

伊勢市では指定ごみ袋、買い物時のマイバッグなどが指定されていますが、とても使いやすく、毎日毎日利用しています。休日にはドライブによく出かけますが、ごみのポイ捨てが余りにも多くとても見苦しく思います。ごみの分別など、規制が多くなるほど、ポイ捨ても増えるのではないかと思います。各自治体の回収車は指定回収場所以外のところのごみも気をつけて片付けていただければと思います。(50 代/女性/伊勢市)

買い物のレジ袋など有料にするか希望者だけで良いと思う。(60 代/男性/尾鷲市)

アンケートは女性の目から記入させていただきました。地域のルールに協力し、又、分別、ごみ袋(指定)など利用しています。ただ家族も少人数になってくると、指定ごみ袋に対し、ごみが 1/3 くらい(1回出し)になると、高いものに付きます。スーパーの袋で良い(1回出し量)の声もあるので、その辺も考えてほしい。(40 代/女性/青山町)

レジ袋は大変重宝しています。肌着入れ、靴下入れ等に使い、その袋が古くなったら可燃、不燃ゴミ等に丁度良い大きさです。ふつうのゴミ袋では大きすぎるので不経済。/電化製品の修理代が高く新しく買った方が安くつく場合もあります。(70 代以上/女性/松阪市)

ごみ処理を有料化した市町村での有料のごみ袋の購入は、金額もさることながら、わざわざごみ袋のごみ一つ増やしているようなものだと思います。指定の袋がなければスーパーの買物袋でも充分間に合います。(-/南島町)

我が家では残飯は常に愛犬が食べてくれるし、野菜の調理くずや魚類は生ごみ処理機で処理して家庭菜園用の畑に肥料として用いているので、生ごみはほとんど出ない。しかし、これがマンション住まいやアパート住まいだとしたら、毎日出る生ごみはおそらく燃えるごみとして出さざるを得ないと思われる。いかに生ごみを減らすかが課題になると思う。(60 代/男性/阿児町)

昔、自分が小さい頃よくおばあさんが紙くずや食べ物の残り物などは畑の隅に穴を掘り、燃やしていたことを覚えております。今の時代も昔のように各家で紙くずや食べ物の残りを畑で焼き、それが出来ない所には市町村で処理機を安く買えるよう便宜を図れば、各自の家のごみは必ず減ることは間違いなしだと思います。(30 代/男性/伊勢市)

以前は自宅でカットした植木や刈り草、紙など焼却していたのができなくなったのでゴミの回収日に出すゴミの量はふえていると思います。(50 代/女性/鳥羽市)

まわりが田園ですのでもえる物はなるべく家でもやりたい。又、木、葉なので家で処理したいと思う。(70 代以上/女性/三雲町)

台所の生ごみは生ごみ処理機を使って堆肥化して野菜作りに利用したらよいと思います。(60 代/女性/四日市市)

婦人会での講習を受けて、生ごみは衣装ケースを使って堆肥化しています。(6 年前より)(60 代/女性/熊野市)

生ごみ処理機の市の負担分を多くして、もう少し私達の買いやすい価格にしてほしい。(50 代/女性/鈴鹿市)

市)

あたりは住宅地で緑も多いため、草木の可燃ごみが大変多く感じられます。各家庭に一個でなく、地域に草木だけを集め肥料化できるシステムがあればと思います。(40代/女性/菰野町)

町内の清掃(公園の草取りなどを含む)や家庭(戸建て)の庭などから出る小枝や木の葉、草などについては、安全な方法による「焼却処理」を認めるべきである。何から何までプラスチックの袋に入れて回収に出すというのは如何なものか。その地域の状況に応じて判断すべきだと思う。(60代/男性/名張市)

ごみゼロ社会は難しいと思うが、生ごみを減らすことは今自治会でモデルケースで取り組んでいる。すごく良いのでみなさんに取り組んでもらいたいと思う。(堆肥化容器に堆肥、生ごみ、堆肥とサンドイッチにしていく、においが無く台所でしている)(50代/女性/青山町)

缶ジュース、ペットボトルなどのデポジット制を全国的に行えば良いのでは。三重県がさきがけて実行してはどうでしょう。(50代/男性/津市)

びんは、ビールのように一定の規格のものとし、リユースする。焼酎、ワインなど色つきや、形がしゃれた物は、作らせない方向に法律改正を。カタログ、チラシもコーティングしてリサイクルしにくい物が多い。華美な物は作らず、リサイクルしやすい紙でよいと思う。(50代/女性/菰野町)

ビールビンのように再利用していくシステムがいろいろな物にも適用されれば良いと思う。食品もパッケージではなく量り売り方式のところをもっと多くなれば、無駄な買いものもせず、ゴミも減ると思う。(20代以下/男性/四日市市)

ティッシュ、トイレトペーパー等、リサイクル商品を使用しています。コストが少し高いですけど、利用するようにしています。(50代/女性/青山町)

家計の事を考えると、ごみ有料化は反対です。(苦しい)ごみの分別もあまり複雑にするとかえってめんどくさいなって思うことがあります。みんなにわかりやすく、細かすぎない方法を考えてほしい。(30代/女性/菰野町)

私の住んでいる町は、ゴミ袋大100円です。かなり高い設定になっています。したがってゴミはなるべく少なめにするよう努力しています。しかし、みんながゴミを少なくしようとしなにかぎり、減らないと思います。又、なぜ減らさなければいけないかを、もっとくわしく説明していかなければいけないと思います。(40代/男性/阿児町)

ごみ処理の有料化の方向は否めないと思うが、県民税、市民税に多くのお金を支払っている。また給料も低く抑えられ減額される中で、簡単に有料化にして欲しくない。もっと税金の使い方をチェックし、無駄遣いを止め、その分を回すようにしたい。(40代/男性/名張市)

ごみ袋を有料化にしたらごみ袋小も作ってほしい。我が家ではごみを分別(リサイクルごみ・資源ごみ・燃えるごみ)するようになってから、燃えるごみが減り、スーパーの袋一つで足りるときもあります。だからごみ袋は大と小があればいいと思っています。(家族は二人です。)(50代/女性/三雲町)

ゴミ有料化は当然の事と思いますが、介護などのおむつなど、年々増えていきます。ゴミ袋の値段が高くなると不公平な気がします。(50代/女性/桑名市)

消費者だけでなく、メーカーもごみがなるべく出ないようにしてもらわないと。とまどいと苦勞が消費者に重くのしかかってくる。又、有料化については、老齡年金も少なくされている今日、この上の負担を強いられることは、本当に苦しい。(70代以上/男性/熊野市)

ゴミ処理有料化にする場合、少人数家庭用の小袋を作り、料金を安くして欲しい。不法投棄は厳しく取締って欲しい。(50代/女性/四日市市)

私としては有料になるのは仕方がないと思って居ります。生活費にひびきます。だから一番身にしみて減量するようになると思います。口や、パンフレットでゴミゼロといっても、痛みがわかってないと、なかなか実

行できないと思います。(50代/女性/南島町)

ごみ処理有料化には大賛成ですが、有料化に伴いますます不法投棄する者が増えると思うので、飲酒運転を従来より厳罰化した様に今よりもっともっと一層厳しくしてもらいたい。懲役刑、罰金刑共に。特に山間地などへ行くと人目につかない所に大量のごみを見ることがあります。(60代/男性/桑名市)

資源を大切にと言う意味でのごみの有料化は必要と思います。現在無料の為不用になったものは捨てられています。有料化により商品の購入から商品を選び、不必要なもの又リサイクル可能な商品しか買わなくなると思います。これだけでも排出するごみに責任を持つようになるのではないのでしょうか。(50代/男性/菰野町)

私の家には高齢者がおり、紙おむつ、紙パンツ、尿パッドなどのごみが多く、その為に多額の有料化をされると困るナーと思います。また、今から高齢者社会になり、そう感じる方も多いと思います。何か良い案があればと思います。(30代/女性/鳥羽市)

ごみ有料化は必要と考えるが、これによって不法投棄が増大する心配がある。この対策をキチッとやらないと失敗と思う。一部の不心得者によって大多数の正直者の住民の意思、意欲が損なわれない仕組みづくりが重要と思います。(60代/男性/名張市)

2 意識・モラル、県民参加

私達が生活していく上で、全くごみを出さない生活は無理と言えます。しかし、ゴミを出さないようにしようという心構えは、大切だと思います。県民がこぞってゴミゼロを意識するだけでもゴミの量は減ると思います。スーパーなどにも働きかけてごみが出ないような工夫をしていただくのも一つの方法かと思います。(50代/女性/松阪市)

県民がこぞってごみゼロ社会を創って行こうと意識を持って実践して行くことにより、良くなると思う。老人社会になる傾向にあるので、ごみ収集場所が遠い様では困りますので、増やして欲しいと思う。(70代以上/女性/熊野市)

ごみをなくすことは大変なことです、一人一人が意識を持っていくことで少しずつでも減らしていくことは出来ると思います。子どものうちから認識させることも大切ではないかと思います。(20代以下/女性/尾鷲市)

行政側が何らかの対策を講じてくれるだろう。若しくは行政側がするのが当然との考えがあり、自己の責任を回避する人がいる限り、「ごみゼロ社会」の日は果てしなく遠い。消費者への意識の向上を粘り強く運動と実績を種々つみ重ねていかなければならない。(/-/-)

私は常々不要品や衝動買いをしないようにしています。又食料品はほかす事無く自分自身が食べ切れる量を購入しています。私自身の親から“もったいない”という言葉が教えられて育ったせいかもしれませんが物を大切にする気持ちがあればごみゼロ社会を作っていくことが出来ると思います。(40代/女性/尾鷲市)

便利さを第一に考えるような社会になってきた。昔はお豆腐を買いに行くのでもボールを持って買いに行ったり、卵も容器を持って買いに行った。スーパーでは袋がいらない時はスタンプを押して何個か集まると品物に交換してもらえます。ゴミをゼロにするには生産・消費・排出のそれぞれの意識レベルの向上も必要だと思う。(40代/男性/四日市市)

ごみは生活する上でゼロにすることは出来ないと思います。しかし少なくする努力は誰にでも出来ます。一人一人が私一人くらいやってもしょうがないという気持ちにならないで欲しい。分別はもっともっと細かくてもいい。(40代/男性/桑名市)

県民一人一人がごみを出さない努力が必要だと思います。メーカー側も少しでもごみが出ないような梱包、荷造りを心がけて欲しい。スーパー、食料品店のレジ袋などをあまり使用しないようにすることも大切かと思っています。(-/-/)

自分だけならいいだろうという気持ちを持たず、一人一人がごみゼロ社会を考え自覚して、関心を持っていく事が大事だと思う。(-/-/)

ごみの問題は市民一人一人の意識、知識のレベルに関わっている。ルールを知らない、知ろうとしない人々に対してはある種のペナルティーさえ必要と考える。(60代/男性/松阪市)

私は大東亜戦争時代を生きて来た者ですが、物の満ち溢れている今の世の中が、もったいなくてもったいなくてなりません。昔はごみなんて一つも出ませんでしたよ。それは時代ですから仕方がないといえはいるでしょうが、若い人達のこれが当たり前と思っている事がとてもこわいです。きっとこの反動は来ると思います。どうかがんばってこの運動に取り組んでください。切にお願いします。(70代以上/女性/松阪市)

私の地域では毎週月・木曜日可燃ゴミ、第1・3・4水曜日は不燃ゴミの収集日です。にもかかわらず、色々なゴミを出す人がいます。三度、注意しても実行しない人は、ごみゼロ社会に無関心、無頓着な人です。ごみゼロ社会実現は、家族が協力して、個々が意識を持って行うより道はなしだと思います。(70代以上/男性/名張市)

毎日必ず出るごみ、朝目がさめてから夜床に入るまで本当にどれくらいのごみにかかわるのでしょうか。毎日毎日悩みます。道にいろんな場所に捨てられるごみを毎日拾ってはこれまた悩んでいます。法をきびしく、分別が細かくなりすぎてもマイナス効果になります。行政ばかりにまかせず、県民の一人一人の意識がもっと向上するよう何とかしなくてはと思っています。よろしくご指導をお願い申し上げます。(50代/女性/菰野町)

もちろん、ごみゼロ社会を創っていくという動きは、今後の地球においてもとても大切なことだと思うし、必然的に社会がそういう体制を作っていくんだと思うけれど、一番大切なのは、それを実行する個人一人一人だし、各々個人の心の持ち方に温度差みたいなものがあっては何も成功しないと思う。皆の気持ちを一緒のレベルにまで引き上げて、同じ気持ちの中でごみゼロ社会を創る動きに入れるとよいと思う。(20代以下/女性/松阪市)

昔の生活と違って、ずいぶんごみが増え、我が家も週2回の回収に結構な量を出していますが、ごみ集めの場の状態をみると、相当な量です。少しでも減らせることができると、それにかかる施設の維持もできますので、まず我が家からごみを減らす努力をしなければと思います。冷蔵庫の中味のチェックで捨てる物をなくしたいと思いました。乳児の孫がいますので、衣服は他の方からおさがりをいただいております。小さな子どもたちにもごみ問題・環境についての教育はとても大切だと思いました。(50代/女性/津市)

一人一人が資源を大切に人様に迷惑のかからないように決められたことを守って行きたいと思います。リデュース、使い捨て品や不用品をあまり求めず、物を長く使ってほしいです。(70代以上/女性/伊勢市)

何でもそうですが、自分だけやらなくても...と言う気持ちが積もればゴミも多くなると思うので、まず自分からと言う気持ちに変えていかなければと思います。ゴミ有料化も賛成ではありますが、不法投棄が増えるのではと心配になります。(30代/男性/伊勢市)

最低限のゴミ出しのルールを個人でよく守り、自覚を持って毎回の収集にそなえたいと思う。小さな事が大きな輪となり良い結果が得られる日が来ればよいと思う。(40代/女性/桑名市)

みんなが納得できるごみ減量にしていくにはみんなが協力をし、アイデアを出していかななくてはならないし、歩きながらごみをポイすて、車の窓からポイすてなどもなくさなければならぬと思う。(50代/女性/津市)

自治会で決められた場所にごみを出す様守っていても、他の地区から出勤の途中に捨てたり、しかも決められた区別なく捨て、結局「警告」の黄紙を張られ、残されている現状である。とても納得がいけない。特にアパート周辺は特にむちゃくちゃである。その状態が続くので他からも捨てにくるのである。おかしい。(40代/女性/津市)

鈴鹿市は比較的早くから分別収集を行っているが、各町の収集所に他の町から来て分別せずに捨てていく者がいるため、交代で朝早くから監視しなければならない状態が続いているのが現状、困っている。(70代以上/男性/鈴鹿市)

近年とみにモラルの低下が懸念されます。地道な啓蒙活動は大切ですが、「犬猫の糞」に見られるごとく、守る人は守る、守らない人は確信犯的に守らない、の二極化しています。やはりルールを破る人にはそれなりの罰則を課すべきだと考えます。善意と自覚を促すだけでは現実社会は良くなりません!!(60代/男性/青山町)

独身の多いアパートのごみ集積所では、分別されずに出されたり、リサイクル品は別の集積所を知らないのか面倒なのか、とにかくマナーが悪い。小学生の通学路でHな本がそのまま捨ててあったりする。家主や管理者に責任をもって2~3日おきに清掃してもらいたい。小学校低学年の総合学習でごみの分別の仕方を各家庭でどう実行しているか?と宿題を出された。親子でいい勉強になりました。もっと昔からごみについて考えていたら、今のマナーの悪い大人は減っていたかもしれませんね。(40代/女性/鈴鹿市)

まだまだごみ問題に対する意識が低く、自分の家さえきれいにすれば良いと考えている人が多いと感じる。収集日以外でも平気で出す。プラ容器や紙製品の収集ネットへごみを入れた後、口を開けっ放しにしてカラスの被害に遭うなど日常茶飯事だ。小さな住宅街で自治会もなく、気まづくなりたくないので注意できず、ただ見つけた時には掃除をする。馬鹿馬鹿しくなる。(30代/女性/鳥羽市)

特大の袋にダンボール、新聞紙、カップラーメン、もえないごみ、何もかもいっしょに入れて夜中に捨てに来る人がいるかぎりゴミはへりません。この様な人達をどの様に注意したらいいのかおたずねします。(60代/女性/菰野町)

ごみの減量化は、住民一人ひとりの意識化と努力によるものだと思う。住みよい環境づくりのために、考え、実践することが重要でしょう。同時に今の社会では、生産者の過剰包装や安価な容器などで、ごみをふやしている側面もあるように思います。そのためにも、生産者に対しても、ごみの減量化にむけた企業責任を果させることが重量なのではないでしょうか。(40代/男性/津市)

私の所においては、ゴミが有料化されている。そのためか道路に捨てる人が多く、観光地であるのに非常に汚れている現状である。自分の家はきれいにしているが、他のところは、どうでもいいといった自分勝手な人が多くなったことは非常にかなし。今の日本の現状をみると、新しいものを売ることに力を入れて、修理したり、リサイクルしたりすることに目を向けていない。商品は次ぎ次ぎと新しいものが出てくるが、修理を頼んでも品物がなく、結局新しい物を求めてしまう。消費者も考えなければならないが、企業においても自分の所で作ったものは最後まで責任をもってほしいと思う。(50代/女性/阿児町)

家電製品の不法投棄が多い。廃棄料金は絶対に販売価格に含むこと。そうでなければいつ返たっても不法投棄はなくなるし、結局税金で処理することになってしまう。(60代/男性/松阪市)

家庭内で減らす努力と平行して、家庭外、公園、道路へのごみのポイ捨てなどへの取り組みも重要と考えます。家庭内のごみが有料なら、ポイ捨てへの法的な罰金も必要。(50代/男性/桑名市)

私達の住宅地では、資源ごみ1ヶ月1回、可燃ごみ1週間2回、不燃ごみ1ヶ月3回収集されています。自治会を中心にごみ当番を作っています。資源ごみは1ステーションに4名、可・不燃ごみは1名で1週間交替で状況並びに処理等をノートに記載して次の当番に回していますが、最近はルール違反のごみ「分別できていない」又「町指定以外のごみ袋使用」等が数多くありましたが、だんだん少なくなってきています。

ごみゼロは無理でも少しずつでも少なくなることを願っております。(60代/男性/青山町)

家庭のごみを個人で減らすのは当然ですが、それ以前に買う時からその様にするべきだと思います。ごみを出さない様な包装の仕方とか販売の仕方を見るとか、家庭・販売者・生産者全ての人が考えなければ出来ない事だと思います。(50代/女性/名張市)

ごみを出さない商品作りを、又消費者も過剰な包装の品物を買わない心掛けが必要。又、リサイクル商品を利用する事も必要だと思います。コストがかかってリサイクル商品を作り、資源を大切にすることが大切だと思う。(50代/女性/三雲町)

3 経済活動

浪費をあおるような TV コマーシャル等、社会全体の意識を根底から変えないとどうにもならない。これからの社会を担う子ども達も浪費社会にどっぷりついている。(40代/男性/伊勢市)

特に身近で感じるムダなゴミは、生活に欠かせない食品類の容器、例えばしょうゆ、洗濯用の柔軟剤などが気になります。詰め替え用の商品も最近は増えましたが、まだまだ企業側も努力が必要だし、少々値段が高くなってもゴミを少なくするために消費者も負担すべきだと思います。(30代/女性/尾鷲市)

お店に並んでいる商品(食品関係)で、外包装と内包装と2重に商品が包装されていたりする。例えば、外側が紙箱で内側の袋包装を開けるというのは、実際ごみが増える。メーカーは商品を安全に売る考えがあるかもしれないが、もっと工夫してほしい。(20代以下/女性/津市)

各家庭において、ごみを減らす工夫や努力はとても大切だと思うが、消費者の立場で言えば、容器や包装材をもう少し簡易なものにする等の工夫をしてほしいと思う。(30代/男性/津市)

家庭から出るごみは資源別に分けているつもりですが、本来ならごみを出さない様にするのが一番だと思います。スーパー・店屋さんの包装、とても多く感じます。そちらの方の考え方をもう一度見直してほしいものです。(50代/女性/伊勢市)

スーパーマーケット等による商店が大型化し、家より距離的に遠いところに有ります。「普段着で、下駄履きで」といったところに店があれば買いためしなくても良くなり、買い物籠で少量買うことが出来、便利であると思います。(捨てることもなくなる)高齢化社会になりつつある現代とても必要だと思います。(津市)

設問にもありましたが、ごみを少しでも少なくするには昔の買い物の時等、今のようにパック式でなく計り売り、個体売り等をするか、販売方法を検討し直す事も必要かと思ひます。便利なだけが良いのではなく、自分達の考え方を見直すよう、どうすればそうなるかも考える必要があるように思ひます。拡大生産者責任、大賛成です。(60代/女性/松阪市)

どの商品にも、包装、ラップ etc、多すぎると思ひます。衛生面ではラップは必要ですが、二重にしかも底上げ。見た目が大事だとは思ひますが、度がすぎていると思う。きれいなものしか買わないという消費者にも問題があると思ひますが。(60代/女性/伊勢市)

私の市では今年より本格的に可燃ごみとプラと分別するに当たり、いかにプラスチックごみが多いかわかりました。食品等はトレーに盛り、ラップをかけて包装するといったやり方で、過剰包装だと思ひます。消費者も心掛けますが、もっと店側の方がごみゼロ意識を高めてもらいたいです。(60代/女性/桑名市)

企業が商品を作る段階で、消費者の手元にわたったとき、明らかにごみになると予想できるものが多すぎる。考えなければいけない事は、まず、ごみにならない商品作り。再生できるものなら責任を持って商品を回収するシステムを作るべきだ。ごみが出たからどうしようでは遅すぎる。(50代/女性/鳥羽市)

いろんな商品を購入するたびにむだな包装が多いと思ひます。必要なのは商品であって包装ではないので、もっと簡素な包装にするべきだと思ひます。(40代/男性/阿児町)

スーパーで野菜を買うと、ほとんどの物が袋に入っている。マヨネーズやケチャップも袋に入っている。まず、物を売る店、作っている企業が、ゴミを減らす努力をして欲しい。(40代/女性/南島町)

今一番多いプラスチック容器、製造元に問題があると思います。外袋の中に個包装、そして下に枠まで入っていますね。これって無くていいものではないでしょうか？(40代/女性/津市)

商品化する製造段階から、消費者である家庭でゴミとしてあつかわなくてもよい方法(対策)を検討いただきたい。ゴミの処理の有料化も負担が軽ければ取り組むべきと思う。(40代/男性/菰野町)

スーパー等、売り手側の包装とかをシンプルにすると考えてほしい。買ってきたものの、包装をゴミとして出すことが多いので、これを省略できれば、大分ゴミは減らせると思います。(-/-/)

勿論、消費者側も流されないで、考えて選ぶ買い方をしなければいけないと思いますが、生産過多で必然的にゴミを増やすような物作りの仕方を考え直してもらいたい。少し修理すれば使える、捨てるのにしのびない物があっても買い替えを勧めるような売り手側の考え方を、やめてもらいたいし、少しでも変えてほしいと思います。両者の歩み寄り、話し合いが必要だと思います。(60代/女性/津市)

ごみそのものを減らす様にすべきだと思います。昔に比べペットボトル、アルミ缶が増え、捨てられています。食品の包装も簡易にすべき。売る側も考えるべきだと思う。電化製品でも、直すより、買った方が安かったりするし、やはりむずかしい問題。真剣に取り組んでいかなければと思います。(40代/女性/津市)

むずかしい問題ではあるが、今まで言われてきたような過剰包装の禁止や、自前の買物袋の持参など、小さな事のつみかさねが大事だと思う。(40代/男性/鳥羽市)

私の家のごみはプラごみが一番多い様に思います。スーパーで買って来た物、殆ど”プラごみ”になってしまいます。いつも”もっと簡易包装でいいのに…”。”とったり、時には”袋はいりません。シールを貼って下さい。”と言ってます。もっとスーパー自体でのごみ減量化に取り組んでほしいです。家で使う物に過剰包装は必要ありません。スーパー自体がごみを出さない努力をして欲しいです。(30代/女性/桑名市)

ごみゼロ社会と言いますが、昔と違い今の社会では、物を一つとってもごみにつながる品ばかりです。ごみゼロ社会と言うには、ごみになる物を少なく、出さない事です。スーパーに行っても皆パック包装されたものばかりです。買物をするにも、品物を買って来るよりもごみを買って来るようなものです。まずはそのあたりから改善しなければならぬのではないだろうか…。(50代/女性/菰野町)

ごみ分別が面倒だと思う包装があります。リサイクル紙とプラスチックごみがくっついていてごみなど。紙なら紙、プラスチックならプラスチックの包装にしてもらったほうが分別する気にもなります。重要なのは中の商品です。ぱっと見たとき包装してあるものがきれいだとしても、捨てるものになります。企業が「見た目で見せたい」のもわかりますが、これからは企業からごみゼロ社会を創って行って欲しいです。消費者は面倒ながらも分別したり協力しています。(20代以下/女性/桑名市)

ペットボトルやビンなどのふたやキャップやラベルなどがはがしにくく分別しにくいので、メーカーが分別しやすいようにした商品を販売すべきだ。(70代以上/男性/四日市市)

スーパーなどで買い物すると必ず商品には箱や袋がついている。見た目もあるけど、その時点ですでに大量のごみを発生させている。過大な包装こそごみだと思う。なかなかごみゼロという社会は創ることができないと思う。ごみ袋の有料でも生ごみをいつまでも家の中で保管することも出来ず、必ず袋に余裕があるまま出している。小さめのごみ袋を出して欲しい。(20代以下/男性/桑名市)

昔みないに量り売りがあると良いと思います。しょうゆ、酒など、一升びんを持って行くと入れてくれる事や、弁当箱持参で肉、魚を入れてもらうなどする事で、食品トレイも少なくすむ。(30代/女性/阿見町)

資源ゴミの回収日には相変わらずペットボトル、パック詰め容器が多く、手軽さ優先の食生活の影響もある様です。そこで行政にお願いしたいのですが、ペットボトル、パック容器をある程度規格化してほしいと思います。形、大きさ等、決まっていればラベルを外したり、折り重ねたりしやすく、又、嵩ばることもなく、

住民ももっと協力しやすくなると思います。月一回の回収では、どこの家庭でも置き場所に困るので、いつでも持って行ける様、資源ゴミステーションを設置してほしいです。(50代/女性/松阪市)

消費者に対してごみ問題(分別など)を提示するだけでなく、生産者側、販売者側に対してもごみ問題に対しての意識の強化が必要ではないかと思います。お中元、お歳暮、通販などは特に過剰包装が目立つ様な気がします。現在ごみ問題が深刻になってきている中、まだまだ見た目重視の傾向があるのではないのでしょうか？もっとシンプルに…私が子供の頃の様(60～70年代の)それ以前の時代の原点に戻って考える点もある様な気がします。生活が便利になる程、ごみも多くなりますよね。(40代/女性/菰野町)

以前電化製品を修理に出したら、部品を今製造していないので修理出来ないと言われた。リサイクルばかりでなくリユースにより力を入れては？部品を足したり換えたりするだけでバージョンアップできるようにすればいいと思う。傘も昔は修理して使っていたが、修理屋もなく安くなった事もあり新しく買うようになった。衣類にしても、おむつだってそう。古い物が恥ずかしいと思う使い捨てを何とかするべきだと思う。(30代/女性/尾鷲市)

安易に新品を出さないでほしい。子供に学校で環境の事、自然、命の大切さなどの教育を熱心にしてほしい。全ての製品のリサイクルを可能に。使い捨ての時代は終わり地域全体で。(30代/女性/菰野町)

簡易包装などにより、ゴミ発生を少なくすることが分別手間などを考えるも最も重要だと思います。しかし、これらの方法には「貧乏くささ」が常に付きまとい一般市民が取り組む上での障害になっているような気がします。「貧乏くさくない」ゴミ減量化の方法があれば、大ヒットするのではないのでしょうか？(20代以下/男性/菰野町)

家電製品等の修理代が高く、それに反して家電品の価格が下がっているため、小さな家電品(ポット・蛍光灯・トースター等)なら、迷わず新品を購入してしまうので、修理代をもう少し安くしていただきたい。昨年、扇風機の羽根が割れたので、部品で羽根だけの購入をお店にお願いしたところ、お店の方が、このサイズなら新規購入のほうがお得ですよと言われました。お店の方がもう少し修理や部品購入をすすめるような行動をしていただきたいです。(40代/女性/桑名市)

電気商品がこわれて修理に出しても新しい品物を買った方が得などと言って新品を買ってしまいます。メーカーもどんどん修理をします(という)様なサービスをしてもらいたい。(-/-/)

私の家庭から排出するゴミの多く(自分の責任以外でたまるもの)は、雑紙関係である(他はゴミ分別で対応している)。業者(案内、チラシ、広告、通販等)からの強制的に送付されてくるものが多い。対処方法を考えて下さい。”我が家は広告は一切辞退出来る”ことが出来れば、ゴミは大幅に減少すると思います。(50代/男性/青山町)

包装紙、広告チラシが多すぎる。新聞本紙よりチラシの方が多い。(70代以上/男性/鳥羽市)

新聞広告の多さに閉口しています。ひとつの新聞に入れる広告の枚数を制限したり、広告ゼロの日があってもいいなと思っています。白紙にせず、組み合わせれば枚数は減ると思います。(50代/女性/伊勢市)

新聞のチラシが毎日多いのにびっくり。紙がもったいない様に思う。(70代以上/女性/南島町)

家庭ごみは分別するようにして、それが大分定着してきていますが、事業系のごみは分別しておいても、持っていくときには全部同じパッカー車の中に放り込んでいます。事業系のごみ分別をもっと厳しくしてもらわないと、分別している意味がないと思います。(40代/女性/青山町)

簡易包装の推進。ファーストフード店の店内消費分の皿、カップの利用、推進。(40代/男性/菰野町)

市町村の収集ごみとして出さずに、料金を支払って業者の人が収集していく商店とかがありますが、そういうのはごみの分別がされていなくてもよいと聞きました。しかし最終、処理場へ持っていかれるのは同じ場所なのにお金さえ支払えば分別しなくてもいいと言うのはおかしいと思います。どういう立場であろうと

市町村で決められたことは全員に徹底すべきだと思います。(40代/女性/伊勢市)

特別に発生したごみ(雑草等)の処理の方法、直接処理場へ持っていくなどが、なじみがなく利用しにくい。事業所ごみを一般ごみに出している所が多い(当社は業者に頼んでますが、月7~8万円かかってます)。(40代/男性/鈴鹿市)

4 環境学習、広報・啓発

保育園、幼稚園、小中学校など、小さい時からゴミの分別やリサイクルについて関心のもてる授業などを行なう。お年寄りも分別がわからない様なので地域で分別のしかた等親切に教えていく。(40代/女性/四日市市)

消費者だけが参加するのではなく商品を作っている企業、コンビニ、店舗など、多くの人たちで創らないと限界があると思います。主婦の立場として買い物をする際、分別しやすい商品を探してしまいます。(分別作業は手間のかかるものもあるので)このままごみが増えていくとどうなるだろうといつも思っていました。が「ごみゼロ社会」を作るには小さい子どもの頃からの親の姿も大切。なんでも責任は家庭、とまでは言い過ぎかもしれませんが、子どもたちにも教育の中で「自分が出したごみの行く先」がどうなるのかを見せ、大人が考え、行動することが大切だと思います。(40代/女性/菰野町)

ごみゼロ対策は、ごみそのものの発生を減らすことにもっと知恵を絞るべきで、スーパーから買物して帰って来た商品の包装を解くと、買って来た以上のボリュームのごみというか廃棄物が出る。この異常な状況を、もっと真剣に考えるべきだ。過剰な包装、過大な広告物、こんな社会でゴミゼロの意識が芽生えるはずもなく、まずは根本的な物を大切にするという教育というか意識付けからじっくりと取り組むべきだ。(50代/男性/青山町)

色々な物が豊富になってきたので、子供達もたくさんの品を買い与えられ、失っても物価が安いせいもあるのか、新しい品をすぐ買う。もっと我慢する事も教えるとよい。スーパー等も昔の様に紙などで包み、トレーやパックを少なくするとよいと思う。(60代/女性/津市)

これからの社会を担う子どもたちへの指導を学校教育を始め、家庭でも行っていくことが大切かと思う。いい大人が平気でゴミを捨てる姿は、見ていて、この人の教養と生活環境を疑います。悲しい事です。大人ひとり一人がもっと自覚を持ち住みよい環境づくりがしていける社会を望みます。(30代/女性/鳥羽市)

人間が生活してゆくには、ごみゼロ社会は不可能です。ただ、通念としては限りなくゼロに近づける努力は必要です。一人一人のモラルの徹底とか、小さい時からの教育によって、各自の取り組み方が変わってくるのでは、このままだといけないという危機感がまだまだ少な過ぎるのでは。(40代/男性/名張市)

ごみ問題は生活に密着しています。過剰包装をなくすように各販売会社に働きかけることも重要だし、私達の意識改革するための講習や働きかけをプランすべきです。地球環境の温暖化は深刻だし不安になります。私達の子孫のことも考えて資源の無駄遣いはやめなければならない。物あまりの今の日本の現状を当たり前とは思わず、世界の貧困な人々の生活を思えば、贅沢を慎む気持ちを持つことが出来るように、幼児の頃からの教育、育児が重要だと思います。(50代/女性/鈴鹿市)

長い目でみて、学校、家庭などで小さな子供のころからのごみについての教育をしっかりする。楽しく覚えていける様に！分別などもしつけの中に取り入れて親が覚えさせていけたらと思う。(50代/女性/津市)

私たちの町内に限って言えば各組当番制で紙、プラ、ビンの収集日には立会いしてありましてその時汚れたプラや紙、ビンなどきれいに洗ってくる人もいますが、そうでない人もいて困ります。注意することで人間関係がおかしくなることも多々ありこの様なことは、自治体の広報などで充分指導して欲しいと思っています。(70代以上/男性/鳥羽市)

ごみゼロ社会を実現する為に、もっと県民にアピールすべく、努力をしていただきたい。難しい横文字ばかり使わないで、老人にも子供達にも判り易い単語を使って下さい。(60代/男性/名張市)

資源ごみ回収は地域で進んできてはいるが、中身が入ったままや、汚れたままのごみを見かける。一人一人の意識がまだ薄いのが原因ではないでしょうか。広報やリサイクルセンター内での掲示を増やして理解してもらおうとよいのではないのでしょうか。(30代/女性/三雲町)

リデュースとか英語での言葉が多すぎ、分りにくいと思います。もっと日本語で誰でも分かる言葉を使えばと思います。(50代/女性/鳥羽市)

ごみ問題は身近なことなのに、けっこう無関心な人が多い。もっと行政の方、マスメディアなども積極的に取り組み啓発を図る必要があると思う。分別などは企業など品物を売る側にも更に努力してもらって再利用・再生利用をしやすい型にするなど工夫してほしい。次の世代に何もかもしわ寄せがいく社会では困る。(50代/男性/青山町)

5 分別・収集

以前からゴミの分別などはある程度自分なりにやって来ましたが、最近、自治会が力を入れて取り組む様になり、一層そういう気持ちも強くなり、微力ながら協力したいと思っています。(50代/女性/四日市市)

分別を始める前は大変だと思いましたが、それぞれに分別箱を作ったら毎日一日分ずつ入れると数分もかからなかったので苦にならないですよ。できるだけトレイや包装されてないものを買っています。(40代/女性/熊野市)

分別をしなくても処理できる方法を考えてほしいと思います。たとえば、何でも燃やせるような焼却炉を作るとか。まとめてごみを集めて、機械で分別できるようなところを作っていただきたいと思います。(40代/女性/鳥羽市)

ごみの分類はのみこんでしまえば楽なものです。(70代以上/女性/伊勢市)

分別がごちゃごちゃしていてわかりにくいのでわかりやすく、簡単に出来る方法があればよいと思います。(60代/女性/松阪市)

自治会でゴミ減量推進委員を4年間やりました。当初ゴミの分別に色々な意見がありましたが、会合の度にお話しし、理解していただき今では当地区ではゴミの分別には何の問題もなくなりました。要は皆で話し合うことです。(70代以上/男性/伊勢市)

ごみの分別も、慣れてしまえば、さほど苦にはなりません。でも、企業の側にも、もっと分別をしやすくする努力をしてほしいと思います。最近は調味料等のピンのキャップなど、はがしやすくできている商品もありますが、まだまだもっと改良してほしいと思うので、行政の側から要望してほしいと思います。例えば、500mlのペットボトル等のラベルをはがすための点々はありますが、ほとんど役に立っていません。実用的にしてほしいです。(30代/女性/伊勢市)

分別が難しいものもあるし、地域によってあまり分別しなくてもいい所もあるそうなので頑張っても意味があるのかと思う時もあります。全国统一して自分たちのやっていることに意義が見出せるようになるといいのですが...。(40代/女性/四日市市)

可燃性ゴミの中にも、もっと時間をかけて分類すれば、資源となるものが含まれている様に思う。この点をもう少し考えれば(時間をかければ)更に資源として活用出来るものが得られ、通常のゴミの日に出されるものが減るのではないのでしょうか。(70代以上/男性/松阪市)

ゴミの分別は面倒だけど、限りある資源なので、一人一人が責任を持って、やるべきだと思う。家では、子供にも分別はさせています。(30代/女性/三雲町)

ごみの分別がわかりにくい時にごみごとの項目で引けるごみの出し方テキストの様なものがあればわかりやすい。例として 卵パック プラスチック資源ごみ 資源ごみの出し方 出す曜日など 電池 回収箱 どこにあるかなど(20代以下/女性/松阪市)

同じ家庭用ごみなのに市町村によって分別の仕方が違うのはいかなものでしょうか。県で統一した分別方法を指導して欲しい。不法投棄には厳重なる罰則を与えること。(60代/女性/-)

菰野町の町民です。月一度資源物回収の日があります。ビン、缶、ペットボトル、プラスチックなどラベルを取り、中、外をきれいに洗い何十種類に分けて、ちょっと厳しいかなと思いますが、皆守って出しております。どうして他の市町村は出来ないのかなと思います。やれば出来ます。ぜひやってもらいたい。(60代/男性/菰野町)

家庭から出るごみについてはすごく気をつけ分別したりして、ごみがまた資源となって有効利用できることにやりがいがあると思っています。が家の横には田んぼがあり、かん、犬のふん、ふんのあとのティッシュ、タバコ、タバコの空箱、コンビニで買った商品を食べた後の袋などいっぱい捨てられています。本当にそれらを拾いながら悲しくなることがあります。大人のマナーの悪さにあきれるたびに、子どもたちにはしっかりした教育が小さいうちから必要だと思います。(40代/女性/松阪市)

私の住む町では資源ごみの分別で例えばビンのごみは紙のラベルをきちんとはがさなくてはなりません。かなりはがしづらい物もあり、かなり労力が必要と思いつつも時間かけても分別している。大都市のように単に燃えるごみ、燃えないごみのみの簡単な分別地域もあり、同じ国民でありながら住むところにより違いすぎる様に思います。全国统一してしっかり分別していく制度が確立できれば国民の意識ももっと変わるのではないかと思います。(30代/男性/菰野町)

不燃物を出すとき、カゴの中へ放り込んでぐしゃぐしゃにして、後でリサイクルするのでしょうかカゴの中へ入れる少し前に並べてもらえればこの不燃物、持ち帰って家で使いたいと思った事が多々あります。カゴの中に無造作に放り込んである為、持ち帰れなかったことがある人も少なくないと思います。(30代/男性/三雲町)

住民の協力、努力も必要と考えますが、各企業側、店側も同じように包装の仕方、パック詰め方法など、なるべく、家庭のゴミを増やさないような、企業努力も考えていただきたいと思います。また、1ヶ月1度のリサイクルの日までゴミをためておくことができません。もっといろいろなお店で回収をしていただけたらと思います。老人のお宅では、ゴミをリサイクルの日を持っていけない方もおられます。そのような方に対しての回収方法を分りやすくして下さい。みなさん不安に思っている方がみえます。(30代/女性/菰野町)

曜日、日を指定した分別収集では都合が悪いと捨てられない(収集に出せない)場合があるので、地域ごとにいつでも収集可能なリサイクルステーションを作って収集する。(20代以下/男性/鳥羽市)

最終的にはプライバシーの保護について危惧する意見も出るでしょうが、それは見当違い。『ごみ袋に固有の番号若しくは名前を入れて』分別して出す。現地点では分別もせず知らぬ顔して放り出したものの勝ちでは...?(60代/女性/津市)

地域によって異なるかもわかりませんが、分別ごみの集積所があふれている事が多く、困る事があります。出す人がごみを少なくする努力が必要だと思いますが回数が少ないように思います。一部地域には、いつでも出せる所があると聞きます。家族の多い少ないで、ずいぶん異なると思います。そして老人のみの家庭や一人住まいの人にとっては分別することが困難な場合があると思われれます。近所の手助け、自治会の手助けやボランティアが必要なケースがあると思います。(40代/男性/伊勢市)

とにかく毎日家に入って来る紙類が多くて...。もっと多く回収ルートを作っていただけたらと思う。1ヶ月も家に置いておくのがいやで、つい可燃ゴミに出してしまうことがあります。(50代/女性/青山町)

資源ゴミの回収日を多くしてほしい。回収場所が遠いことも分別した物を持って行く負担が多いので困る。

長く続けていけるように毎日の生活の中にとけこめる回収を目指していただきたい。(30代/女性/松阪市)
私の区では可燃及び不燃ごみを出すに当たり平成14年1月から袋に名前を書いて出している。できるだけ資源ごみが入らないように思い実施している。(-/ /名張市)

資源ごみの収集日を多くしてほしい。今は資源ごみの方が多いのに。収集日まで置いておく場所がなく、ついプラ袋・卵のパック・牛乳パックなどは可燃ごみに捨ててしまう。(20代以下/男性/三雲町)

全てにおいてリサイクルは大賛成です。分別ごみも面倒だと思いつつも、リサイクルする為に頑張っています。ただ、回収日が月に1回、2回と少ないので、その間集めて置く場所があるので、それだけがちょっと・・・という感じです。ごみゼロの為に頑張ります。(40代/女性/熊野市)

ゴミ収集(不燃ゴミ・可燃ゴミに関してのみ)車に関して、各自門の前(家の前)に出せるようにしてほしい。収集する際、各自が自覚して出していれば各家庭ごとの責任感も出てくると思います。(まちがった出し方をしていけばその家庭のゴミは収集しない)現代社会はゴミに対する意識が低下しているのでゴミゼロ社会運動の意義等をもっと促してほしい。生ゴミ用回収システムを作してほしい。(40代/女性/青山町)

可燃物より不燃のごみの方が多くなっている今、ごみ回収回数は不燃の方を多くしてほしい。過剰包装をやめてほしい。(50代/男性/名張市)

ごみ集積所に出すと、ルールを守らなかったり、分からない出し方をする事になるので、回収車が一軒ずつ回り、ルール通り出してないごみは持っていかない様にすれば、分別の意識が高くなると思う。(30代/女性/四日市市)

地区の不燃物収集は月一回の朝一時間のみで、町は月二回9時～16時です。子供が小さいので、町のリサイクルセンターまで行きますが、遠いですし、もっとみんなが気軽に捨てることのできる方法を考えてほしい。スーパーなどが回収してくれているのもとても便利。買い物ついでにいつでも捨てられます。家にためておかずすみずみ。トレイ、ペットボトル、アルミ缶、牛乳パックの回収がほとんどですが、空ビンや蛍光灯、電池など回収の種類を増やしていただきたいです。スーパーでの回収をもっと広げていただくと、今まで以上に助かります。(30代/女性/三雲町)

いつでも資源ごみが分別して出せる場所があればいいなと思います。(30代/女性/三雲町)

私の住んでいる町では、缶・びん・紙類の分別は月1回の朝だけです。出来ればいつでも出せる分別ステーションを設置して貰えるととてもありがたいです。(30代/女性/尾鷲市)

資源ごみを回収する施設が市の中に数多くあれば、市民は最大限に利用すると思う。(50代/男性/桑名市)

お店によって火・水と2日間プラスチック類と紙類の回収をしています。とても助かっているのですが、出来ればもう1日増やすか、火と金のように日にちをずらしていただければ、可燃ごみは減ると思います。あと、役場とかコミュニティーセンターにびんとペットボトルの集積所を作ってほしい。宜しくお願いします。(30代/女性/菰野町)

野菜くず等を狭い庭に埋めてみた事もありますが、なかなか土には返らず、場所もなくなり、リタイア。洗剤、シャンプーなど詰換用を買うようにしているが、特売品などは本体共の物の方が多く、つい要らない本体を買ってしまう。ごみを減らしたいとはいつも思っていますが、月2回収のプラスチックゴミの多さには驚きと共にうんざりしてしまいます。事業者の包装等をもっと簡素化して欲しいと思います。桑名市の資源ゴミ、スーパーの駐車場で回収していただけるのは本当にありがたいです。地域のステーションは朝時間が短くて忙しいので、分別分別と気にはかけています。面倒ですが、毎日の暮らしの一部にしなくてはと家族みんなが思っています。(40代/女性/桑名市)

トレーなどの回収をしていただきたい。ペットボトルもスーパーなどで手が届く出来れば助かります。スーパーさんが商品を売るならば、入れ物を回収する必要はありえると思います。(-/ /)

地域・学校の催す廃品回収は PTA 中心にリサイクル運動として定着し、回収による費用もまともれば相当の費用が還元できるし、ありがたいことだ。もっと推進してやって欲しい。(60 代/男性/桑名市)

町の中にいつでも分別処理できるステーションを作ると良いと思う(いつもきれいに維持された)。家の中に置いておくのは結構大変です。今、公園とかが分別の場となっていますが、見た目にはあまり美しいとは言えない状況であると思います。やはり、大型スーパーなどでも収集する仕組みづくりが必要ではないでしょうか。それと、高齢化社会を迎えて、必要に応じた訪問収集も今後必要になると考えます。便利な世の中になった反面、循環型社会のシステムの実現を望みます。(30 代/男性/伊勢市)

5. アンケート調査原票

「ごみゼロ社会」をめざす県民アンケート調査

○はじめに

「環境の世紀」といわれる 21 世紀になり 4 年半が経過しました。この間、暮らしのさまざまな場面で「環境」や「エコ」に触れる機会が多くなってきました。なかでも、増え続けるごみとその処理は、地球温暖化や資源の枯渇など、私たちの生活様式や経済活動に大きな問題を投げかけています。

三重県では現在、ごみを出さない暮らし方や事業活動によってごみを減らし、出されたごみは資源としてできるだけ利用する「ごみゼロ社会」を目指し、県民参画のもと「ごみゼロ社会実現プラン」を策定しています。

この調査は、将来あるべき「ごみゼロ社会」の姿や、実現に向けた具体的な施策を検討する際の基礎資料とするため、県民のみなさんに普段の取り組みや考えをお聴きするものです。

○調査対象

このアンケート調査は、地域特性などを考慮して選んだ県内 15 市町村から 500 名ずつ、合計 7,500 名の方を無作為に選びお送りしています。

○回答方法

回答はこの調査票に直接記入してください。

当てはまる番号を 1 つ選ぶもの、複数選ぶもの、文章で記入するものなどいろいろな問いがあります。設問をよく読んでお答えください。

○回答の返送方法

同封の返信用封筒を使い、切手を貼らずまた名前を書かずに、平成 16 年 9 月 24 日（金）までに投函ください。

○プライバシー

返送いただいた調査票はコンピュータを使って集計し、その結果を基礎資料として活用することになります。したがって、記入いただいた調査票をそのまま活用したり公表することは一切ありません。また、集計の段階で個人を特定することはありません。

なお、返信用封筒の郵便番号下に印刷してある番号、あるいは返送先下に印刷してあるバーコードはすべて、郵便局が返送先を判断する時に用いるもので、個人を特定するものではありません。

○問合せ先

[調査内容について]

株式会社循環社会研究所 担当：勝畑（かつはた）、小山 電話 03-5363-0183

[三重県担当部署]

三重県環境森林部ごみゼロ推進室 電話 059-224-3126



◎ 暮らしの中での関心ごとや考えられる行動についてお聞きします。

問1 次のそれぞれの考えについてあなたはどの程度あてはまりますか？（○は1つずつ）

(1) 家の中を見回してみると、あまり必要ないものがたくさんあると思う

- | | | | |
|---|------------|---|-------------|
| 1 | とてもそう思う | 2 | 少しそう思う |
| 3 | あまりそうは思わない | 4 | まったくそうは思わない |

(2) ものを捨てる時、つい「もったいない」と思ってしまう

- | | | | |
|---|------------|---|-------------|
| 1 | とてもそう思う | 2 | 少しそう思う |
| 3 | あまりそうは思わない | 4 | まったくそうは思わない |

(3) 商品についている容器や包装材は、もっと少なくていいと思う

- | | | | |
|---|------------|---|-------------|
| 1 | とてもそう思う | 2 | 少しそう思う |
| 3 | あまりそうは思わない | 4 | まったくそうは思わない |

(4) レンタル製品など多くの人が使いまわすものでも、特に抵抗感はない

- | | | | |
|---|------------|---|-------------|
| 1 | とてもそう思う | 2 | 少しそう思う |
| 3 | あまりそうは思わない | 4 | まったくそうは思わない |

問2 次のそれぞれの場合についてあなたはどの程度あてはまりますか？（○は1つずつ）

(1) 特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまう

- | | | | |
|---|------------|---|-------------|
| 1 | よく当てはまる | 2 | 少し当てはまる |
| 3 | あまり当てはまらない | 4 | まったく当てはまらない |

(2) 買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い替える

- | | | | |
|---|------------|---|-------------|
| 1 | よく当てはまる | 2 | 少し当てはまる |
| 3 | あまり当てはまらない | 4 | まったく当てはまらない |

(3) お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ

- | | | | |
|---|------------|---|-------------|
| 1 | よく当てはまる | 2 | 少し当てはまる |
| 3 | あまり当てはまらない | 4 | まったく当てはまらない |

(4) 一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する

- | | | | |
|---|------------|---|-------------|
| 1 | よく当てはまる | 2 | 少し当てはまる |
| 3 | あまり当てはまらない | 4 | まったく当てはまらない |

問3 食べ物のごみについてお聞きします。(〇は1つずつ)

(1) 使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか？

- | | |
|---------|----------|
| 1 よくある | 2 たまにある |
| 3 あまりない | 4 ほとんどない |

(2) 食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか？

- | | |
|---------|----------|
| 1 よくある | 2 たまにある |
| 3 あまりない | 4 ほとんどない |

問4 次のうち、だいたい意味がわかる言葉はどれですか？(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1 循環型社会 | 2 ごみゼロ社会 |
| 3 リデュース | 4 リユース |
| 5 リサイクル | 6 3R(さんアール、スリーアール) |
| 7 デポジット | 8 エコライフ |
| 9 スローライフ | 10 グリーンコンシューマ |
| 11 容器包装リサイクル法 | 12 家電リサイクル法 |
| 13 排出者責任 | 14 拡大生産者責任 |
| 15 どれも知らない | |

問5 使い捨て商品が身の回りにあふれ、その結果としてごみが大量に捨てられる現代の社会を、あなたはどのように感じていますか？(もっとも考えの近いもの1つに〇)

- | |
|--|
| 1 どちらかというと、便利で暮らしやすく、特に疑問は感じていない |
| 2 どちらかというと、将来のことを考えると、「このままでいいのか」という疑問を感じる |
| 3 よくわからない |

問6 ごみは手間やコストをかけてでも、できるだけ資源として有効利用すべきだと思いますか？

(〇は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 とてもそう思う | 2 少しそう思う |
| 3 あまりそうは思わない | 4 まったくそうは思わない |



◎ 現在行っているごみ減量やリサイクルの取り組みについてお聞きします。

問7 ごみを減らす取り組みの中でどれが大切だと思いますか？
(それぞれの枠内に番号を記入)

- 1 ごみそのものの発生を減らすこと
- 2 まだ使える製品や容器などを、くり返し使うこと
- 3 ごみではなく資源として分別し、再び原材料として有効利用すること

○をつけず、右のらんに番号を記入してください。

最も大切だと思う⇒	
次に大切だと思う⇒	

問8 あなたのご家庭では、次のうち、資源ごみとして市町村の収集に出している品目はどれですか？(当てはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------|---------|--------------|
| 1 新聞 | 2 雑誌 | 3 牛乳パック |
| 4 古布や衣類 | 5 食品トレイ | 6 ペットボトル |
| 7 アルミ缶 | 8 スチール缶 | 9 空きびん |
| 10 蛍光管 | 11 電池類 | 12 当てはまるものなし |

※市町村によっては資源ごみとして扱っていない品目が含まれています。

問9 あなたのご家庭では、次のうち、お店に持って行って回収してもらっている品目はどれですか？(当てはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------|---------|--------------|
| 1 新聞 | 2 雑誌 | 3 牛乳パック |
| 4 古布や衣類 | 5 食品トレイ | 6 ペットボトル |
| 7 アルミ缶 | 8 スチール缶 | 9 空きびん |
| 10 蛍光管 | 11 電池類 | 12 当てはまるものなし |

※市町村によっては店頭で回収していない品目が含まれています。

問10 あなたのご家庭では、次のうち、地域で行われる廃品回収(集団回収)に出している品目はどれですか？(当てはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------|---------|--------------|
| 1 新聞 | 2 雑誌 | 3 牛乳パック |
| 4 古布や衣類 | 5 食品トレイ | 6 ペットボトル |
| 7 アルミ缶 | 8 スチール缶 | 9 空きびん |
| 10 蛍光管 | 11 電池類 | 12 当てはまるものなし |

※市町村によっては廃品回収されていない品目が含まれています。

問11 ごみを分別するのに、あなたは1日あたりおおよそどのくらいの時間をかけていると思いますか？(○は1つ)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1 1時間以上 | 2 30分～1時間くらい |
| 3 10分～30分くらい | 4 数分程度 |
| 5 ほとんど時間はかけていない | |

問12 次のうち、あなたのご家庭でやっていることはどれですか？

(当てはまるものすべてに○)

-
- 1 台所ごみを、そのまま庭や畑に埋めている
 - 2 台所ごみを、市町村の助成を受けて購入した堆肥化容器や生ごみ処理機で処理している
 - 3 台所ごみを、その他の方法で堆肥化などしている
 - 4 紙くずなどを庭や畑で焼却している
 - 5 これらいずれもやっていない

問13 あなたのご家庭では、ごみを出すにあたり、どのような問題がありますか？(○は3つまで)

-
- 1 分別ルールが複雑でわかりにくい
 - 2 市町村毎にルールが異なり覚えにくい
 - 3 次の収集日までごみを保管しておく場所がない
 - 4 収集日時が限られている
 - 5 ごみ集積所(ステーション)まで遠い
 - 6 洗ったり束ねたり手間がかかる
 - 7 その他 (具体的に)

◎ 今後の方策に対する意向についてお聞きします。

問14 今後、あなたが、暮らしの工夫によって「家庭から出る量を減らせる」と思えるものはどれですか？(○は当てはまるものすべて)

-
- | | | |
|--------------|----------------|------------|
| 1 調理くず | 2 食べ残し | 3 賞味期限切れ食品 |
| 4 紙容器、紙袋や包装紙 | 5 新聞 | 6 チラシ |
| 7 雑誌 | 8 段ボール | 9 紙パック |
| 10 古着類 | 11 ペットボトル | 12 レジ袋 |
| 13 プラスチック容器 | 14 びん | 15 缶 |
| 16 粗大ごみ | 17 その他 (具体的に) | |

問15 ごみに関する情報を、あなたはどのような方法で手に入れていますか？(○は3つまで)

-
- | | |
|------------------------|------------------|
| 1 市町村の広報や分別マニュアルを通じて | 2 市町村のホームページを通じて |
| 3 公共施設などでのポスターやチラシを通じて | 4 地域の回覧板や掲示物を通じて |
| 5 防災無線や広報スピーカーで | 6 住民説明会を通じて |
| 7 新聞などマスコミを通じて | |
| 8 その他 (具体的に) | |

問16 仮に、いつも買い物をするお店で、「レジ袋は1枚10円です」といわれたとします。次回の買い物から、あなたの行動はどう変わるとおもいますか？（○は1つ）

- 1 少しらいお店が遠くても、ただでレジ袋がもらえる別のお店に足を運ぶと思う
- 2 少しらいめんどうでも、買い物袋を持参するなどできるだけレジ袋を買わなくて済む工夫をして、同じお店で買い物をすると思う
- 3 1枚10円くらいならレジ袋を買って、これまでのお店で買い物をする

※ ごみの有料化についておたずねします。
増え続けるごみを減らすため、ごみ(可燃ごみ)の排出に料金を課す市町村が増えています。

問17 税金を使ってごみ処理を行うことについてどう思いますか。（○は1つ）

- 1 ごみ処理は公共サービスなので、今のまま税金で処理するのがよい
- 2 最低限のごみ処理は税金で行い、それ以上のごみ処理は量に応じ出す人が負担するのがよい。
- 3 ごみ処理費用はごみの量に応じて出す人が負担するしくみとすることで、これまでごみ処理に使っていた税金を福祉や教育などにまわすのがよい
- 4 その他（具体的に ）
- 5 よくわからない

問18 出したごみの量に応じて、多く出した者が多く負担するごみの有料化についてどう思いますか？（○は1つ）

- 1 賛成
- 2 どちらかという賛成
- 3 どちらかという反対
- 4 反対

問19 ごみ有料化を検討する場合、どのようなことを重視すべきだと思えますか？（○は特に重要と思うこと3つまで）

- 1 ごみを多く出す人ほどたくさん支払う公平なしくみとすること
- 2 家計への負担が少ない料金とすること
- 3 ごみ減量に効果があるよう、ごみを出すたびにある程度の負担が感じられる料金とすること
- 4 一人ひとりが取り組めるごみ減量メニューを配布すること
- 5 有料化によって得られた成果をきちんと説明すること
- 6 ごみにならない製品づくり、商品販売を働きかけること
- 7 ルール違反(不法投棄など)を許さないこと
- 8 有料化だけでなく、他のごみを減らすための方法を併せて検討すること
- 9 有料化により減ったごみ処理分の税金を、他の用途(福祉や教育等)に使うことを検討すること
- 10 その他（具体的に ）



※ ごみ処理を有料化した市町村では、料金を「指定のごみ袋」を購入するという形で支払うことが多く、「指定のごみ袋」は普通のごみ袋に比べて値段が高くなっています。

問20 有料化する場合、その料金としていくらまでなら受け入れられますか？（〇は1つ）

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1 ごみ袋大(45リットル)が1袋10円まで | 2 ごみ袋大が1袋50円程度 |
| 3 ごみ袋大が1袋100円程度 | 4 ごみ袋大が1袋200円程度 |
| 5 それ以上でもいい | |

問21 あなたの家の近くに中古の家電製品や家具を扱うお店（リサイクルショップ）ができたとします。この店がどんな店だったら、あなたは足を運んでみようと思いますか？

（〇は3つまで）

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 店舗がきれい、明るい | 2 取り扱っている商品がきれい |
| 3 商品の品ぞろえがある | 4 商品が探しやすい |
| 5 品質など信頼できる | 6 販売金額は安く、買取金額は高め |
| 7 その他（具体的に | |
| 8 どんな店でも足は運ばないと思う | |

問22 あなたのご家庭から出る可燃ごみに限っていえば、努力によりどれだけ減らせると思いますか？（〇は1つ）

- | | |
|-----------|--------------|
| 1 10%未満 | 2 10%～30% |
| 3 30%～50% | 4 50%～80% |
| 5 80%以上 | 6 これ以上は減らせない |

◎ 「ごみゼロ社会実現プラン」作りへの県民参加についてお聞きます

※ 県では現在、暮らしや事業活動のあり方を見直し、ごみの出ない、また出されたごみはできるだけ資源として利用される「ごみゼロ社会」を目指して、「ごみゼロ社会実現プラン」を作っています。

問23 「ごみゼロ社会実現プラン」作りへの県民参加について、あなたの意見をお聞きます。（〇は1つずつ）

(1) プラン作りには、できるだけ多くの県民が参加することが必要だと思いますか？

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 とてもそう思う | 2 少しそう思う |
| 3 あまりそうは思わない | 4 まったくそうは思わない |

(2) プラン作りに県民が参加すれば、県民の要望や意見を反映できると思いますか？

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 とてもそう思う | 2 少しそう思う |
| 3 あまりそうは思わない | 4 まったくそうは思わない |

(3) プラン作りに県民が参加したほうが、ごみ減量に県民の協力が得られやすいと思いますか？

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 とてもそう思う | 2 少しそう思う |
| 3 あまりそうは思わない | 4 まったくそうは思わない |

(4) プラン作りに県民が参加すれば、実行しやすいごみ減量のルールが作れると思いますか？

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 とてもそう思う | 2 少しそう思う |
| 3 あまりそうは思わない | 4 まったくそうは思わない |

(5) プラン作りに県民が参加すれば、みんなが納得できるごみ減量のルールが作れると思いますか？

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 とてもそう思う | 2 少しそう思う |
| 3 あまりそうは思わない | 4 まったくそうは思わない |

問24 あなたご自身は「ごみゼロ社会実現プラン」に関する県民参加の催しに参加したいと思いますか？（○は当てはまるものすべて）

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1 ごみゼロの座談会に参加したい | 2 自分の意見をFaxなどで県に寄せたい |
| 3 ごみゼロの講演会に参加したい | 4 プランに関する情報を広報などで読みたい |
| 5 アンケートなどに協力したい | 6 プラン策定委員会などを傍聴したい |
| 7 その他(具体的に |) |
| 8 いずれにも参加したいとは思わない | |

◎ あなた自身や世帯についてお聞きします。

問25 いっしょに住んでいる家族の人数は？（○は1つ）

- | | | |
|------|--------|------|
| 1 1人 | 2 2人 | 3 3人 |
| 4 4人 | 5 5人以上 | |

問26 あなたの年齢は？（○は1つ）

- | | | |
|---------|-------|---------|
| 1 20代以下 | 2 30代 | 3 40代 |
| 4 50代 | 5 60代 | 6 70代以上 |

問27 性別は？（○は1つ）

- | | |
|------|------|
| 1 女性 | 2 男性 |
|------|------|

問28 あなたのお仕事は？（〇は1つ）

- | | | |
|-----------|-------------|---------|
| 1 会社員・公務員 | 2 パート・アルバイト | 3 農林水産業 |
| 4 自営業 | 5 家事・家事手伝い | 6 学生 |
| 7 無職 | 8 その他 | |

問29 お住まいの市町村は？（〇は1つ）

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1 津市 | 2 四日市市 | 3 伊勢市 |
| 4 松阪市 | 5 桑名市 | 6 鈴鹿市 |
| 7 名張市 | 8 尾鷲市 | 9 鳥羽市 |
| 10 熊野市 | 11 菰野町 | 12 三雲町 |
| 13 南島町 | 14 阿見町 | 15 青山町 |

問30 お住まいの形態は？（〇は1つ）

- | | |
|-----------|--------------------|
| 1 戸建住宅 | 2 ワンルームのマンションやアパート |
| 3 学校や会社の寮 | 4 その他のマンションやアパート |
| 5 その他 | |

問31 お住まいの周辺の様子は？（〇は1つ）

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1 住宅地 | 2 住宅とお店や工場などが混在している地域 |
| 3 住宅が点在する農山漁村 | 4 その他 |

問32 次のうち、あなたの家庭に当てはまることはありますか？（〇は当てはまるものすべて）

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 夫婦共働き | 2 就学前の乳幼児がいる |
| 3 小中学生がいる | 4 家族は全員60歳以上 |
| 5 いずれにもあてはまらない | |

問33 あなたの住んでいる地域では、自治会や子ども会などの地域活動は盛んですか？（〇は1つ）

- | | |
|------------|-------------|
| 1 とても盛ん | 2 比較的盛ん |
| 3 あまり盛んでない | 4 まったく盛んでない |

問34 あなた自身は家庭でごみの分別にどうかかかわっていますか？（〇は1つ）

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 家族の中心になって熱心に分別 | 2 家族の中心ではないがごみは分別 |
| 3 ごみの分別にはあまりかかわらない | |

●ごみゼロ社会を創っていくにあたってご意見やご要望、アイデア等あれば、自由にご記入ください。



質問は以上です。お忙しいところご協力いただき、どうもありがとうございました。

なお、三重県のごみゼロホームページ (<http://www.eco.pref.mie.jp/gyousei/keikaku/gomi0/zero/>) もぜひご覧ください。ホームページには、「ごみゼロ社会実現プラン」の策定状況や県民参加の催しに関する情報を掲載しています。

? トピックス ～次の言葉の意味、知ってますか？～

循環型社会 ごみの発生そのものを減らし、出たごみはできるかぎり資源として有効利用したうえでごみの適正な処理を行うことで、天然資源を有効利用し環境負荷を小さくする社会を言います。

ごみゼロ社会 三重県がめざす、ごみを出さない生活様式やごみが出にくい事業活動が定着することで、ごみの発生や排出が極力抑えられ、また排出された不用物は最大限資源として有効利用される社会を言います。

リデュース(発生抑制) ごみの発生量そのものを減らすことを言います。使い捨て品や不用品を買わない、よい物を長く使うなどが当てはまります。

リユース(再使用) 一度使われた製品や部品、容器などをくり返し使うことを言います。中古品の利用、ビールびんのような生きびんなどが当てはまります。

リサイクル(再生利用) 製品や容器などをもう一度原材料として有効利用することを言います。広い意味では、焼却によって熱エネルギーを回収することも含みます。

3R(さんアール・スリーアール) リデュース(Reduce)、リユース(Reuse)、リサイクル(Recycle)の3つの R を言います。

デポジット デポジットは「預かり金」の意味で、商品を買う時にあらかじめお店に預かり金を払い、返却した時にそれを返してもらおうとすることを言います。ビールびんなどで

行われています。

エコライフ 暮らしのいろいろな場面で環境に配慮する生活様式(ライフスタイル)を言います。

スローライフ 量やスピード、効率性を重視するこれまでの暮らし方から、「いそがずゆっくりと」をキーワードに質やゆとりを重視する暮らし方を言います。

グリーンコンシューマ 暮らしのいろいろな場面で環境に配慮する消費者(コンシューマ)を言います。「グリーン」とは環境に配慮する姿勢を意味しています。

容器包装リサイクル法 消費者、事業者、行政の役割分担によって、家庭から出る容器や包装材をリサイクルすることを定めた法律です。

家電リサイクル法 家庭から出るテレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機について、小売店が引き取り、メーカーがリサイクルすることを定めた法律です。

排出者責任 ごみは出した者がリサイクルや適正な処理がされるよう責任を負うべきとする考え方を言います。

拡大生産者責任 生産者は、製品を作って売ったらおしまいではなく、リサイクルや適正な処理がされるよう製品がごみとなった後にまで責任を負うべき、とする考え方を言います。